

診療報酬改定結果検証に係る調査（平成21年度調査）  
回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された  
「質の評価」の効果の実態調査 結果概要（速報）

1. 目的

- ・ 試行的に実施された「質の評価」により、患者の状態の改善の状況はどのようになっているのか。  
また、患者の選別が行われていないか等の調査を行った。

〈調査のねらい〉

- 回復期リハビリテーション病棟の入退棟時の患者の状況を把握する。
  - ・ 重症患者（日常生活機能評価 10 点以上）をどの程度受け入れているのか
  - ・ 退棟時に日常生活機能評価がどの程度改善されているのか
  - ・ 居宅等への復帰率はどの程度なのか
- 回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション提供状況を把握する。
  - ・ リハビリテーション提供体制（人員体制、提供場所）
  - ・ リハビリテーション提供状況（入棟後の早期段階、退棟直前の段階）

2. 調査対象・方法

① 調査対象

- ・ 本調査は「施設調査」、「病棟調査」、「退棟患者調査」の3つからなる。
- ・ 施設調査は、全国の回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している保険医療機関 1,011 病院（平成 21 年 7 月 1 日現在）の全てを対象とした。
- ・ 病棟調査は、施設調査の対象施設において、回復期リハビリテーション病棟入院料の届出を行っている全ての病棟を対象とした。
- ・ 退棟患者調査は、施設調査の対象施設において、平成 21 年 6 月 1 カ月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した全ての患者（ただし、回復期リハビリテーション病棟入院料の算定患者のみ）を対象とした。

② 調査方法

- ・ 施設調査、病棟調査、退棟患者調査のすべてについて、調査対象施設の自記式調査票の郵送配布・回収とした。

3. 調査項目

① 施設調査

調査項目	具体的な調査内容
基本属性	<input type="checkbox"/> 開設者 <input type="checkbox"/> 承認等の状況 <input type="checkbox"/> 併設施設・事業所で提供しているサービス
届出施設基準等	<input type="checkbox"/> 施設基準の届出を行っているリハビリテーション料 <input type="checkbox"/> 算定した入院基本料、特定入院料 <input type="checkbox"/> 外来患者延数、入院患者延数 <input type="checkbox"/> 入院基本料・特定入院料別の届出状況、許可病床数、在院患者延数
職員配置	<input type="checkbox"/> 職員数 <input type="checkbox"/> 平日・土曜・日曜に出勤したリハビリテーション業務の専任・専従職員数
地域連携 クリティカルパス	<input type="checkbox"/> 地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の届出の有無 <input type="checkbox"/> 計画管理病院、連携保険医療機関との会合回数 <input type="checkbox"/> 地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定の有無 <input type="checkbox"/> 地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者数 <input type="checkbox"/> 大腿骨頭部骨折、脳卒中の患者の平均在院日数
退院支援体制	<input type="checkbox"/> 退院支援の実施の有無 <input type="checkbox"/> 退院支援の担当部署の設置の有無 <input type="checkbox"/> 退院支援の担当部署の職員数 <input type="checkbox"/> 退院支援の担当部署で実施している退院支援の内容
医療機能に係る 今後の方針	<input type="checkbox"/> 特定の医療機能の特化の予定 <input type="checkbox"/> 特化を予定している医療機能の内容 <input type="checkbox"/> 亜急性期医療機能の導入・拡充予定 <input type="checkbox"/> 特定の医療機能に特化する理由
医療機関との連携 に係る今後の意向	<input type="checkbox"/> 他の医療機関との連携の方針、その理由 <input type="checkbox"/> 連携する医療機関の増減に関する意向 <input type="checkbox"/> 連携先として増やしたい医療機能、その理由

② 病棟調査

調査項目	具体的な調査内容
基本属性	<input type="checkbox"/> 算定している回復期リハビリテーション病棟入院料、施設基準の取得日 <input type="checkbox"/> 病床数、在院患者数 <input type="checkbox"/> 平均在院日数、病床利用率
職員配置	<input type="checkbox"/> 専従、専任別の職種別人数 <input type="checkbox"/> 平日 1 日の時間別に配置された職種別人数
入棟患者の状況	<input type="checkbox"/> 入棟患者の受け入れ基準、受け入れを判断している職種 <input type="checkbox"/> 新入棟患者数 <input type="checkbox"/> 日常生活機能評価の点数別にみた新入棟患者数 <input type="checkbox"/> 原因疾患別にみた新入棟患者数 <input type="checkbox"/> 入棟前の居場所別にみた新入棟患者数 <input type="checkbox"/> 入棟前の居場所（二次医療圏）別にみた新入棟患者数

調査項目	具体的な調査内容
退棟患者の状況	<input type="checkbox"/> 退棟患者数 <input type="checkbox"/> 上記のうち、入棟時の日常生活機能評価が10点以上だった患者数 <input type="checkbox"/> 上記のうち、退棟時に日常生活機能評価が3点以上改善した患者数 <input type="checkbox"/> 退棟後の居場所別にみた退棟患者数 <input type="checkbox"/> 退棟後の居場所（二次医療圏）別にみた退棟患者数 <input type="checkbox"/> 在宅復帰率 <input type="checkbox"/> 重症患者回復率
リハビリテーションの実施体制	<input type="checkbox"/> 平日1日に病棟全体で実施したリハビリテーションの単位数 <input type="checkbox"/> リハビリテーションの実施場所 <input type="checkbox"/> 多職種による合同カンファレンスの実施の有無 <input type="checkbox"/> 合同カンファレンスの患者1人に要する平均時間 <input type="checkbox"/> 合同カンファレンスに参加している職種 <input type="checkbox"/> 合同カンファレンス以外の情報共有の方法 <input type="checkbox"/> カルテ・各種記録の状況
退院支援体制	<input type="checkbox"/> 退院支援の実施の有無 <input type="checkbox"/> 病棟として実施している退院支援の内容

### ③ 退棟患者調査

調査項目	具体的な調査内容
基本属性	<input type="checkbox"/> 性別、年齢 <input type="checkbox"/> 発症・受傷前の居宅の有無 <input type="checkbox"/> 居宅における介護者の状況
入棟時の状況	<input type="checkbox"/> 発症・受傷日 <input type="checkbox"/> 入棟日 <input type="checkbox"/> 原因疾患、高次脳機能障害の有無 <input type="checkbox"/> 医療処置の状況 <input type="checkbox"/> 入棟前の居場所 <input type="checkbox"/> 日常生活機能評価、バーセル指数
入棟中のリハビリテーションの実施状況	<input type="checkbox"/> 入棟日の属する週の翌週1週間における実施単位数 <input type="checkbox"/> 退棟日の属する週の前週1週間における実施単位数
退棟時の状況	<input type="checkbox"/> 退棟日 <input type="checkbox"/> 算定した診療報酬 <input type="checkbox"/> 退棟後の居場所 <input type="checkbox"/> 退棟時の転帰 <input type="checkbox"/> 日常生活機能評価、バーセル指数 <input type="checkbox"/> 退棟決定の状況
退棟後の状況	<input type="checkbox"/> 退院先 <input type="checkbox"/> 退院後のリハビリテーションの方針

## 4. 結果概要

### (1) 回収状況

調査種別	発送数	有効回収数	回収率
施設調査	1,011件	501件	49.6%
病棟調査		652件	
退棟患者調査		9,735件	

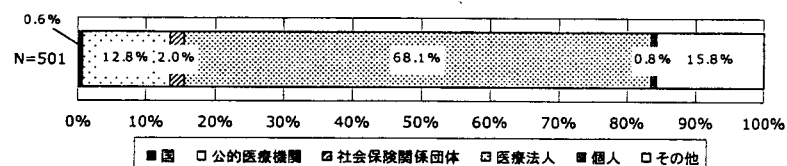
※平成21年9月30日現在

### (2) 施設調査

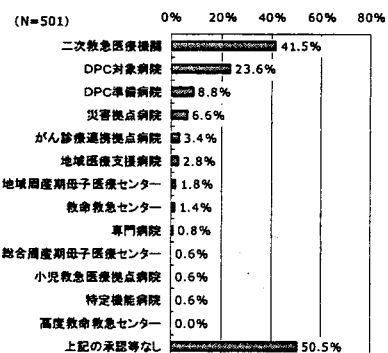
#### ■ 回答病院の概況

##### ① 回答病院の概況

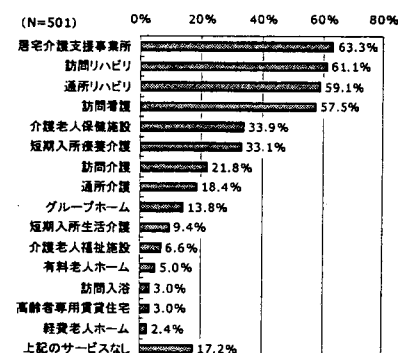
#### ・設置主体（図表 2-1）



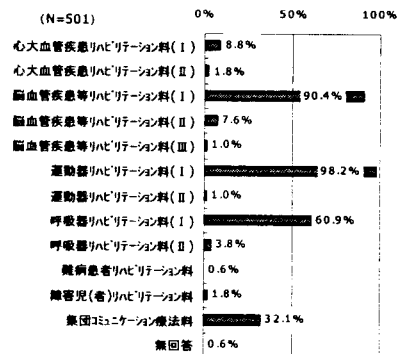
#### ・承認等の状況（図表 2-2）【複数回答】



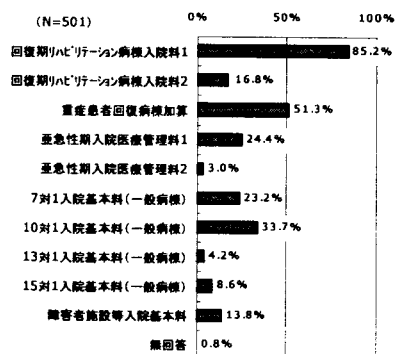
#### ・併設施設又は事業所（図表 2-3）【複数回答】



・リハビリテーション料に係る施設基準の届出状況 (図表 2-3)

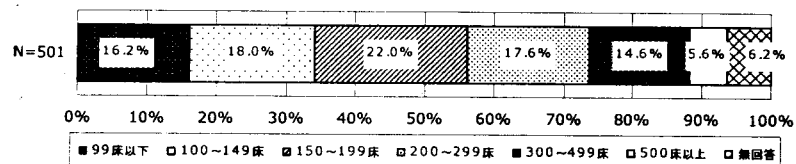


・直近3カ月 [H21.4~6月] に算定した診療報酬 (図表 2-4)

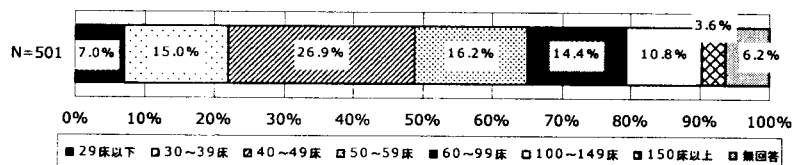


② 病床の状況

・許可病床数 (図表 2-5) … 平均 219.3 床



・回復期リハビリテーション病棟の許可病床数 (図表 2-6) … 平均 60.5 床

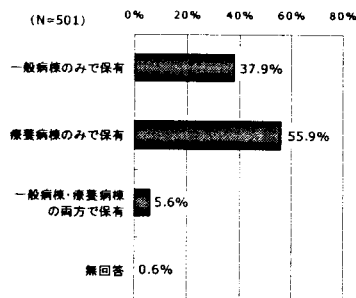


・1施設当たり許可病床数の病床種別構成 (図表 2-7)

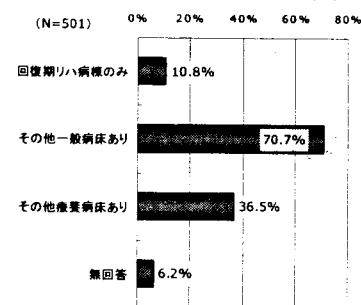
	1施設当たり病床数					割合		
	全体	回復期リハビリテーション病棟入院料			全体	回復期リハビリテーション病棟入院料		
		1	2	1・2		1	2	1・2
一般病床	136.9床	143.1床	118.3床	56.1床	62.5%	64.5%	58.5%	25.1%
療養病床	73.9床	69.3床	80.9床	167.1床	33.7%	31.2%	40.0%	74.9%
精神病床	7.9床	9.0床	3.0床	0.0床	3.6%	4.1%	1.5%	0.0%
結核病床	0.4床	0.4床	0.0床	0.0床	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
感染症病床	0.2床	0.2床	0.1床	0.0床	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
合計	219.2床	222.0床	202.3床	223.2床	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
[再掲] 回復期リハビリテーション病棟	60.5床	61.7床	43.0床	108.6床	27.6%	27.8%	21.3%	48.6%
病院数	466件	385件	67件	14件				

※有効回答 466 件で集計

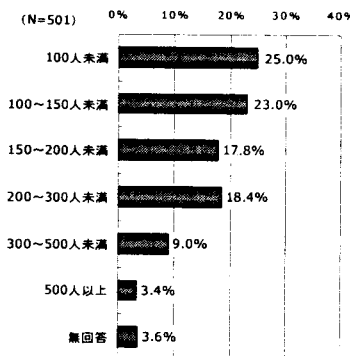
・回復期リハビリテーション病棟の病棟種類別の保有状況 (図表 2-8)



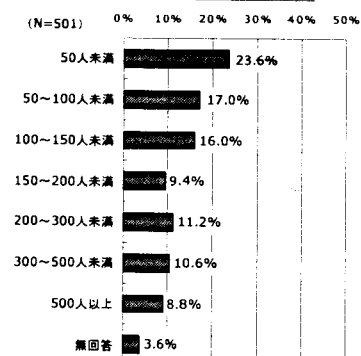
・回復期リハビリテーション病棟の他の病床との併設状況 (図表 2-9) [複数回答]



・1施設1日当たり入院患者数 (図表 2-10) [H21.6月] … 平均 183.8 人



・1施設1日当たり外来患者数 (図表 2-11) [H21.6月] … 平均 197.3 人



■ 職員配置

① 病院全体の職員配置

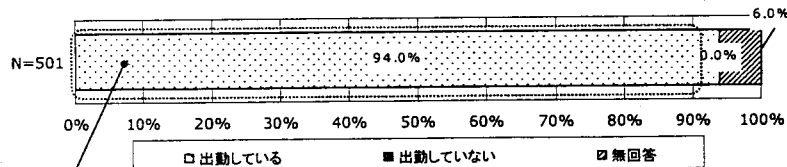
・職員数（常勤換算人数）（図表 2-12）

職 種	1施設当たり職員数	100床当たり職員数
医 師	23.9人	10.9人
〔再掲〕日本リハビリテーション医学会認定臨床医	0.5人	0.2人
〔再掲〕日本リハビリテーション医学会専門医	0.6人	0.3人
〔再掲〕リハビリテーション科の医師	1.3人	0.6人
看護 師	102.9人	46.8人
准看護 師	21.4人	9.7人
看護補助者	34.0人	15.4人
薬 劑 師	6.4人	2.9人
理学療法士	19.3人	8.8人
作業療法士	12.9人	5.9人
言語聴覚士	4.9人	2.2人
臨床心理士	0.3人	0.2人
義肢装具士	0.0人	0.0人
柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師	0.4人	0.2人
ソーシャルワーカー	3.6人	1.6人
〔再掲〕社会福祉士の資格保有者	2.7人	1.2人
合 計	230.1人	104.6人
1施設当たり病床数	220.1床	

※有効回答 440 件で集計、100 床当たり職員数は平均病床数を基に算出

② 平日・土曜・日曜におけるリハビリテーションに係る職種の出勤状況

・平日 [平成 21 年 7 月 1 日 (水)] にリハビリテーションに係る業種の出勤状況 (図表 2-13)

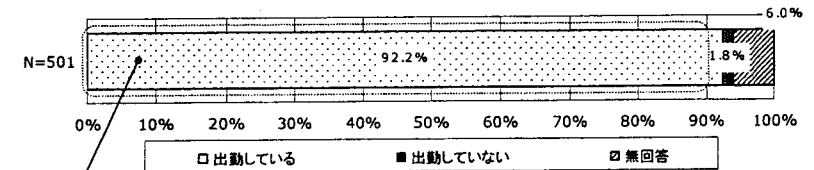


・平日に出勤したりリハビリテーション業務に係る専任・専従職員数 (実人数) (図表 2-14)

職 種	1施設当たり出勤した職員数			各職種別の全職員数に占める割合	100床当たり出勤職員数
	常 勤	非常勤	合 計		
医 師【専任】	2.8人	0.3人	3.1人	13.5%	1.4人
看護 師【専従】	9.3人	0.8人	10.0人	9.8%	4.6人
理学療法士【専従】	13.0人	0.2人	13.2人	68.0%	6.0人
作業療法士【専従】	8.8人	0.1人	8.9人	68.7%	4.1人
言語聴覚士【専従】	3.2人	0.1人	3.3人	68.7%	1.5人
柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師【専従】	0.2人	0.0人	0.3人	77.8%	0.1人
合 計	37.3人	1.6人	38.9人	23.8%	17.8人
1施設当たり病床数	219.0床				

※有効回答 419 件で集計、100 床当たり職員数は平均病床数を基に算出

・土曜 [平成 21 年 7 月 4 日 (土)] にリハビリテーションに係る業種の出勤状況 (図表 2-15)

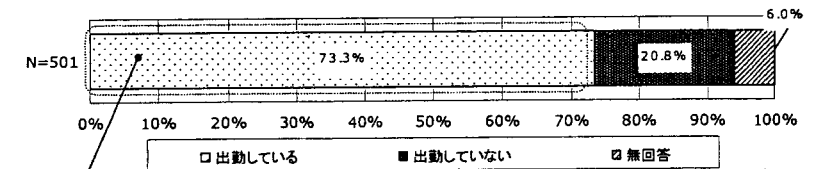


・土曜に出勤したりリハビリテーション業務に係る専任・専従職員数 (実人数) (図表 2-16)

職 種	1施設当たり出勤した職員数			各職種別の全職員数に占める割合	100床当たり出勤職員数
	常 勤	非常勤	合 計		
医 師【専任】	1.8人	0.3人	2.0人	9.1%	1.0人
看護 師【専従】	7.8人	0.5人	8.3人	8.3%	3.9人
理学療法士【専従】	9.2人	0.1人	9.4人	48.2%	4.4人
作業療法士【専従】	6.2人	0.1人	6.3人	48.3%	2.9人
言語聴覚士【専従】	2.2人	0.1人	2.2人	45.8%	1.0人
柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師【専従】	0.2人	0.0人	0.2人	63.7%	0.1人
合 計	27.4人	1.1人	28.5人	17.9%	13.3人
1施設当たり病床数	214.5床				

※有効回答 410 件で集計、100 床当たり職員数は平均病床数を基に算出

・日曜 [平成 21 年 7 月 5 日 (日)] にリハビリテーションに係る業種の出勤状況 (図表 2-17)



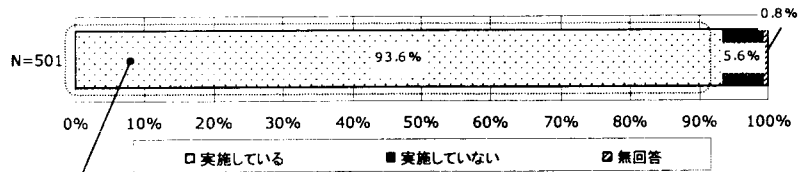
・日曜に出勤したりリハビリテーション業務に係る専任・専従職員数 (実人数) (図表 2-18)

職 種	1施設当たり出勤した職員数			各職種別の全職員数に占める割合	100床当たり出勤職員数
	常 勤	非常勤	合 計		
医 師【専任】	0.4人	0.2人	0.6人	3.1%	0.3人
看護 師【専従】	8.0人	0.3人	8.3人	8.7%	3.9人
理学療法士【専従】	3.2人	0.0人	3.2人	16.0%	1.5人
作業療法士【専従】	2.2人	0.0人	2.2人	16.6%	1.1人
言語聴覚士【専従】	0.5人	0.0人	0.5人	10.2%	0.2人
柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師【専従】	0.0人	0.0人	0.0人	1.6%	0.0人
合 計	14.3人	0.6人	14.9人	9.6%	7.0人
1施設当たり病床数	212.6床				

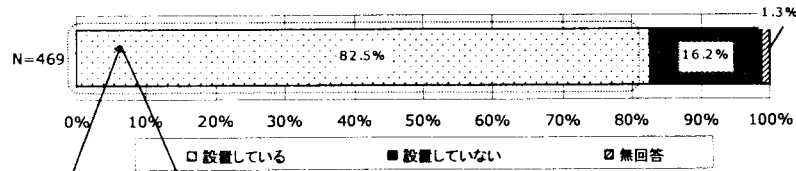
※有効回答 325 件で集計、100 床当たり職員数は平均病床数を基に算出

■ 病院としての退院支援体制

・ 病棟、または専ら担当する部署における退院支援の実施状況 (図表 2-19)



・ 退院支援を専ら担当する部署の設置状況 (図表 2-20)



・ 当該部署に従事する職員数 (実人数) (図表 2-21)

職 種	1 部署当たり 職 員 数		
	専 従	専 任	合 計
医 師	0.1 人	0.4 人	0.5 人
看護 師	1.0 人	0.5 人	1.5 人
准看護 師	0.3 人	0.1 人	0.4 人
ソーシャルワーカー	2.1 人	1.0 人	3.1 人
[再掲] 社会福祉士の資格保有者	1.7 人	0.7 人	2.5 人
事務職員	0.3 人	0.2 人	0.5 人
そ の 他	0.3 人	0.1 人	0.4 人
合 計	4.1 人	2.3 人	6.4 人

※有効回答 385 件で集計

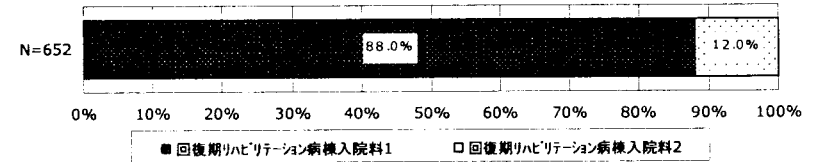
・ 当該部署における退院支援の内容 (図表 2-22) [複数回答]

	病棟数	割合
退院後の居場所に関する調整	367 件	94.8%
利用可能な社会資源・制度に関する情報提供や利用の支援	364 件	94.1%
介護認定の支援や介護サービスに係る紹介や調整	360 件	93.0%
退院当日や退院後の療養相談	294 件	76.0%
患者や家族に対するカウンセリングと精神的支援	271 件	70.0%
入院中の治療方針に関する説明と退院までの見通しの説明	166 件	42.9%
継続的な療養管理が可能な状態となるまでの期間と退院日の設定	156 件	40.3%
患者への治療に係る目標管理と退院指導	150 件	38.8%
家族への介護技術と医療技術の指導	113 件	29.2%
退院後の定期的な患者の状態確認	71 件	18.3%
その他	12 件	3.1%
全 体	387 件	

(3) 病棟調査

■ 回答病棟の概況

・ 算定している診療報酬 (図表 3-1)

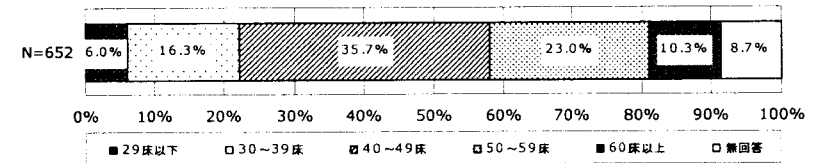


・ 重症患者回復病棟加算… 入院料 1 の算定病棟の 63.4%

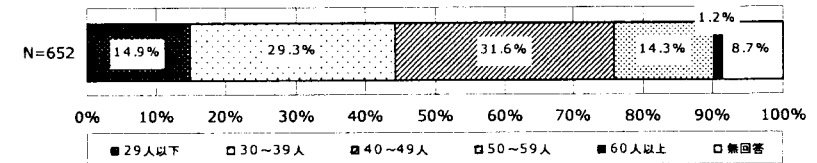
・ 入院料 2 のうち H20.4 以降に基準取得 (実績期間)… 入院料 2 の算定病棟の 79.5%

・ 入院料 2 のうち H20.3 以前に基準取得 (継続算定)… 入院料 2 の算定病棟の 20.5%

・ 1 病棟当たりの病床数 (図表 3-2) … 平均 45.4 床



・ 1 病棟当たりの入院患者数 (図表 3-3) … 平均 39.6 人

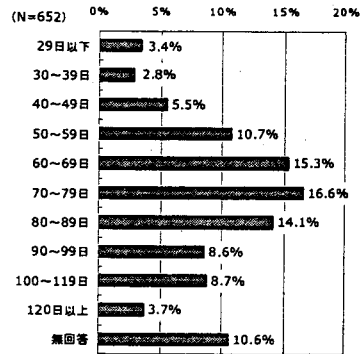


・ 1 病棟当たりの回復期リハビリテーション病棟入院料の非適応患者 (図表 3-4)

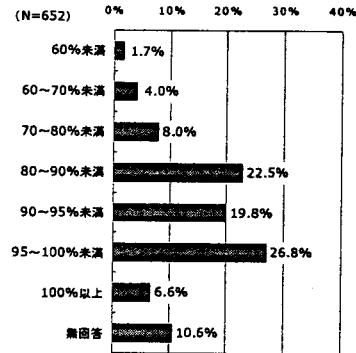
職 種	1 病棟当たり 入院患者数	割合
回復期リハビリテーション病棟の入院患者数	39.6 人	100.0%
[再掲] 回復期リハビリテーション病棟入院料の非適応患者	1.0 人	2.5%
[再々掲] 算定上限日数を超えた患者	0.5 人	1.1%
[再々掲] 算定対象外の疾患の患者	0.5 人	1.4%

※有効回答 595 病棟で集計

・平均在院日数（図表 3-5）  
[H21.4～6月] … 平均 74.8 日



・病床利用率（図表 3-6）  
[H21.4～6月] … 平均 89.5%



■ 病棟の職員配置

・病棟専従の医師を有する病棟 … 211 病棟（全 652 病棟の 32.4%）

・1 病棟当たりの専従・専任している医師数（専任医師は実人数）（図表 3-7）

職 種	1 病棟当たり 医 師 数		
	専 従	専 任	合 計
医 師	0.4 人	1.8 人	2.3 人
【再掲】日本リハビリテーション医学会認定臨床医	0.1 人	0.2 人	0.3 人
【再掲】日本リハビリテーション医学会専門医	0.1 人	0.3 人	0.4 人
1 施設当たり病床数	45.5 床		
1 施設当たり入院患者数	39.7 人		

※有効回答 570 病棟で集計

・1 病棟当たりの専従・専任している職員数（専任職員は常勤換算人数）（図表 3-8）

職 種	1 病棟当たり 職 員 数		
	専 従	専 任	合 計
看護 師	12.3 人	0.5 人	12.8 人
准 看護 師	4.2 人	0.2 人	4.4 人
看護補助者	8.8 人	0.4 人	9.2 人
薬 劑 師	0.1 人	0.4 人	0.5 人
理学療法士	4.2 人	3.2 人	7.4 人
作業療法士	3.0 人	2.5 人	5.5 人
言語聴覚士	0.8 人	1.2 人	2.0 人
歯科衛生士	0.0 人	0.1 人	0.1 人
ソーシャルワーカー	0.5 人	0.7 人	1.2 人
【再掲】社会福祉士の資格保有者	0.4 人	0.5 人	1.0 人
1 病棟当たりの平均病床数	45.5 床		
1 施設当たり入院患者数	39.7 人		

※有効回答 570 病棟で集計

・平日 [平成 21 年 6 月 1 日 (月)] における、  
職種別・時間別にみた 1 病棟当たりの勤務予定職員数（図表 3-9）

	7 時	9 時	12 時	15 時	18 時	21 時	2 時
看護 師	1.7 人	6.5 人	6.3 人	6.3 人	2.0 人	1.5 人	1.4 人
准 看護 師	0.5 人	2.0 人	1.9 人	1.9 人	0.7 人	0.5 人	0.4 人
看護補助者	1.7 人	4.1 人	4.4 人	4.4 人	2.0 人	1.1 人	0.9 人
理学療法士	0.1 人	6.2 人	6.1 人	6.2 人	0.9 人	0.0 人	0.0 人
作業療法士	0.1 人	4.6 人	4.5 人	4.6 人	0.6 人	0.0 人	0.0 人
言語聴覚士	0.0 人	1.8 人	1.8 人	1.8 人	0.2 人	0.0 人	0.0 人
1 病棟当たりの平均病床数	45.5 床						
1 施設当たり入院患者数	39.7 人						

※有効回答 570 病棟で集計

・50床当たりの専従医師数（図表 3-10）

職 種	50床当たり 専従医師数		
	入院料1 算定病棟	入院料2 算定病棟	合 計
医 師	0.48人	0.37人	0.47人
〔再掲〕日本リハビリテーション医学会認定臨床医	0.10人	0.07人	0.10人
〔再掲〕日本リハビリテーション医学会専門医	0.09人	0.06人	0.09人
病 棟 数	506件	64件	570件

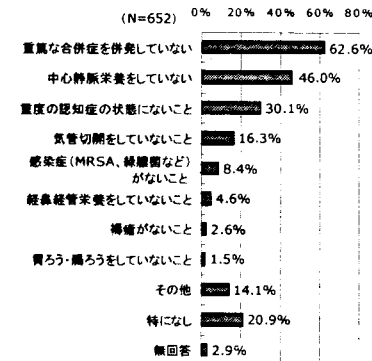
・50床当たりの専従職員数（図表 3-11）

職 種	50床当たり 専従職員数		
	入院料1 算定病棟	入院料2 算定病棟	合 計
看護 師	13.7人	11.9人	13.5人
准看護 師	4.5人	5.2人	4.6人
看護補助者	9.7人	9.6人	9.7人
薬 劑 師	0.1人	0.2人	0.1人
理学療法士	4.7人	3.7人	4.6人
作業療法士	3.4人	2.3人	3.3人
言語聴覚士	0.9人	0.4人	0.9人
歯科衛生士	0.0人	0.0人	0.0人
ソーシャルワーカー	0.6人	0.6人	0.6人
〔再掲〕社会福祉士の資格保有者	0.5人	0.4人	0.5人
病 棟 数	506件	64件	570件

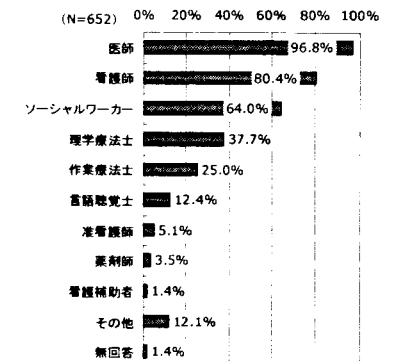
■ 入棟患者の状況

① 入棟患者の受け入れ基準

・入棟患者の受け入れ基準  
（図表 3-12）〔複数回答〕



・入棟患者の受け入れの判断をしている職種  
（図表 3-13）〔複数回答〕



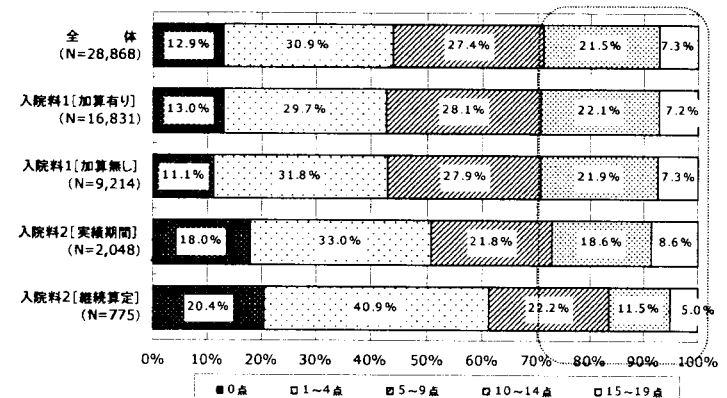
② 新入棟患者の状況

・3カ月間〔H21.4～6月〕における新入棟患者数 … 合計28,868人（有効回答575病棟）

・新入棟患者の日常生活機能評価の点数の分布（図表 3-14）

⇒10点以上の重症患者の割合

- 入院料1算定病棟（重症患者回復病棟加算有り） … 29.3%
- 入院料1算定病棟（重症患者回復病棟加算無し） … 29.2%
- 入院料2算定病棟（H20.4以降に基準取得：実績期間） … 27.2%
- 入院料2算定病棟（H20.3以前に基準取得：継続算定） … 16.5%



・新入棟患者の入棟時の主たる原因疾患（図表 3-15）

原因疾患	全体 (N=28,868)	入院料1 【加算有り】 (N=16,831)	入院料1 【加算無し】 (N=9,214)	入院料2 【実績期間】 (N=2,048)	入院料2 【継続算定】 (N=775)
脳血管疾患	46.0%	49.0%	45.5%	35.6%	16.1%
大腿骨、骨盤等の骨折、二股以上の多発骨折	33.4%	32.3%	34.4%	32.1%	50.1%
外科手術等の治療時の安静による廃用症候群	11.0%	11.1%	10.8%	11.8%	9.0%
大腿骨、骨盤等の神経、筋、韧带損傷	2.7%	1.6%	2.6%	7.0%	16.3%
脊髓損傷	1.7%	1.6%	1.8%	2.2%	1.4%
頭部外傷	1.4%	1.5%	1.2%	1.1%	0.1%
その他の脳神経系疾患	1.4%	1.2%	2.0%	1.7%	0.0%
その他の疾患	2.4%	1.8%	1.6%	8.5%	7.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

・新入棟患者の入棟前の居場所（図表 3-16）

入棟前の居場所	全体 (N=28,868)	入院料1 【加算有り】 (N=16,831)	入院料1 【加算無し】 (N=9,214)	入院料2 【実績期間】 (N=2,048)	入院料2 【継続算定】 (N=775)	
自 院	① 他の回復期リハビリテーション病棟	0.2%	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%
	② ①を除く一般病床	46.4%	46.3%	46.3%	54.5%	27.9%
	③ ①を除く療養病床	0.9%	0.7%	0.9%	1.7%	3.1%
	④ ①～③を除くその他の病床	0.6%	0.4%	0.0%	5.1%	0.1%
他 院	⑤ 回復期リハビリテーション病棟【病院】	0.6%	0.6%	0.3%	2.1%	0.5%
	⑥ ⑤を除く一般病床【病院】	47.4%	48.7%	48.1%	32.2%	50.3%
	⑦ ⑤を除く療養病床【病院】	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%	0.3%
	⑧ ⑤～⑦を除くその他の病床【病院】	0.5%	0.5%	0.6%	0.3%	0.0%
	⑨ 有床診療所	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%
そ の 他	⑩ 介護老人保健施設	0.2%	0.1%	0.2%	0.5%	0.0%
	⑪ 介護老人福祉施設	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.1%
	⑫ グループホーム	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
	⑬ 有料老人ホーム・経費老人ホーム	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
	⑭ 高齢者専用賃貸住宅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	⑮ 障害者支援施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑯ 在宅	2.3%	1.7%	2.1%	2.1%	17.0%
	⑰ その他	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

■ 退棟患者の状況

・3カ月間 [H21.4～6月] における退棟患者数 … 合計 27,423人 (有効回答 542 病棟)

・入棟時に重症であった患者の退棟時の日常生活機能評価の改善状況（図表 3-17）

【全体】

	人数	割合	
退棟患者	27,423人	100.0%	
【再掲】入棟時の日常生活機能評価の点数が10点以上の患者	7,457人	27.2%	100.0%
【再々掲】退棟時に点数が3点以上改善していた患者	4,329人	15.8%	58.1%

【回復期リハビリテーション病棟入院料1算定病棟：重症患者回復病棟加算有り】

	人数	割合	
退棟患者	16,359人	100.0%	
【再掲】入棟時の日常生活機能評価の点数が10点以上の患者	4,515人	27.6%	100.0%
【再々掲】退棟時に点数が3点以上改善していた患者	2,688人	16.4%	59.5%

【回復期リハビリテーション病棟入院料1算定病棟：重症患者回復病棟加算無し】

	人数	割合	
退棟患者	8,236人	100.0%	
【再掲】入棟時の日常生活機能評価の点数が10点以上の患者	2,297人	27.9%	100.0%
【再々掲】退棟時に点数が3点以上改善していた患者	1,358人	16.5%	59.1%

【回復期リハビリテーション病棟入院料2算定病棟：H20.4以降に基準取得（実績期間）】

	人数	割合	
退棟患者	2,102人	100.0%	
【再掲】入棟時の日常生活機能評価の点数が10点以上の患者	518人	24.6%	100.0%
【再々掲】退棟時に点数が3点以上改善していた患者	235人	11.2%	45.4%

【回復期リハビリテーション病棟入院料2算定病棟：H20.3以前に基準取得（継続算定）】

	人数	割合	
退棟患者	726人	100.0%	
【再掲】入棟時の日常生活機能評価の点数が10点以上の患者	127人	17.5%	100.0%
【再々掲】退棟時に点数が3点以上改善していた患者	48人	6.6%	37.8%



・ 退院患者の退院後の居場所 (図表 3-18)

【全 体】

退院後の居場所	全 体 (N=28,868)	入院料 1 【加算有り】 (N=16,831)	入院料 1 【加算無し】 (N=9,214)	入院料 2 【実績期間】 (N=2,048)	入院料 2 【継続算定】 (N=775)
① 在宅	68.6%	68.6%	69.5%	65.9%	67.1%
目 院					
② 他の回復期リハビリテーション病棟	0.2%	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%
③ ②を除く一般病床	4.5%	4.5%	4.4%	5.1%	3.6%
④ ②を除く療養病床	2.2%	1.8%	1.7%	5.7%	7.3%
⑤ ②~④を除くその他の病床	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.4%
他 院					
⑥ 回復期リハビリテーション病棟【病院】	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%	0.7%
⑦ ⑥を除く一般病床【病院】	6.4%	6.5%	6.8%	5.3%	4.4%
⑧ ⑥を除く療養病床【病院】	3.1%	3.4%	2.7%	2.1%	3.4%
⑨ ⑥~⑧を除くその他の病床【病院】	0.4%	0.5%	0.3%	0.7%	0.1%
⑩ 有床診療所	0.2%	0.2%	0.1%	0.7%	0.0%
そ の 他					
⑪ 介護老人保健施設	7.3%	7.4%	7.8%	5.9%	5.6%
⑫ 介護老人福祉施設	1.7%	1.7%	1.5%	2.3%	2.2%
⑬ グループホーム	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.8%
⑭ 有料老人ホーム・軽費老人ホーム	2.0%	2.1%	1.9%	2.1%	2.3%
⑮ 高齢者専用賃貸住宅	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.6%
⑯ 障害者支援施設	0.2%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%
⑰ 死亡	0.6%	0.6%	0.5%	1.1%	0.3%
⑱ その他	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%	0.1%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

・ 在宅への退院患者に対する退院前訪問指導、家屋調査の実施状況 (図表 3-19)

【全 体】

	人 数	割 合
在宅への退院患者	18,820 人	100.0%
【再掲】退院前訪問指導を実施した患者	4,166 人	22.1%
【再掲】退院に向けた家屋調査を実施した患者	6,541 人	34.8%

【回復期リハビリテーション病棟入院料 1 算定病棟】

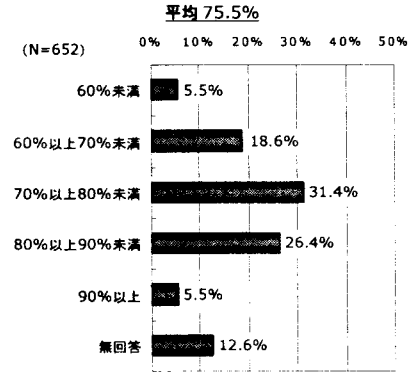
	人 数	割 合
在宅への退院患者	16,947 人	100.0%
【再掲】退院前訪問指導を実施した患者	3,915 人	23.1%
【再掲】退院に向けた家屋調査を実施した患者	6,132 人	36.2%

【回復期リハビリテーション病棟入院料 2 算定病棟】

	人 数	割 合
在宅への退院患者	1,837 人	100.0%
【再掲】退院前訪問指導を実施した患者	251 人	13.4%
【再掲】退院に向けた家屋調査を実施した患者	409 人	21.8%

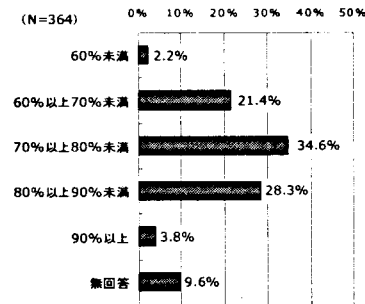
・ 在宅復帰率 (図表 3-20) [H21.1~6 月]

【全 体】



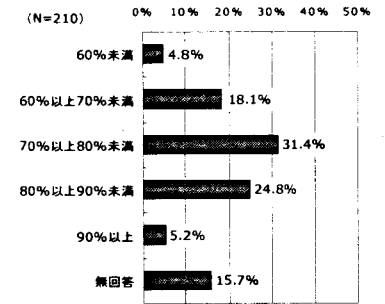
【入院料 1 算定病棟：加算有り】

平均 75.7% (N=364)



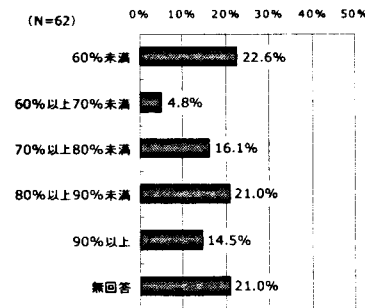
【入院料 1 算定病棟：加算無し】

平均 76.0% (N=210)



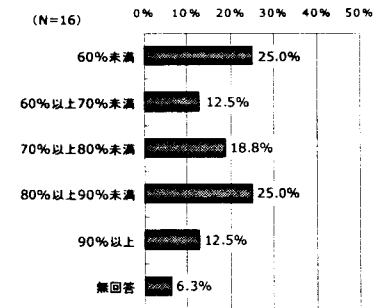
【入院料 2 算定病棟：実績期間】

平均 73.3% (N=62)

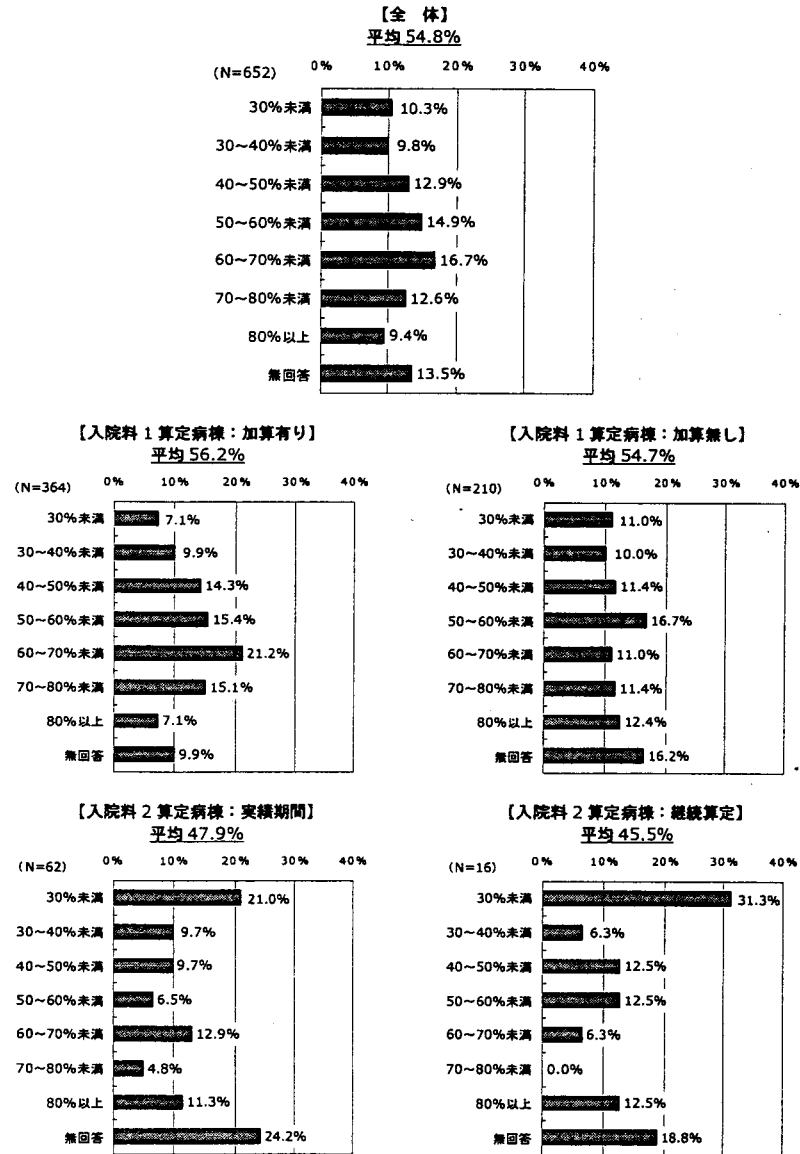


【入院料 2 算定病棟：継続算定】

平均 70.4% (N=16)

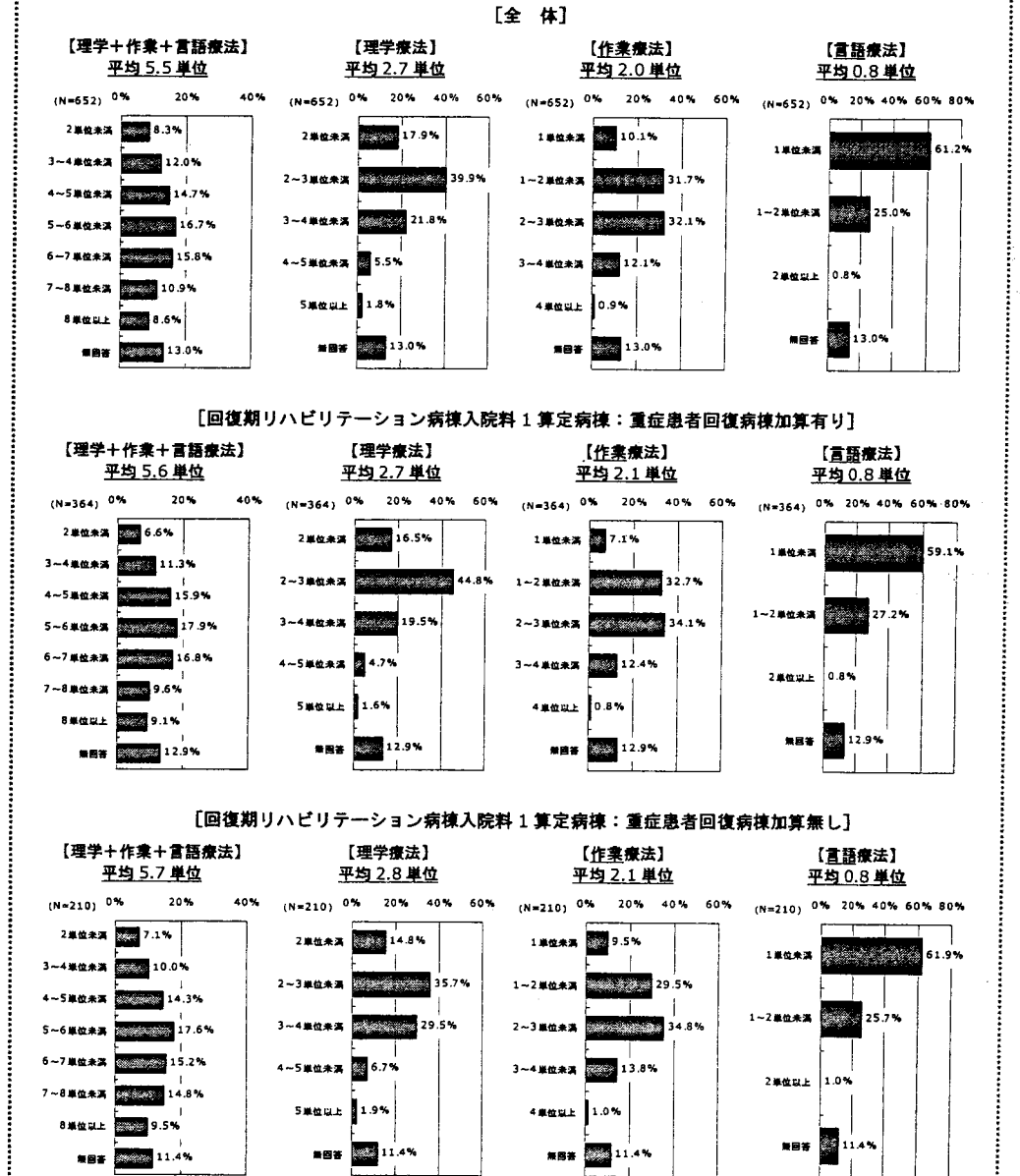


・重症患者回復率（図表 3-21）[H21.1～6月]



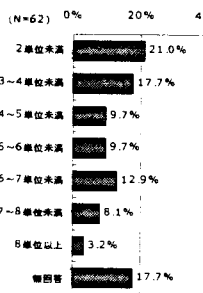
■ リハビリテーションの実施状況

・患者 1 人 1 日当たりリハビリテーション実施単位数（図表 3-22）

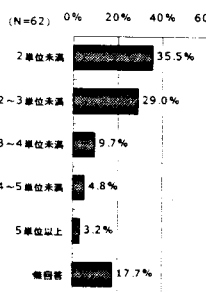


【回復期リハビリテーション病棟入院料 2 算定病棟：実績期間】

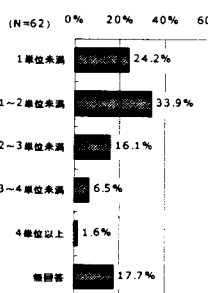
【理学+作業+言語療法】  
平均 4.5 単位



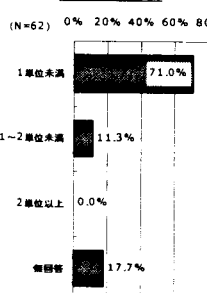
【理学療法】  
平均 2.3 単位



【作業療法】  
平均 1.6 単位

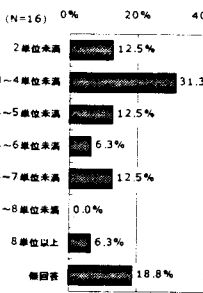


【言語療法】  
平均 0.5 単位

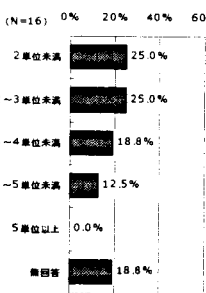


【回復期リハビリテーション病棟入院料 2 算定病棟：継続算定】

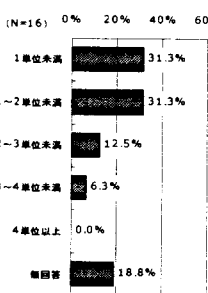
【理学+作業+言語療法】  
平均 4.5 単位



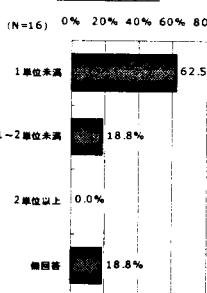
【理学療法】  
平均 2.8 単位



【作業療法】  
平均 1.2 単位

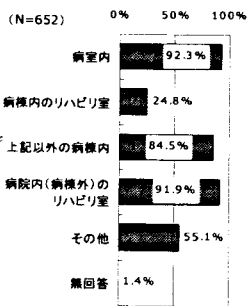


【言語療法】  
平均 0.4 単位

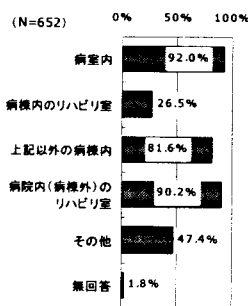


・リハビリテーションの実施場所 (図表 3-23) [複数回答]

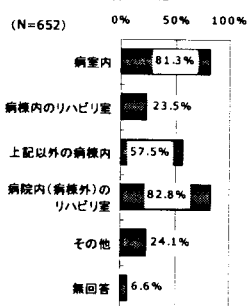
【理学療法】



【作業療法】

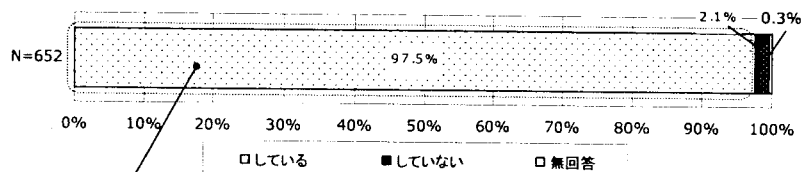


【言語療法】

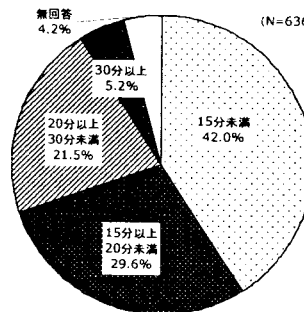


■ スタッフ間の患者情報の共有方法

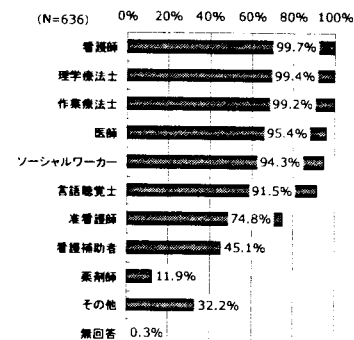
- ・リハビリテーション総合実施計画の作成を目的とした多職種による合同カンファレンスの実施状況 (図表 3-24)



・患者 1 人に要する合同カンファレンス 1 回当たりの時間 (図表 3-25)



・合同カンファレンスに参加している職種 (図表 3-26) [複数回答]



- ・合同カンファレンス以外の情報共有の方法

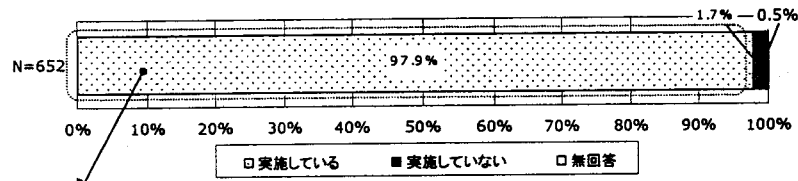
- ⇒ 必要に応じて (定期的ではなく) ミニカンファレンスを開催 60.6% (N=652)
- 定期的ミニカンファレンスを開催 (医師の参加無し) 42.8% (N=652)
- 定期的ミニカンファレンスを開催 (医師の参加有り) 37.7% (N=652)

- ・病棟におけるカルテ・各種記録の状況 (図表 3-27) [複数回答]

	病棟数	割合
一元化	看護士専用の記録があり、必要事項をカルテに転記一元化	440 件 67.5%
	リハビリスタッフ専用の記録があり、必要事項をカルテに転記一元化	443 件 67.9%
電子化	ソーシャルワーカー専用の記録があり、必要事項をカルテに転記一元化	360 件 55.2%
	いかなるスタッフであっても、いつでも自由にカルテを閲覧できる	585 件 89.7%
	医師の作成するカルテを電子化	164 件 25.2%
	看護士の作成する各種記録を電子化	183 件 28.1%
	リハビリスタッフの作成する各種記録を電子化	201 件 30.8%
	ソーシャルワーカーの作成する各種記録を電子化	166 件 25.5%
	上記に該当なし	3 件 0.5%
全体	652 件	

■ 病棟の退院支援体制

・ 病棟における退院支援の実施状況 (図表 3-28)



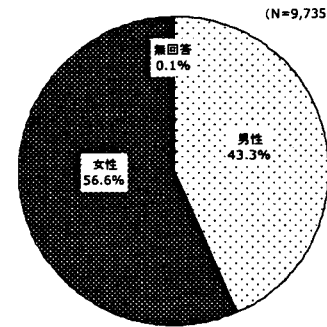
・ 病棟における退院支援の内容 (図表 3-29) [複数回答]

退院支援の内容	病棟数	割合
退院後の居場所に関する調整	624件	97.8%
介護認定の支援や介護サービスに係る紹介や調整	615件	96.4%
利用可能な社会資源・制度に関する情報提供や利用の支援	611件	95.8%
入院中の治療方針に関する説明と退院までの見通しの説明	600件	94.0%
家族への介護技術と医療技術の指導	560件	87.8%
患者への治療に係る目標管理と退院指導	542件	85.0%
継続的な療養管理が可能な状態となるまでの期間と退院日の設定	541件	84.8%
退院当日や退院後の療養相談	477件	74.8%
患者や家族に対するカウンセリングと精神的支援	473件	74.1%
退院後の定期的な患者の状態確認	146件	22.9%
その他	34件	5.3%
無回答	2件	0.3%
全体	638件	

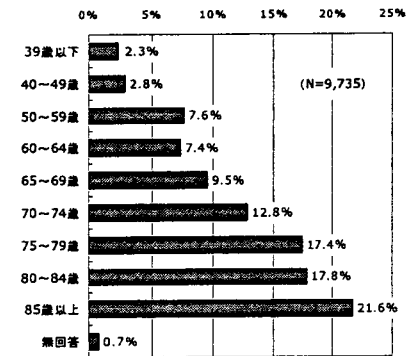
(4) 退院患者調査

■ 患者の属性

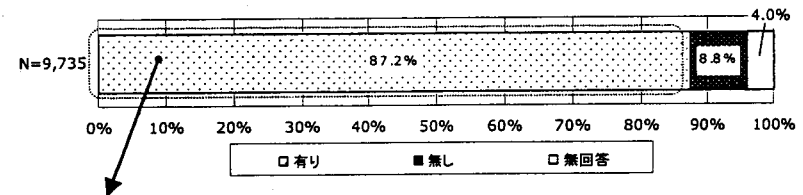
・ 性別 (図表 4-1)



・ 年齢 (図表 4-2) ... 平均 74.2 歳



・ 発症、受傷前の居宅の有無 (図表 4-3)

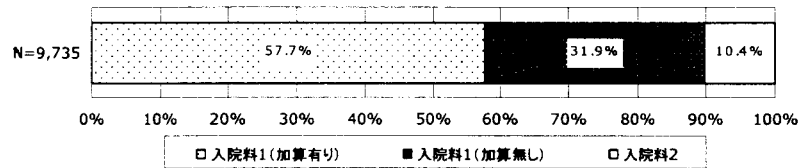


・ 発症、受傷前の居宅での介護者の状況 (図表 4-4)

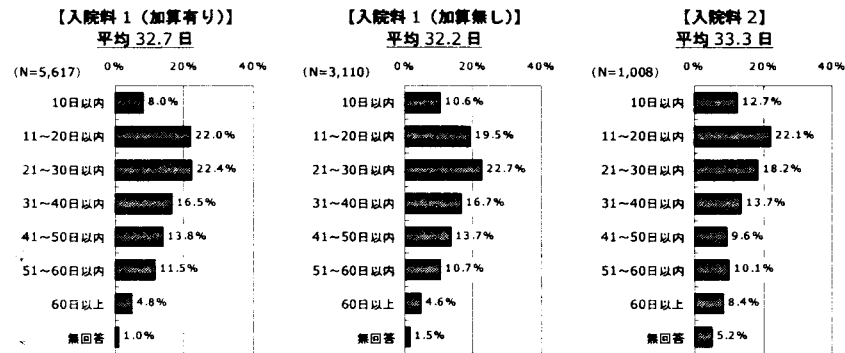
介護者の状況	人数		割合	
	総数	65歳以上	総数	65歳以上
常時、介護者(家族・友人等)が1人いる	3,063人	2,504人	36.1%	37.5%
独居ではないが、日中は独居に相当する(夜間は介護者がいる)	1,783人	1,370人	21.0%	20.5%
独居であり、介護者は全くいない	1,500人	1,200人	17.7%	18.0%
常時、介護者(家族・友人等)が複数いる	1,049人	780人	12.4%	11.7%
独居ではないが、家族等が仕事・病気等のため、介護者は全くいない	790人	596人	9.3%	8.9%
無回答	306人	234人	3.6%	3.5%
合計	8,491人	6,684人	100.0%	100.0%

■ 入棟時の状況

・回復期リハビリテーション病棟入院料の算定状況 (図表 4-5)



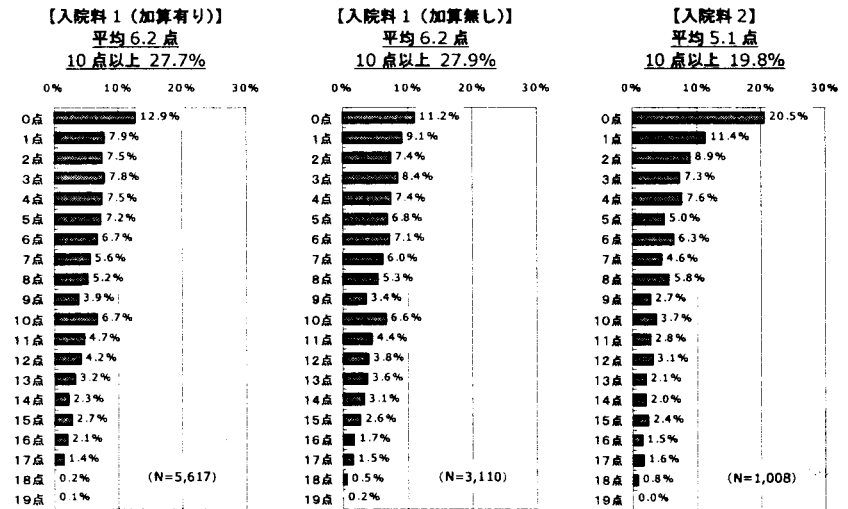
・発症、受傷から入棟までの日数 (図表 4-6)



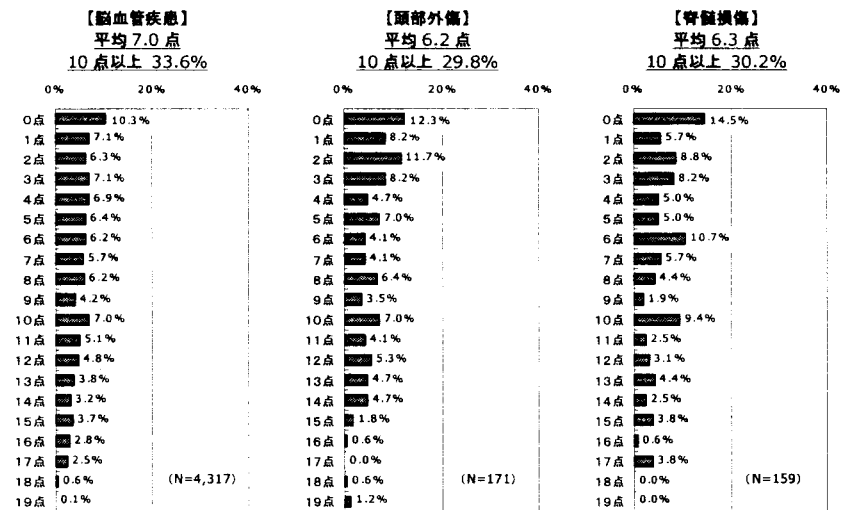
・原因疾患 (図表 4-7)

	入院料1 【加算有り】 (N=5,617)	入院料1 【加算無し】 (N=3,110)	入院料2 (N=1,008)
脳血管疾患	47.1%	45.0%	27.1%
脊髄損傷	1.6%	2.2%	1.3%
頭部外傷	1.6%	1.7%	1.4%
その他の脳神経系疾患	0.8%	1.2%	0.5%
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節等の骨折、二肢以上の多発骨折	31.9%	33.9%	40.8%
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節等の神経、筋、韧带損傷	2.0%	2.4%	8.3%
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	12.0%	10.7%	11.1%
その他	2.0%	2.0%	8.7%
無回答	1.0%	0.9%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

・日常生活機能評価の点数 (図表 4-8)



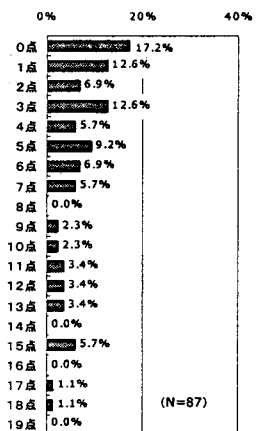
・原因疾患別にみた日常生活機能評価の点数 (図表 4-9)



【その他の脳神経系疾患】

平均 5.1 点

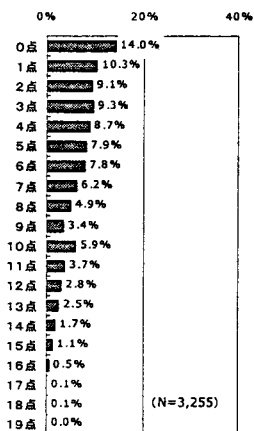
10 点以上 20.7%



【大脳骨等骨折】

平均 5.1 点

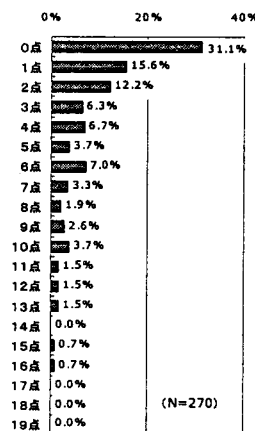
10 点以上 18.3%



【大脳骨等の神経等損傷】

平均 3.2 点

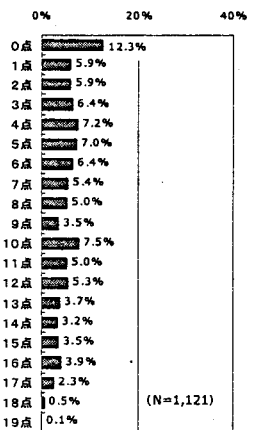
10 点以上 9.6%



【廃用症候群】

平均 7.0 点

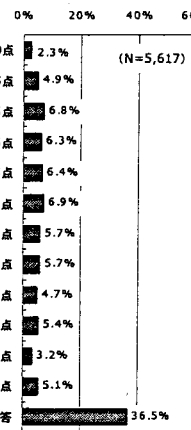
10 点以上 35.1%



・バーセル指数の点数 (図表 4-10)

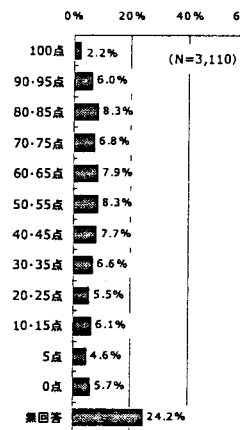
【入院料 1 (加算有り)】

平均 48.6 点



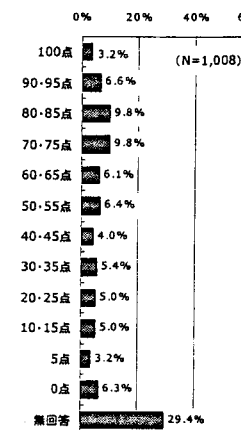
【入院料 1 (加算無し)】

平均 48.1 点



【入院料 2】

平均 52.5 点



・入棟時の日常生活機能評価とバーセル指数の関係 (図表 4-11)

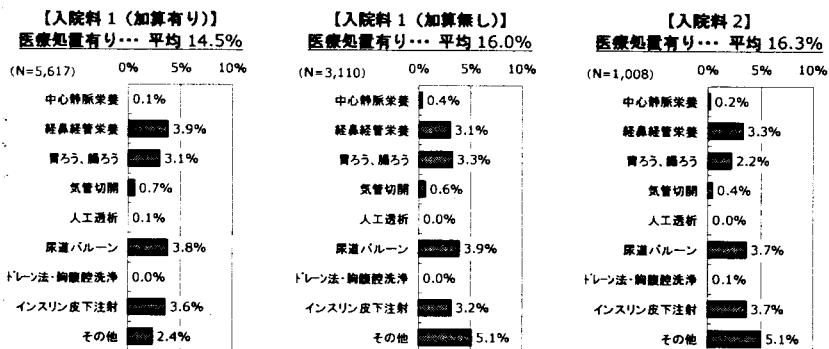
	バーセル指数											合計	平均	人数		
	100点	90点台	80点台	70点台	60点台	50点台	40点台	30点台	20点台	10点台	5点				0点	
日常生活機能評価	0点	16.8%	32.7%	26.7%	15.8%	4.5%	1.5%	1.0%	0.2%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%	84.9点	874人
	1点	8.3%	18.9%	30.2%	21.9%	10.2%	6.5%	1.8%	1.3%	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%	100.0%	77.7点	557人
	2点	3.1%	14.6%	25.1%	19.2%	16.7%	11.3%	4.8%	2.5%	1.9%	0.4%	0.0%	0.2%	100.0%	71.1点	478人
	3点	1.9%	6.6%	16.7%	18.2%	22.9%	14.3%	10.9%	4.1%	2.5%	1.2%	0.6%	0.2%	100.0%	63.4点	516人
	4点	1.0%	1.6%	11.3%	16.6%	20.5%	21.3%	14.5%	7.0%	4.5%	1.4%	0.0%	0.2%	100.0%	57.4点	488人
	5点	0.2%	2.1%	7.6%	9.6%	20.4%	22.0%	15.6%	12.8%	5.9%	3.7%	0.2%	0.0%	100.0%	52.3点	437人
	6点	0.7%	1.1%	4.8%	8.4%	15.9%	23.6%	18.8%	12.0%	8.4%	4.8%	0.5%	1.1%	100.0%	48.6点	441人
	7点	0.3%	0.8%	2.7%	6.2%	9.2%	21.9%	15.9%	19.5%	12.2%	8.4%	2.4%	0.5%	100.0%	42.2点	370人
	8点	0.0%	1.4%	1.9%	3.5%	7.6%	15.5%	19.9%	21.0%	13.1%	11.4%	3.8%	0.8%	100.0%	38.0点	367人
	9点	0.0%	0.8%	0.8%	3.1%	6.3%	9.4%	16.4%	21.1%	16.4%	17.2%	5.9%	2.7%	100.0%	32.3点	256人
	10点	0.2%	0.7%	0.9%	2.1%	5.4%	8.2%	11.8%	18.8%	18.1%	20.9%	10.4%	2.4%	100.0%	29.0点	425人
	11点	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.4%	4.8%	7.8%	13.3%	23.2%	27.3%	15.4%	5.1%	100.0%	21.2点	293人
	12点	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	2.6%	6.7%	11.2%	13.4%	27.2%	21.3%	15.3%	100.0%	16.7点	268人
	13点	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	2.2%	3.9%	8.3%	9.6%	24.3%	22.6%	27.4%	100.0%	12.8点	230人
	14点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	2.3%	1.7%	8.0%	9.7%	17.7%	20.6%	39.4%	100.0%	10.2点	175人
	15点	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	1.1%	1.7%	2.2%	5.0%	9.4%	22.7%	56.9%	100.0%	6.2点	181人
	16点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.2%	5.0%	9.4%	13.0%	69.1%	100.0%	3.8点	139人
	17点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	6.5%	13.0%	75.9%	100.0%	3.0点	108人
	18点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	4.0%	8.0%	80.0%	100.0%	3.8点	25人
	19点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0点	7人
合計	3.5%	8.0%	11.1%	10.0%	10.1%	10.7%	9.1%	8.8%	7.3%	8.2%	5.3%	7.9%	100.0%	48.9点	6,635人	

※日常生活機能評価及びバーセル指数のいずれについても回答のあった 6,635 人分で集計

・高次脳機能障害の有無 (図表 4-12)

		入院料 1 [加算有り] (N=5,617)	入院料 1 [加算無し] (N=3,110)	入院料 2 (N=1,008)
有		30.9%	30.4%	18.1%
症 状 等 (複 数 回)	失 語	11.9%	12.6%	6.7%
	失 行	5.5%	6.0%	3.3%
	失 認	5.6%	6.8%	4.7%
	半側空間無視	7.3%	7.3%	5.5%
	その他	14.8%	11.8%	7.6%
	無	65.6%	64.5%	75.2%
無 回 答		3.5%	5.0%	6.7%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%

・入棟時の医療処置の状況 (図表 4-13) [複数回答]



・入棟前の居場所 (図表 4-14)

		入院料 1 [加算有り] (N=5,617)	入院料 1 [加算無し] (N=3,110)	入院料 2 (N=1,008)
① 在宅		9.3%	14.8%	8.5%
自 院	② 急性期病床	6.2%	5.9%	7.8%
	③ 他の回復期リハビリテーション病棟	0.1%	0.1%	0.2%
	④ ②・③以外の一般病床	35.5%	31.9%	42.8%
	⑤ ②・③以外の療養病床	0.3%	0.4%	2.5%
他 院	⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.0%	0.2%	0.1%
	⑦ 回復期リハビリテーション病棟 [病院]	0.7%	0.6%	0.8%
	⑧ ⑥を除く一般病床 [病院]	44.4%	41.7%	32.5%
	⑨ ⑥を除く療養病床 [病院]	0.1%	0.1%	0.3%
そ の 他	⑩ ⑥～⑨を除くその他の病床 [病院]	0.6%	1.2%	1.0%
	⑪ 有床診療所	0.2%	0.1%	0.0%
	⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	0.5%	0.6%	0.6%
	⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0.2%	0.4%	1.0%
そ の 他	⑭ グループホーム	0.2%	0.2%	0.3%
	⑮ 有料老人ホーム・経費老人ホーム (ケアハウス)	0.4%	0.9%	0.3%
	⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.0%	0.0%	0.1%
	⑰ 障害者支援施設	0.0%	0.1%	0.0%
無 回 答	⑱ その他	0.3%	0.1%	0.2%
	無回答	0.8%	0.8%	1.0%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%

・原因疾患別にみた入棟前の居場所 (図表 4-15)

[脳血管疾患]

		入院料 1 [加算有り] (N=2,644)	入院料 1 [加算無し] (N=1,400)	入院料 2 (N=273)
① 在宅		8.0%	13.6%	9.5%
自 院	② 急性期病床	6.5%	5.8%	9.2%
	③ 他の回復期リハビリテーション病棟	0.2%	0.1%	0.4%
	④ ②・③以外の一般病床	28.5%	23.0%	23.1%
	⑤ ②・③以外の療養病床	0.2%	0.1%	1.1%
他 院	⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.0%	0.2%	0.4%
	⑦ 回復期リハビリテーション病棟 [病院]	1.1%	0.7%	1.5%
	⑧ ⑥を除く一般病床 [病院]	52.3%	52.7%	50.5%
	⑨ ⑥を除く療養病床 [病院]	0.2%	0.3%	0.4%
そ の 他	⑩ ⑥～⑨を除くその他の病床 [病院]	1.1%	1.0%	1.5%
	⑪ 有床診療所	0.1%	0.2%	0.0%
	⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	0.3%	0.5%	0.4%
	⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0.1%	0.2%	0.4%
そ の 他	⑭ グループホーム	0.2%	0.0%	1.1%
	⑮ 有料老人ホーム・経費老人ホーム (ケアハウス)	0.1%	0.6%	0.0%
	⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.0%	0.0%	0.0%
	⑰ 障害者支援施設	0.0%	0.0%	0.0%
無 回 答	⑱ その他	0.5%	0.1%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%
合 計		100.0%	100.0%	100.0%

[大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折]

		入院料1 [加算有り] (N=1,791)	入院料1 [加算無し] (N=1,053)	入院料2 (N=411)
① 在宅		10.7%	15.2%	9.5%
自 院	② 急性期病床	5.8%	4.7%	2.9%
	③ 他の回復期リハビリテーション病棟	0.0%	0.0%	0.2%
	④ ②・③以外の一般病床	42.0%	42.4%	54.5%
	⑤ ②・③以外の療養病床	0.2%	0.4%	1.0%
	⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.1%	0.1%	0.0%
他 院	⑦ 回復期リハビリテーション病棟 [病院]	0.3%	0.4%	0.2%
	⑧ ⑥を除く一般病床 [病院]	37.2%	31.8%	26.8%
	⑨ ⑥を除く療養病床 [病院]	0.1%	0.0%	0.2%
	⑩ ⑥～⑨を除くその他の病床 [病院]	0.2%	0.9%	1.2%
	⑪ 有床診療所	0.4%	0.0%	0.0%
そ の 他	⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	0.6%	0.8%	1.0%
	⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0.3%	0.4%	0.2%
	⑭ グループホーム	0.3%	0.3%	0.0%
	⑮ 有料老人ホーム・軽費老人ホーム (ケアハウス)	0.8%	1.3%	0.5%
	⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.0%	0.1%	0.2%
	⑰ 障害者支援施設	0.0%	0.3%	0.0%
	⑱ その他	0.1%	0.0%	0.2%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%

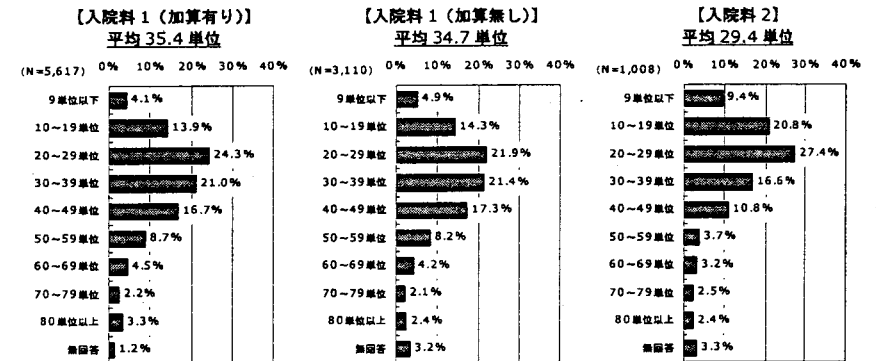
[廃用症候群]

		入院料1 [加算有り] (N=676)	入院料1 [加算無し] (N=333)	入院料2 (N=112)
① 在宅		8.7%	14.4%	9.8%
自 院	② 急性期病床	4.3%	7.5%	1.8%
	③ 他の回復期リハビリテーション病棟	0.1%	0.0%	0.0%
	④ ②・③以外の一般病床	50.6%	36.9%	29.5%
	⑤ ②・③以外の療養病床	1.6%	1.5%	16.1%
	⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.1%	0.3%	0.0%
他 院	⑦ 回復期リハビリテーション病棟 [病院]	0.4%	0.3%	1.8%
	⑧ ⑥を除く一般病床 [病院]	30.6%	33.3%	30.4%
	⑨ ⑥を除く療養病床 [病院]	0.0%	0.0%	0.0%
	⑩ ⑥～⑨を除くその他の病床 [病院]	0.3%	1.2%	0.9%
	⑪ 有床診療所	0.1%	0.3%	0.0%
そ の 他	⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	0.9%	0.9%	0.9%
	⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0.1%	1.8%	6.3%
	⑭ グループホーム	0.0%	0.3%	0.0%
	⑮ 有料老人ホーム・軽費老人ホーム (ケアハウス)	0.6%	1.2%	0.0%
	⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.1%	0.0%	0.0%
	⑰ 障害者支援施設	0.0%	0.0%	0.0%
	⑱ その他	0.3%	0.0%	0.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%

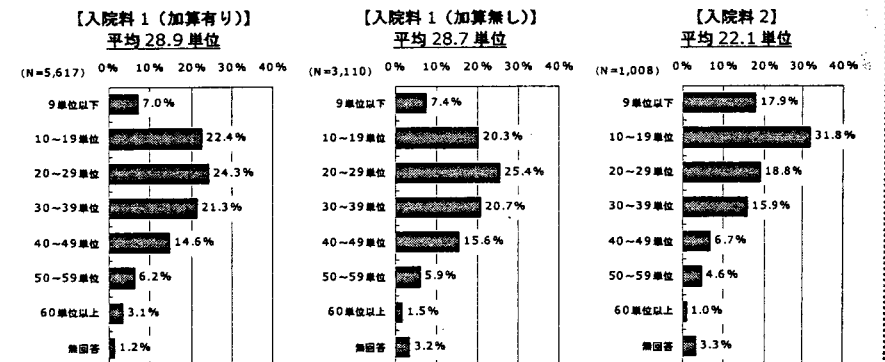
■ 在棟期間中のリハビリテーションの実施状況

① 理学療法・作業療法・言語療法

・入棟日の翌週1週間の理学+作業+言語療法の実施単位数 (図表 4-16)



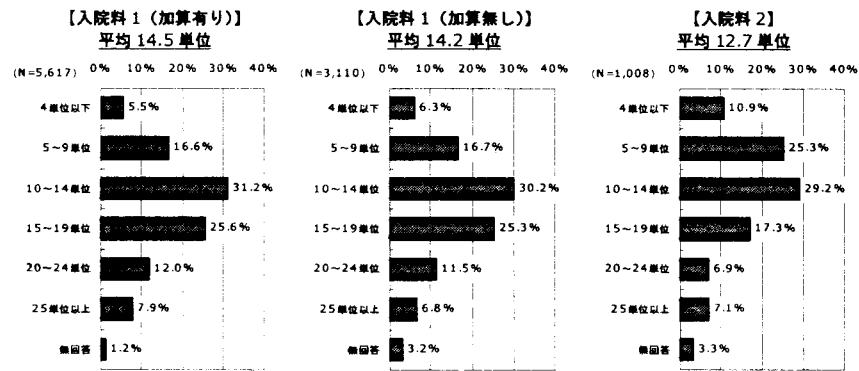
・退棟日の前週1週間の理学+作業+言語療法の実施単位数 (図表 4-17)



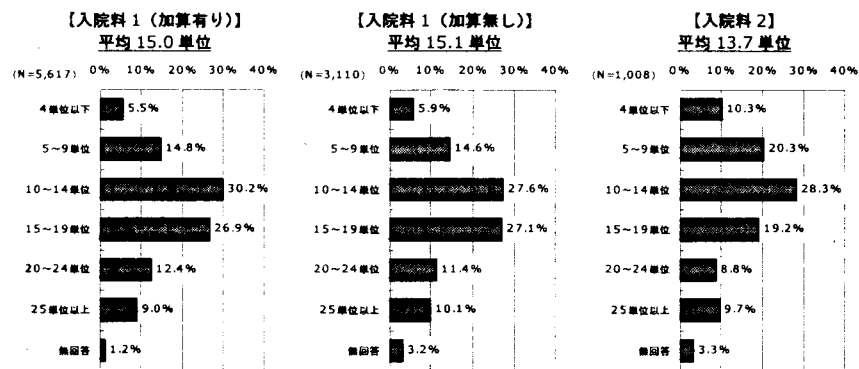


② 理学療法

・入棟日の翌週1週間の理学療法の実施単位数 (図表 4-18)

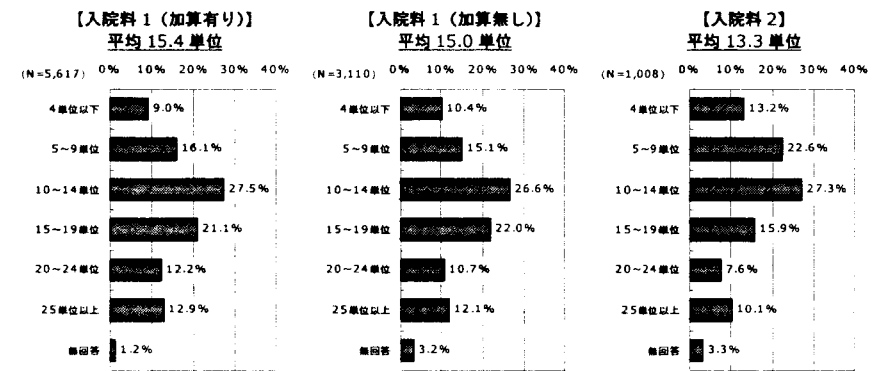


・退棟日の前週1週間の理学療法の実施単位数 (図表 4-19)

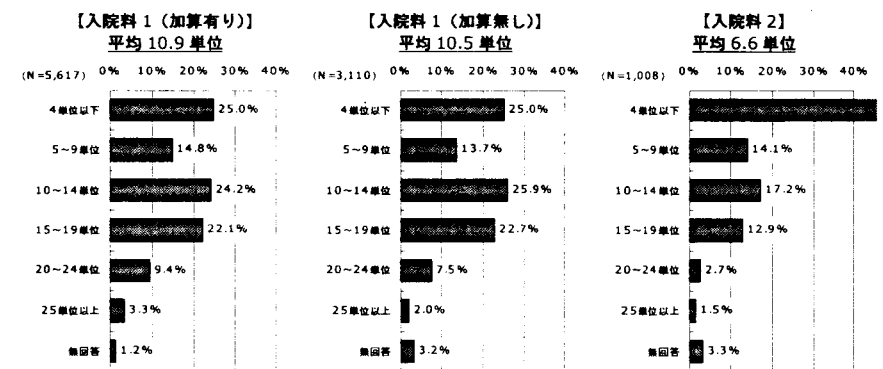


③ 作業療法

・入棟日の翌週1週間の作業療法の実施単位数 (図表 4-20)

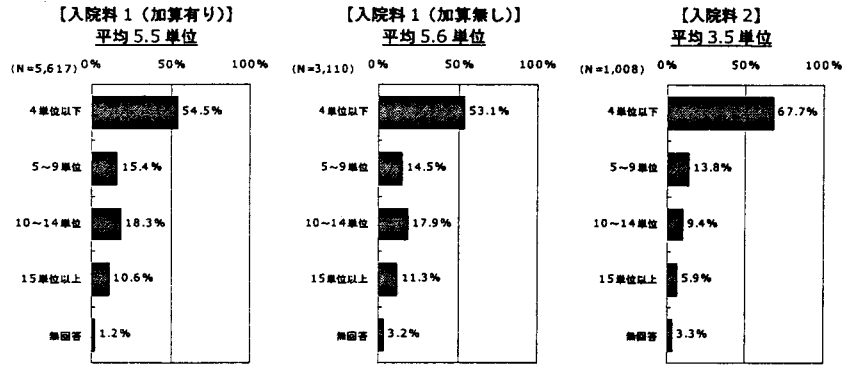


・退棟日の前週1週間の作業療法の実施単位数 (図表 4-21)

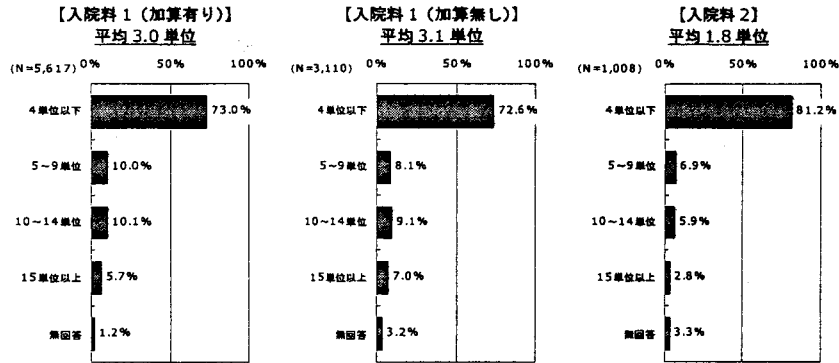


④ 言語療法

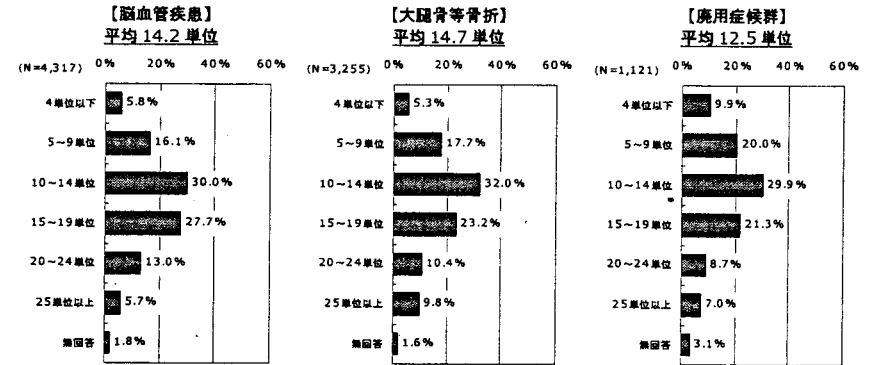
・入棟日の翌週1週間の言語療法の実施単位数(図表4-22)



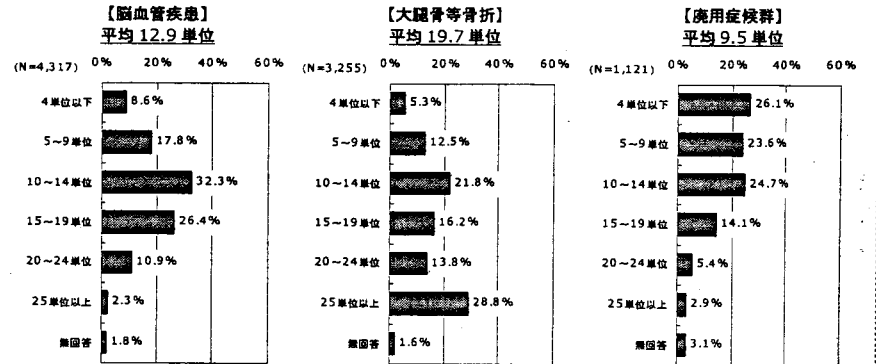
・退棟日の前週1週間の作業療法の実施単位数(図表4-23)



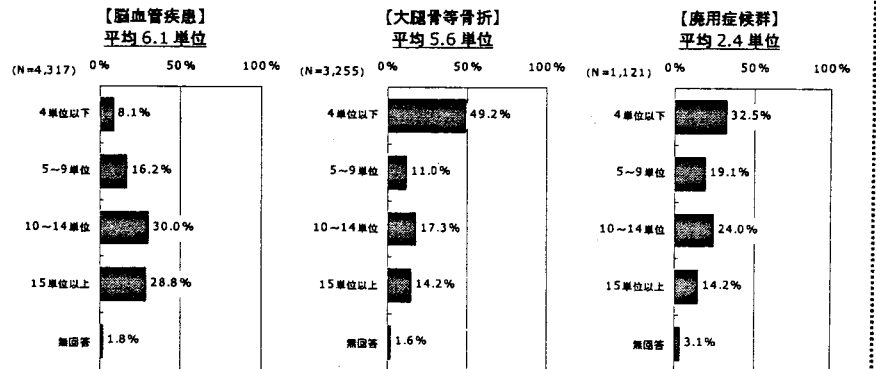
・原因疾患別にみた入棟日の翌週1週間の理学療法の実施単位数(図表4-24)



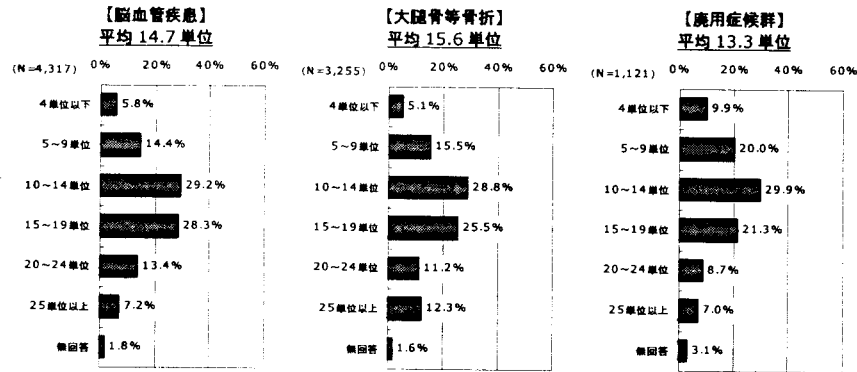
・原因疾患別にみた入棟日の翌週1週間の作業療法の実施単位数(図表4-25)



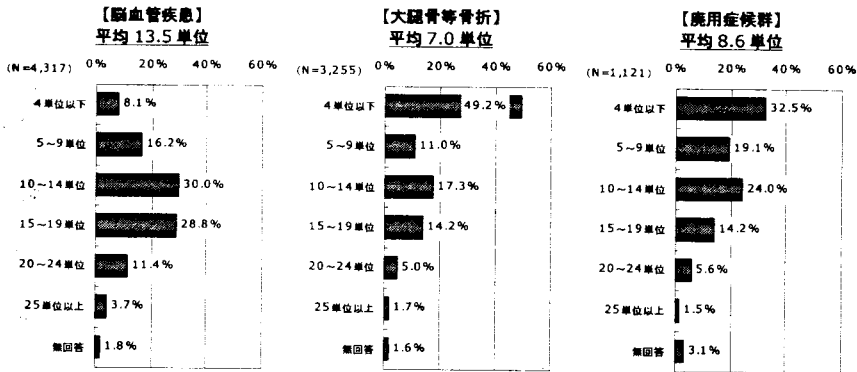
・原因疾患別にみた入棟日の翌週1週間の言語療法の実施単位数(図表4-26)



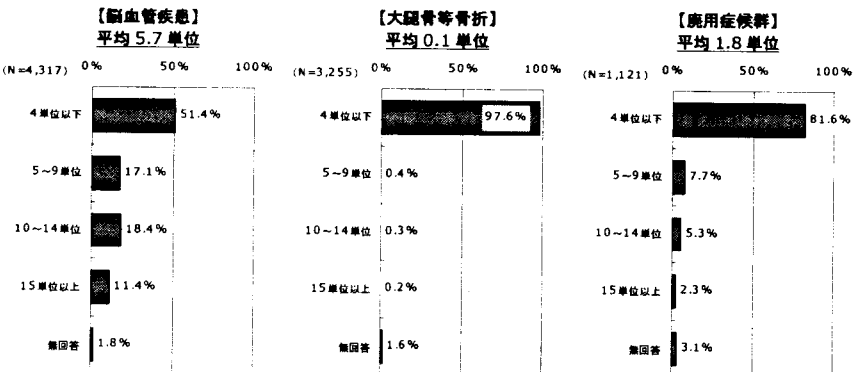
・原因疾患別にみた退棟日の前週1週間の理学療法の実施単位数(図表4-27)



・原因疾患別にみた退棟日の前週1週間の作業療法の実施単位数(図表4-28)



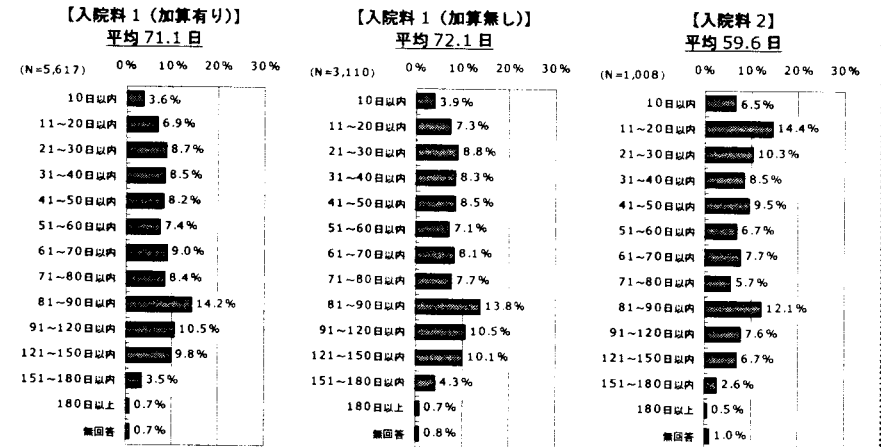
・原因疾患別にみた退棟日の前週1週間の言語療法の実施単位数(図表4-29)



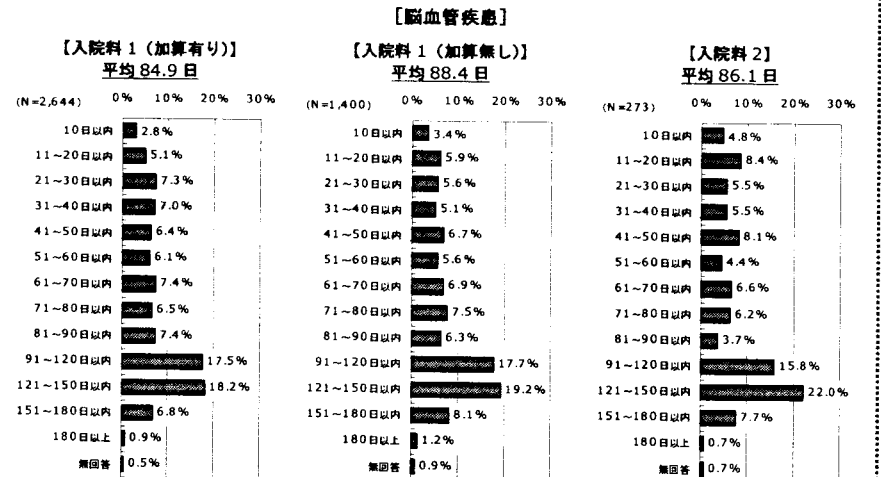
■ 退棟時の状況

① 在棟日数

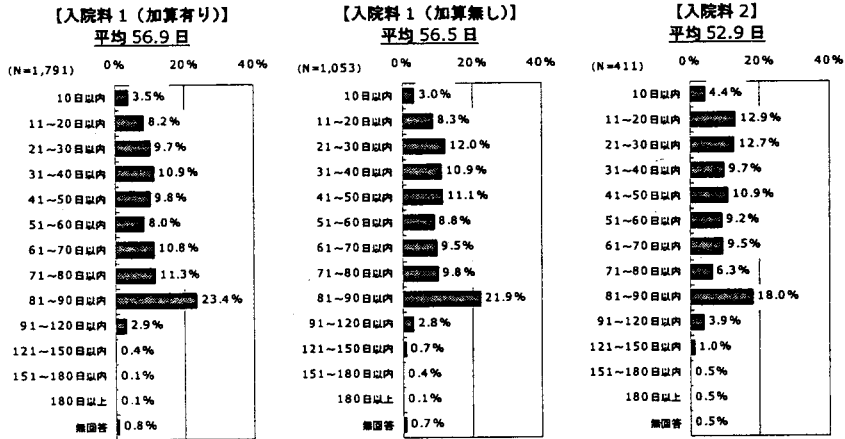
・在棟日数(図表4-30)



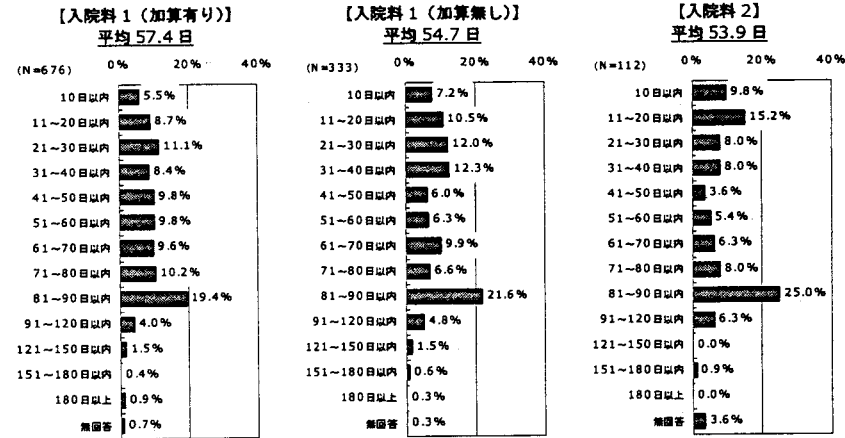
・原因疾患別にみた在棟日数(図表4-31)



**[大腿骨等の骨折、多発骨折]**



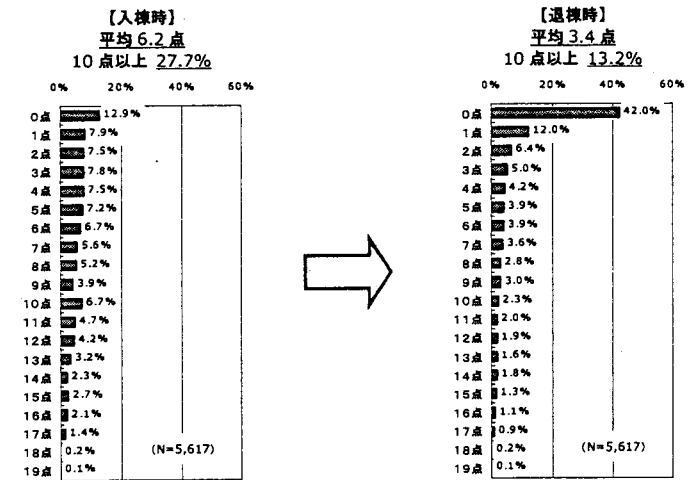
**[廃用症候群]**



**② 日常生活機能評価の改善状況**

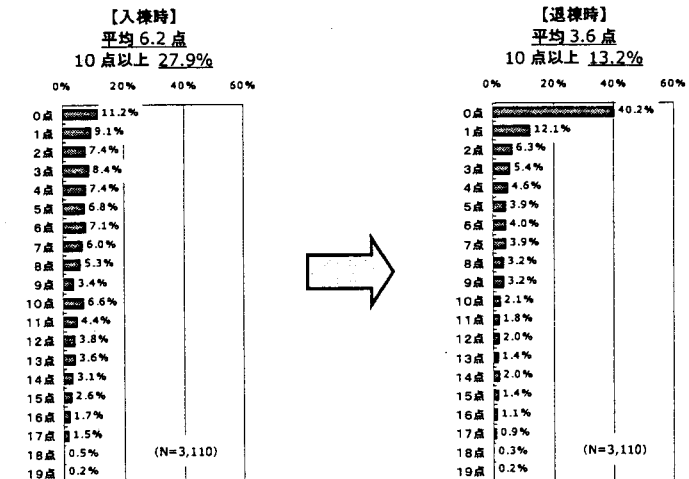
・日常生活機能評価の改善状況 (図表 4-32)

⇒ 退棟時における日常生活機能評価：入棟時に比べて平均 2.7 点改善  
 入棟時に比べて 1 点以上改善した患者の割合 73.0%  
 入棟時に 10 点以上だった患者のうち、退棟時に 3 点以上改善した患者の割合 60.8%



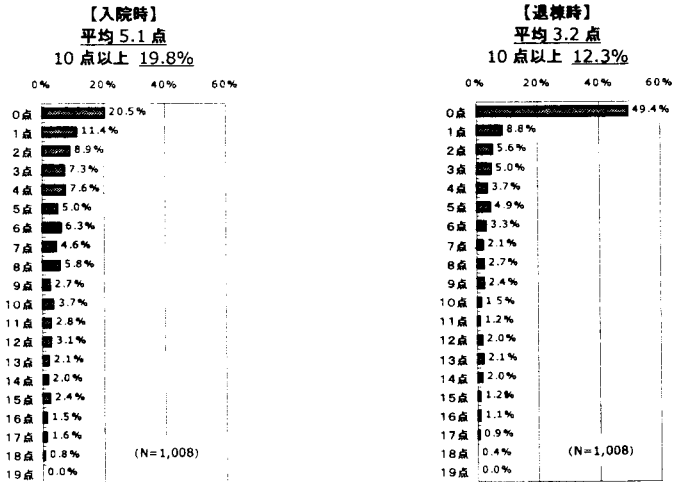
**[入院料1 (加算無し)]**

退棟時における日常生活機能評価：入棟時に比べて平均 2.6 点改善  
 入棟時に比べて 1 点以上改善した患者の割合 73.4%  
 入棟時に 10 点以上だった患者のうち、退棟時に 3 点以上改善した患者の割合 59.3%

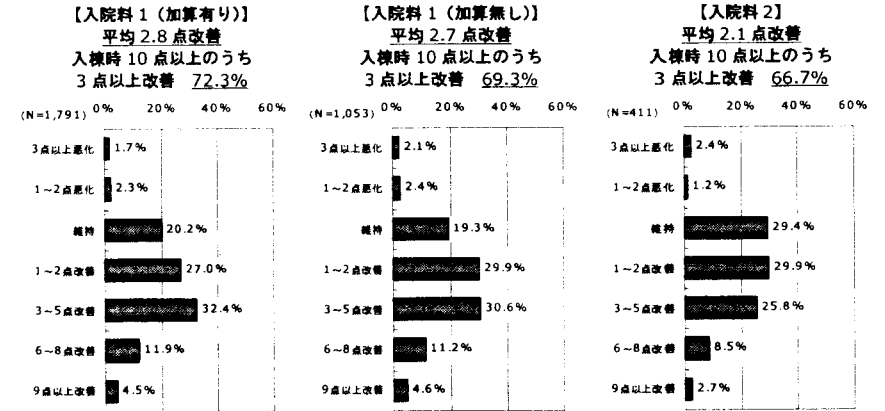


**【入院料 2】**

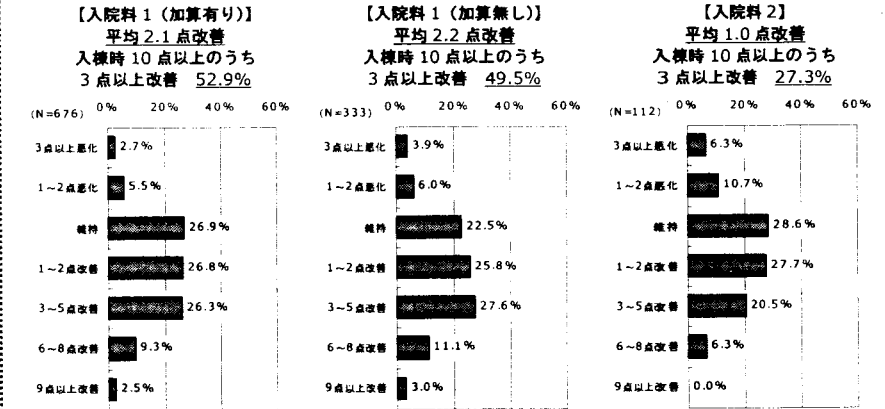
⇒ 退棟時における日常生活機能評価：入棟時に比べて平均 1.9 点改善  
 入棟時に比べて 1 点以上改善した患者の割合 62.8%  
 入棟時に 10 点以上だった患者のうち、退棟時に 3 点以上改善した患者の割合 52.5%



**【大腿骨等の骨折、多発骨折】**

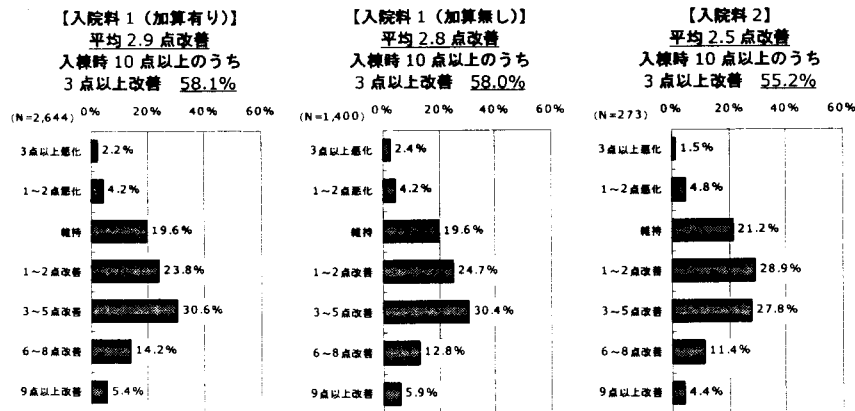


**【廃用症候群】**



**・原因疾患別に見た日常生活機能評価の改善状況 (図表 4-33)**

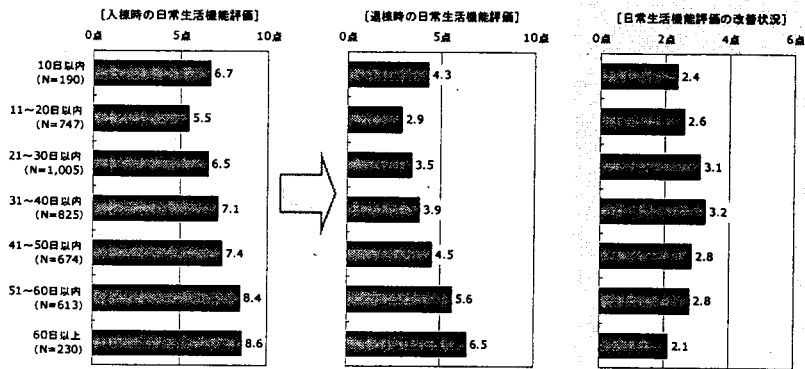
**【脳血管疾患】**



・発症、受傷から入棟までの日数別にみた日常生活機能評価の改善状況（図表 4-34）

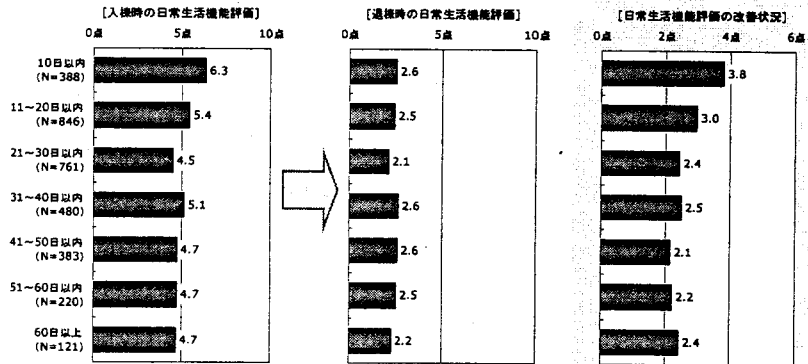
【脳血管疾患】

入棟までの日数 平均 36.0 日



【大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折】

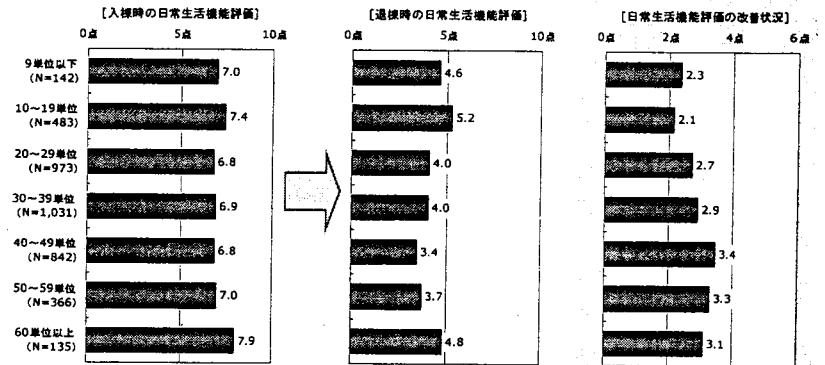
入棟までの日数 平均 28.5 日



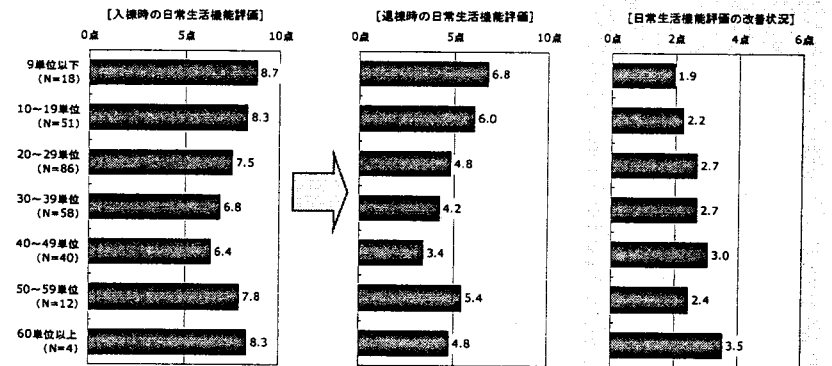
・入棟翌週 1 週間のリハビリテーション（理学+作業+言語療法）の実施状況別にみた日常生活機能評価の改善状況（図表 4-35）

【脳血管疾患】

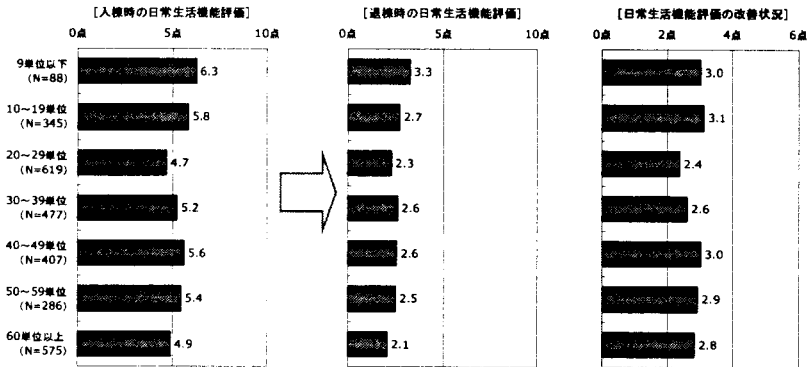
【回復リハビリテーション入院料 1 算定患者】  
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数  
平均 33.5 単位



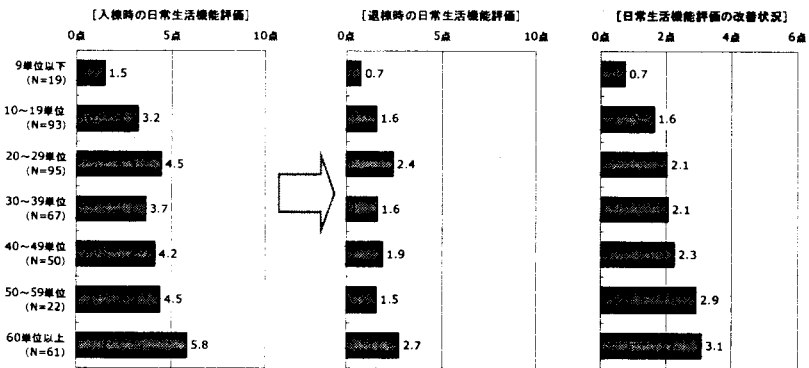
【回復リハビリテーション入院料 2 算定患者】  
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数  
平均 28.6 単位



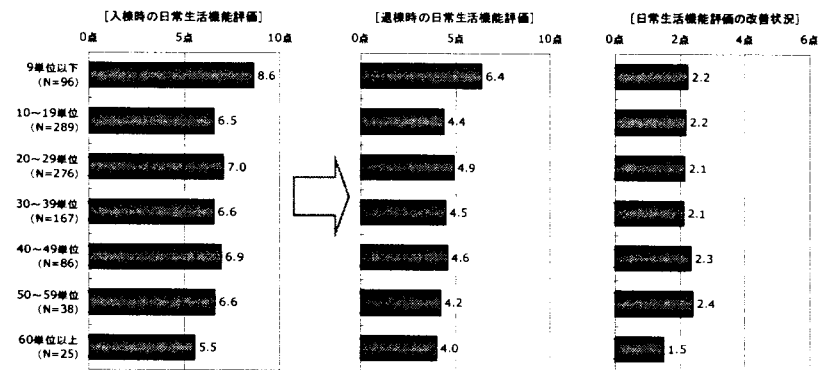
**[大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折]**  
**[回復リハビリテーション入院料 1 算定患者]**  
 理学+作業+言語療法の1人当たり実施単位数  
 平均 40.8 単位



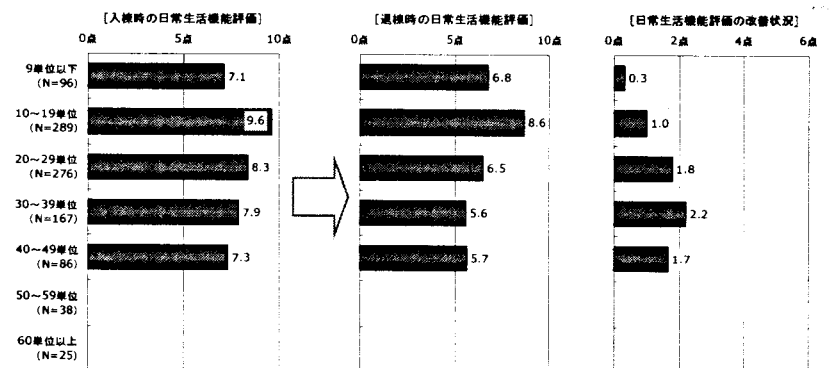
**[回復リハビリテーション入院料 2 算定患者]**  
 理学+作業+言語療法の1人当たり実施単位数  
 平均 34.1 単位



**[廃用症候群]**  
**[回復リハビリテーション入院料 1 算定患者]**  
 理学+作業+言語療法の1人当たり実施単位数  
 平均 25.2 単位



**[回復リハビリテーション入院料 2 算定患者]**  
 理学+作業+言語療法の1人当たり実施単位数  
 平均 16.9 単位



③ パーセル指数の改善状況

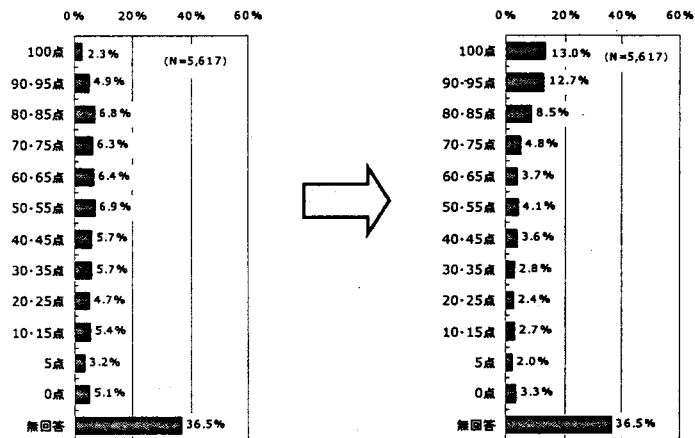
・パーセル指数の改善状況 (図表 4-36)

【入院料 1 (加算有り)】

退棟時におけるパーセル指数：入棟時に比べて平均 19.4 点改善

【入棟時】  
平均 48.6 点

【退棟時】  
平均 68.0 点

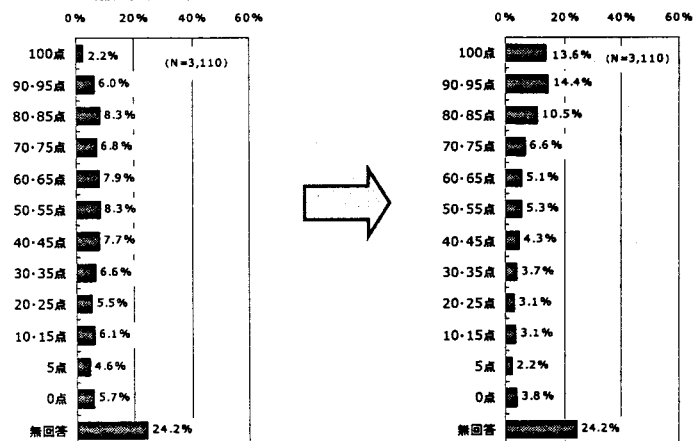


【入院料 1 (加算無し)】

退棟時におけるパーセル指数：入棟時に比べて平均 18.8 点改善

【入棟時】  
平均 48.1 点

【退棟時】  
平均 66.9 点

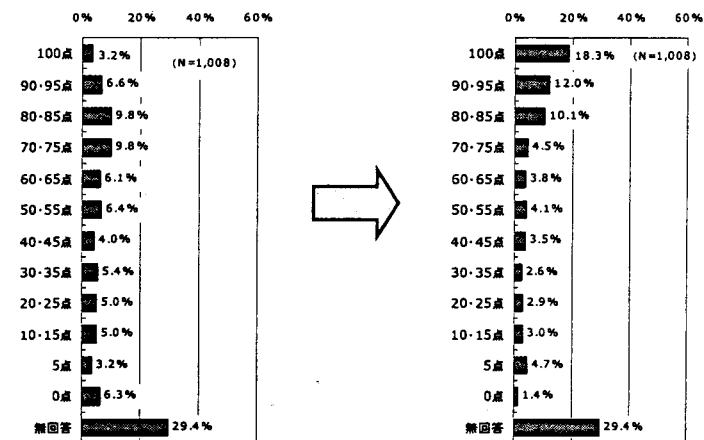


【入院料 2】

退棟時におけるパーセル指数：入棟時に比べて平均 16.8 点改善

【入棟時】  
平均 52.5 点

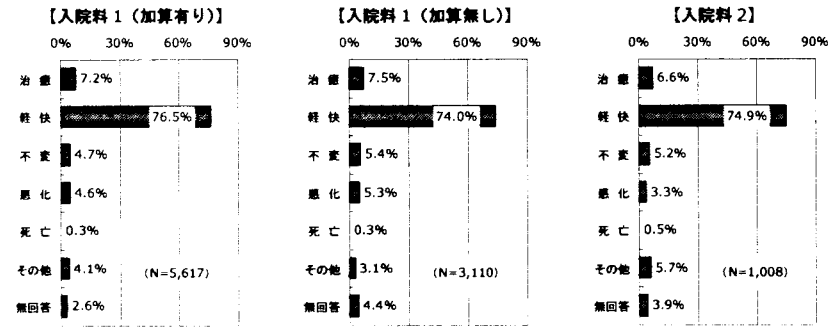
【退棟時】  
平均 69.3 点





### ③ 退棟時の転帰

・退棟時の転帰 (図表 4-37)



### ④ 退棟後の居場所

・退棟後の居場所 (図表 4-38)

	入院料1 【加算有り】 (N=5,617)	入院料1 【加算無し】 (N=3,110)	入院料2 (N=1,008)
① 在宅	68.8%	68.6%	65.6%
自院			
② 急性期病床	0.7%	1.3%	1.0%
③ 他の回復期リハビリテーション病床	0.2%	0.0%	0.2%
④ ②・③以外の一般病床	2.7%	2.8%	2.5%
⑤ ②・③以外の療養病床	1.4%	1.4%	5.8%
⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.2%	0.2%	0.4%
他院			
⑦ 回復期リハビリテーション病床【病院】	0.6%	0.4%	0.2%
⑧ ⑥を除く一般病床【病院】	5.8%	5.6%	4.3%
⑨ ⑥を除く療養病床【病院】	3.1%	2.8%	2.7%
⑩ ⑥～⑧を除くその他の病床【病院】	0.6%	0.4%	1.4%
⑪ 有床診療所	0.2%	0.1%	0.2%
その他			
⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	7.9%	8.3%	6.5%
⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	2.2%	1.8%	2.5%
⑭ グループホーム	0.9%	0.9%	1.0%
⑮ 有料老人ホーム・経費老人ホーム (ケアハウス)	2.4%	2.3%	2.4%
⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.5%	0.6%	1.1%
⑰ 障害者支援施設	0.2%	0.4%	0.1%
⑱ 死亡	0.3%	0.3%	0.5%
⑲ その他	0.4%	0.5%	0.7%
無回答	0.8%	1.4%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

・原因疾患別にみた退棟後の居場所 (図表 4-39)

#### 【脳血管疾患】

	入院料1 【加算有り】 (N=2,644)	入院料1 【加算無し】 (N=1,400)	入院料2 (N=273)
① 在宅	65.4%	63.6%	57.5%
自院			
② 急性期病床	0.9%	1.5%	1.1%
③ 他の回復期リハビリテーション病床	0.3%	0.1%	0.7%
④ ②・③以外の一般病床	2.9%	2.8%	2.6%
⑤ ②・③以外の療養病床	1.7%	1.4%	8.8%
⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.2%	0.1%	0.4%
他院			
⑦ 回復期リハビリテーション病床【病院】	1.0%	0.6%	0.7%
⑧ ⑥を除く一般病床【病院】	7.3%	6.4%	5.5%
⑨ ⑥を除く療養病床【病院】	3.7%	4.2%	5.9%
⑩ ⑥～⑧を除くその他の病床【病院】	0.7%	0.3%	2.2%
⑪ 有床診療所	0.2%	0.2%	0.4%
その他			
⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	9.7%	11.3%	5.9%
⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1.4%	1.0%	2.6%
⑭ グループホーム	0.5%	0.9%	1.1%
⑮ 有料老人ホーム・経費老人ホーム (ケアハウス)	1.8%	2.2%	0.7%
⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.7%	0.6%	1.1%
⑰ 障害者支援施設	0.3%	0.6%	0.4%
⑱ 死亡	0.3%	0.1%	1.1%
⑲ その他	0.5%	0.5%	0.7%
無回答	0.7%	1.6%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

#### 【大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折】

	入院料1 【加算有り】 (N=1,791)	入院料1 【加算無し】 (N=1,053)	入院料2 (N=411)
① 在宅	75.0%	75.2%	68.1%
自院			
② 急性期病床	0.4%	0.4%	1.2%
③ 他の回復期リハビリテーション病床	0.0%	0.0%	0.0%
④ ②・③以外の一般病床	1.8%	2.8%	2.4%
⑤ ②・③以外の療養病床	0.9%	1.0%	3.4%
⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.2%	0.3%	0.0%
他院			
⑦ 回復期リハビリテーション病床【病院】	0.3%	0.2%	0.0%
⑧ ⑥を除く一般病床【病院】	3.2%	3.6%	3.4%
⑨ ⑥を除く療養病床【病院】	2.1%	1.5%	1.5%
⑩ ⑥～⑧を除くその他の病床【病院】	0.4%	0.6%	1.2%
⑪ 有床診療所	0.2%	0.1%	0.2%
その他			
⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	6.1%	5.2%	9.0%
⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	2.7%	2.3%	1.0%
⑭ グループホーム	1.5%	1.1%	1.5%
⑮ 有料老人ホーム・経費老人ホーム (ケアハウス)	3.0%	2.7%	2.9%
⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.4%	0.8%	1.9%
⑰ 障害者支援施設	0.1%	0.2%	0.0%
⑱ 死亡	0.0%	0.1%	0.0%
⑲ その他	0.4%	0.7%	1.0%
無回答	1.2%	1.3%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

[廃用症候群]

		入院料 1 [加算有り] (N=676)	入院料 1 [加算無し] (N=333)	入院料 2 (N=112)
自 院	① 在宅	59.8%	62.8%	38.4%
	② 急性期病床	0.9%	3.0%	0.9%
	③ 他の回復期リハビリテーション病床	0.1%	0.0%	0.0%
	④ ②・③以外の一般病床	5.3%	3.0%	1.8%
	⑤ ②・③以外の療養病床	1.9%	3.6%	17.0%
	⑥ ②～⑤を除くその他の病床	0.1%	0.0%	2.7%
他 院	⑦ 回復期リハビリテーション病床 [病院]	0.0%	0.3%	0.0%
	⑧ ⑥を除く一般病床 [病院]	7.4%	6.6%	7.1%
	⑨ ⑥を除く療養病床 [病院]	3.1%	2.1%	2.7%
	⑩ ⑧～⑨を除くその他の病床 [病院]	0.4%	0.6%	0.9%
	⑪ 有床診療所	0.1%	0.0%	0.0%
そ の 他	⑫ 介護老人保健施設 (老人保健施設)	8.3%	7.2%	7.1%
	⑬ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	4.6%	3.9%	9.8%
	⑭ グループホーム	1.3%	0.9%	0.9%
	⑮ 有料老人ホーム・軽費老人ホーム (ケアハウス)	3.8%	2.7%	6.3%
	⑯ 高齢者専用賃貸住宅	0.4%	0.6%	0.0%
	⑰ 障害者支援施設	0.0%	0.6%	0.0%
	⑱ 死亡	1.2%	1.2%	1.8%
	⑲ その他	0.6%	0.0%	0.0%
	無回答	0.4%	0.9%	2.7%
	合 計	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 退棟決定の状況

・退棟決定の状況 (図表 4-40)

	入院料 1 [加算有り] (N=5,617)	入院料 1 [加算無し] (N=3,110)	入院料 2 (N=1,008)
予定よりも早く退棟できた	13.7%	16.6%	14.5%
特に問題なく、予定通りに退棟できた	58.4%	55.7%	59.7%
病状悪化等の理由により、退棟が遅びていた	3.9%	3.8%	2.5%
入所・入院する施設の都合で、退棟が遅びていた	4.6%	4.6%	5.6%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退棟が遅びていた	6.0%	5.5%	3.9%
在宅に戻る予定だったが、介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が遅びていた	1.3%	1.2%	0.7%
その他	8.8%	9.9%	11.5%
無回答	3.3%	2.7%	1.7%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%

・居宅での介護者の状況別みた退棟決定の状況 (図表 4-41)

[全年齢]

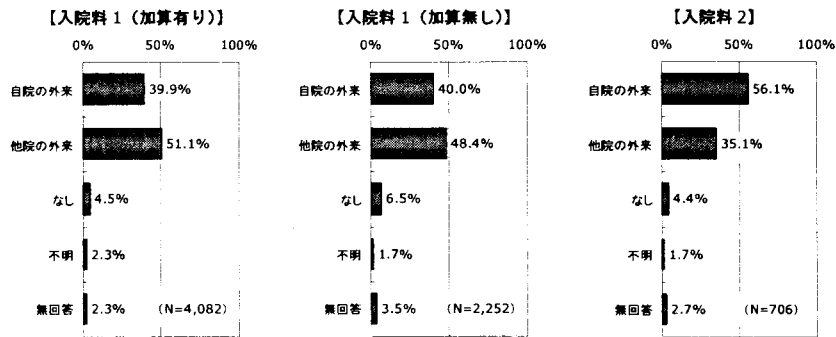
	居宅での介護者の状況		
	全日いる (N=4,112)	日中いない (N=1,783)	全日いない (N=2,290)
予定よりも早く退棟できた	15.3%	12.8%	14.5%
特に問題なく、予定通りに退棟できた	60.4%	57.9%	56.8%
病状悪化等の理由により、退棟が遅びていた	3.7%	4.2%	3.4%
入所・入院する施設の都合で、退棟が遅びていた	3.2%	4.4%	7.0%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退棟が遅びていた	5.4%	8.1%	4.9%
在宅に戻る予定だったが、介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が遅びていた	0.9%	0.8%	1.8%
その他	9.0%	9.6%	9.6%
無回答	2.1%	2.2%	2.0%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%

[65歳以上]

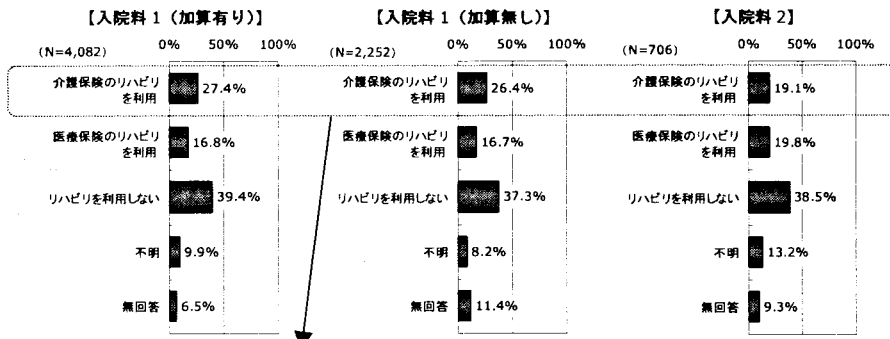
	居宅での介護者の状況		
	全日いる (N=3,284)	日中いない (N=1,370)	全日いない (N=1,796)
予定よりも早く退棟できた	15.0%	12.1%	13.6%
特に問題なく、予定通りに退棟できた	59.7%	57.3%	56.5%
病状悪化等の理由により、退棟が遅びていた	4.1%	4.1%	3.7%
入所・入院する施設の都合で、退棟が遅びていた	3.3%	5.2%	7.7%
在宅に戻る予定だったが、家族の受け入れ態勢が整わず、退棟が遅びていた	5.2%	8.3%	5.0%
在宅に戻る予定だったが、介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が遅びていた	1.0%	1.0%	1.9%
その他	9.6%	9.6%	9.6%
無回答	2.1%	2.3%	1.9%
合 計	100.0%	100.0%	100.0%

■ 退棟後の状況（在宅等へ復帰した場合）

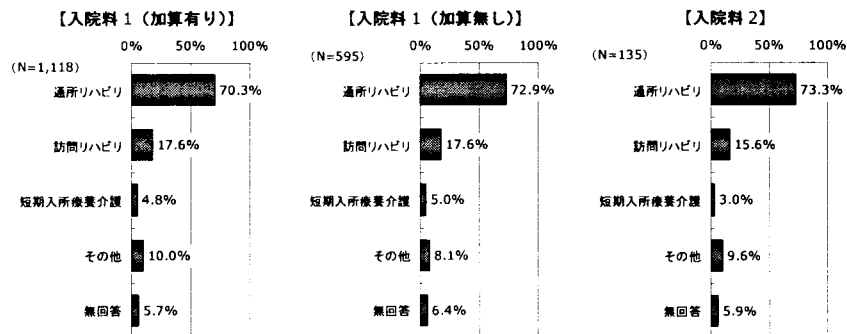
・ 通院先（図表 4-42）



・ 退棟後のリハビリテーションに係る方針（図表 4-43）



・ 利用する介護保険のリハビリテーションの内容（図表 4-44）



平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成21年度調査）  
**歯科外来診療環境体制加算の実施状況調査 結果概要（速報）**

1. 目的

- ・ 歯科保険医療機関における外来診療時の偶発症等への対応状況の把握
- ・ 医科の医療機関との連携状況等の把握
- ・ 医療安全に対する歯科医療機関の取組内容及び職員意識の変化等の把握
- ・ 患者の安心感等の把握

2. 調査対象

- ・ 本調査では、「施設調査」「患者調査」の2つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。
- ・ 施設調査：「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を届け出ている歯科保険医療機関の中から無作為抽出した1,000施設を対象とした。
- ・ 患者調査：上記「施設調査」の対象施設に調査日に来院し、歯科外来診療環境体制加算を算定した患者を対象とした。1施設あたり4名の患者を本調査の対象とした。

3. 調査方法

- ・ 対象施設・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 「施設調査」については、施設属性、歯科外来診療環境体制加算の状況、歯科外来診療時における体制、歯科外来診療環境体制加算の整備に係る有効性・変化等を尋ねる調査票（「施設票」）を配布した。
- ・ 「患者調査」については、歯科外来診療環境体制加算の認知度や安心感、安全・安心な歯科診療に関する考え等を尋ねる調査票（「患者票」）を配布した。患者票の配布は、上記「施設調査」の対象施設を通じて行ったが、回収は、各患者から調査事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・ 調査実施時期は平成21年7月～平成21年8月。

4. 調査項目

・ 調査項目は次のとおり。

調査区分	主な内容
施設調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種別、開設主体、標榜診療科、届出施設基準</li> <li>・ ユニット台数、職員数</li> </ul> </li> <li>○歯科外来診療環境体制加算の状況等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算の届出受理時期</li> <li>・ 1か月間の歯科外来患者実数</li> <li>・ 1か月間の歯科外来診療環境体制加算を算定した初診患者数</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算要件の整備に係る有効性</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算による効果</li> <li>・ 安全・安心な歯科外来診療を提供する上での課題</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算についての意見等</li> </ul> </li> <li>○歯科外来診療時における体制等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療連携の方法、連携体制を整えた時期、連携している医療機関の種類</li> <li>・ 装置・器具等の導入時期等</li> </ul> </li> <li>○緊急対応が必要となった症例への対応状況等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者属性（年齢、性別、主たる歯科疾患名、歯科以外の疾患の有無）</li> <li>・ 緊急対応が必要になった時の治療内容</li> <li>・ 患者の状態</li> <li>・ 具体的な対応内容</li> <li>・ 緊急対応後の患者の状態等</li> </ul> </li> </ul>
患者調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本属性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢</li> <li>・ 歯科以外の疾患の有無、持病の種類、過去の歯科治療の経験等</li> </ul> </li> <li>○受診した歯科診療の内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診した施設の種類、治療内容</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算の認知度、安心感</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算のポスターの認知度</li> <li>・ 歯科外来診療環境体制加算のポスターを見ることでの安心感等</li> </ul> </li> <li>○「安全・安心」な歯科診療に関する考え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科診療で不安になる場面、歯科診療で不安になること</li> <li>・ 施設の対策に対する安心感</li> <li>・ 歯科医療の「安全・安心」についての意見等</li> </ul> </li> </ul>

5. 結果概要

(1) 回収の状況

図表 1 回収の状況

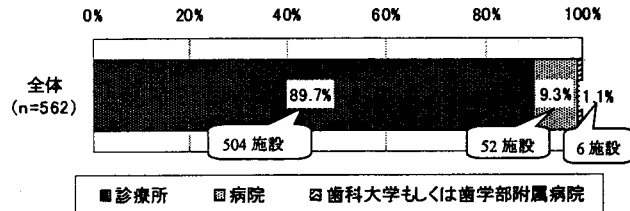
	有効回収数	有効回収率
施設調査	562	56.2%
患者調査	1,570	—

(2) 施設調査の結果概要

①施設の属性

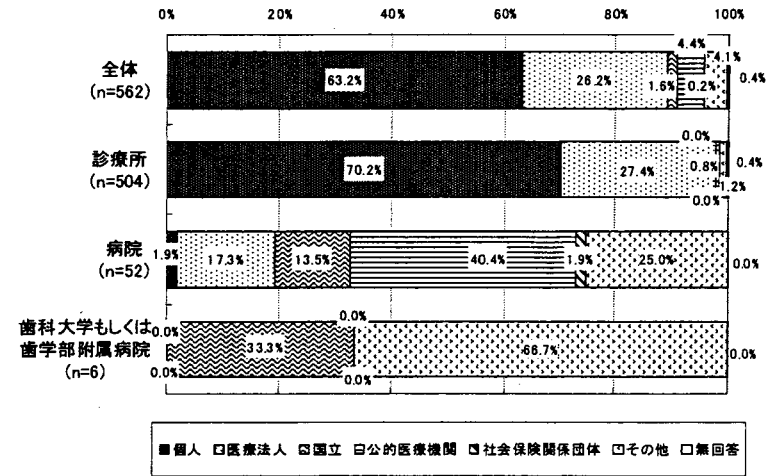
1) 種別

図表 2 種別



2) 開設主体

図表 3 開設主体

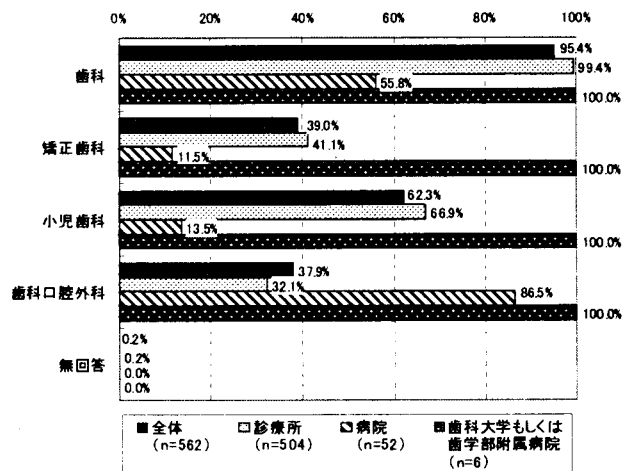


※参考：開設主体の内訳

国立	厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他（国）
公的医療機関	日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会、都道府県、市町村、地方独立行政法人、歯科医師会、公立大学法人
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
その他	私立大学法人、公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

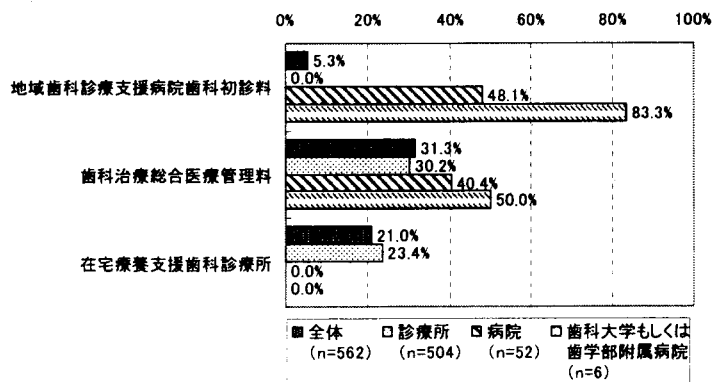
3) 標榜診療科

図表 4 標榜診療科 (複数回答)



4) 施設基準の届出状況

図表 5 施設基準の届出 (複数回答)



5) ユニット台数

図表 6 ユニット台数 (種別)

(単位: 台)

種別	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
全体	n=556	6.2	16.0	198.0	2.0	4.0
診療所	n=499	4.4	2.0	21.0	2.0	4.0
病院	n=51	5.6	4.1	26.0	2.0	4.0
歯科大学もしくは歯学部附属病院	n=6	155.0	31.2	198.0	116.0	158.5

(注) 無回答の診療所 5 施設、病院 1 施設を除いて集計した。

図表 7 ユニット台数 (種別)

(単位: 台)

	診療所		病院		歯科大学もしくは歯学部附属病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
1 台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 台	11	2.2%	4	7.7%	0	0.0%
3 台	158	31.3%	12	23.1%	0	0.0%
4 台	172	34.1%	10	19.2%	0	0.0%
5 台	68	13.5%	9	17.3%	0	0.0%
6 台	38	7.5%	3	5.8%	0	0.0%
7 台	21	4.2%	2	3.8%	0	0.0%
8 台	8	1.6%	5	9.6%	0	0.0%
9 台	11	2.2%	1	1.9%	0	0.0%
10 台以上	12	2.4%	5	9.6%	6	100.0%
無回答	5	1.0%	1	1.9%	0	0.0%
合計	504	100.0%	52	100.0%	6	100.0%

図表 8 [再掲] ユニット台数 (歯科大学もしくは歯学部附属病院)

(単位: 台)

ユニット台数	歯科大学もしくは歯学部附属病院	
	施設数	割合
~100 台	0	0.0%
101~120 台	1	16.7%
121~140 台	1	16.7%
141~160 台	1	16.7%
161~180 台	2	33.3%
181~200 台	1	16.7%
合計	6	100.0%

6) 職員数 (実人数)

a) 職員数

図表 9 職員数 (実人数)

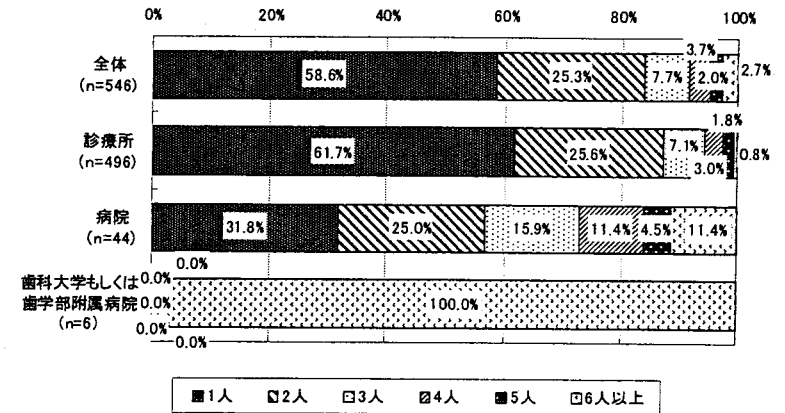
(単位: 人)

	歯科医師 (常勤)			歯科医師 (非常勤)			歯科衛生士		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=546)	3.6	19.6	1.0	1.3	7.3	0.0	3.5	3.1	3.0
診療所 (n=496)	1.6	1.0	1.0	0.7	1.2	0.0	3.3	2.0	3.0
病院 (n=44)	3.3	3.7	2.0	2.5	3.8	1.5	3.4	2.2	3.0
歯科大学もしくは 歯学部附属病院 (n=6)	170.7	89.4	153.0	41.2	59.4	21.5	21.3	13.4	19.5

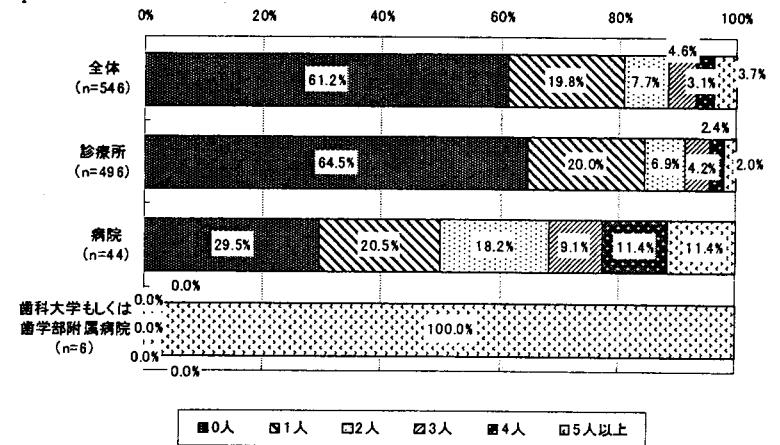
	看護職員			その他の職員					
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=546)	0.6	3.8	0.0	3.1	5.0	2.0	12.2	32.8	7.0
診療所 (n=496)	0.2	0.8	0.0	2.9	2.5	2.0	8.7	5.0	7.0
病院 (n=44)	1.8	6.0	0.0	1.3	1.7	1.0	12.3	11.5	9.0
歯科大学もしくは 歯学部附属病院 (n=6)	30.5	11.9	31.0	37.5	25.0	28.0	301.2	109.6	300.5

(注)「病院」については、歯科のみの職員数を記載してある 44 施設を集計対象とした。

図表 10 歯科医師数 (常勤、実人数)



図表 11 歯科医師数 (非常勤、実人数)



b)医療安全に係る職員研修の受講者数および歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数

図表 12 医療安全に係る職員研修の受講者数および歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数（歯科医師）

	研修の種類	n	研修の受講者数					
			2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	医療安全に係る職員研修の受講者数	n=507	2.7	16.2	1.0	0.6	5.1	0.0
	歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数	n=518	1.3	1.1	1.0	0.2	0.9	0.0
診療所	医療安全に係る職員研修の受講者数	n=460	1.3	0.8	1.0	0.3	0.8	0.0
	歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数	n=472	1.2	0.6	1.0	0.2	0.6	0.0
病院	医療安全に係る職員研修の受講者数	n=43	2.4	3.3	2.0	1.7	3.7	0.0
	歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数	n=43	2.0	3.1	1.0	0.9	2.5	0.0
部附属病院 もしくは歯科大学	医療安全に係る職員研修の受講者数	n=4	168.5	84.6	180.0	28.8	54.2	2.5
	歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数	n=3	2.7	2.1	2.0	0.0	0.0	0.0

図表 13 医療安全に係る職員研修の受講者数  
(歯科衛生士、看護職員、その他職員)

(単位：人)

	研修の受講者数								
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
全体 (n=507)	1.9	2.6	1.0	0.4	3.0	0.0	1.0	2.4	0.0
診療所 (n=460)	1.8	2.0	1.0	0.1	0.7	0.0	0.9	1.8	0.0
病院 (n=43)	1.4	2.1	0.0	1.4	5.8	0.0	0.5	1.1	0.0
歯科大学もしくは歯学部附属病院 (n=4)	18.3	11.8	17.0	25.5	12.7	25.5	19.0	7.4	22.0

(注)「病院」については、歯科のみの職員数を記載してある44施設のうち、「医療安全に係る職員研修の受講者数」と「歯科外来診療環境体制加算に係る研修の受講者数」に記載のなかった1施設を除いた43施設を集計対象とした。

②歯科外来診療環境体制加算の状況

1)「歯科外来診療環境体制加算」の届出受理時期

図表 14 「歯科外来診療環境体制加算」の届出受理時期

	届出受理時期					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	562 100.0%	220 39.1%	50 8.9%	59 10.5%	59 10.5%	41 7.3%
診療所	504 100.0%	186 36.9%	48 9.5%	53 10.5%	56 11.1%	40 7.9%
病院	52 100.0%	28 53.8%	2 3.8%	6 11.5%	3 5.8%	1 1.9%
歯科大学もしくは歯学部附属病院	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

	届出受理時期					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	31 5.5%	22 3.9%	10 1.8%	13 2.3%	37 6.6%	20 3.6%
診療所	31 6.2%	22 4.4%	7 1.4%	8 1.6%	34 6.7%	19 3.8%
病院	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	5 9.6%	3 5.8%	1 1.9%
歯科大学もしくは歯学部附属病院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%



2) 歯科外来患者数、当該加算算定患者数

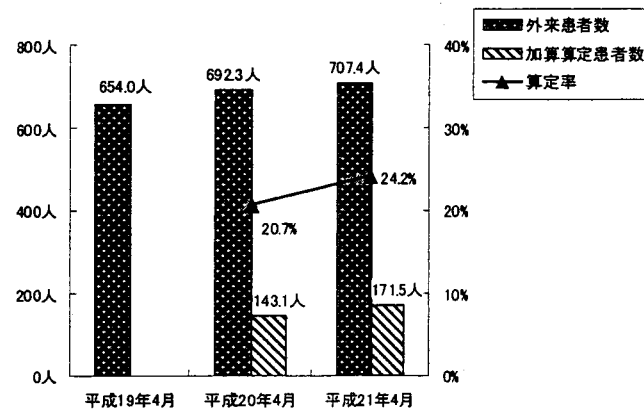
図表 15 歯科外来患者数、当該加算算定患者数、算定率  
(平成 20 年 4 月届出施設)

施設種別	調査月	n	患者数							算定率
			外来患者数	加算算定患者数	合計	その他	その他	その他	その他	
全体	平成 19 年 4 月	n=201	654.0	1324.1	376.0					
	平成 19 年 10 月	n=201	691.8	1450.5	379.0					
	平成 20 年 4 月	n=201	692.3	1385.4	388.0	143.1	171.8	101.0	20.7%	
	平成 20 年 10 月	n=201	720.3	1502.9	404.0	171.3	188.1	130.0	23.8%	
	平成 21 年 4 月	n=201	707.4	1440.7	392.0	171.5	186.9	131.0	24.2%	
診療所	平成 19 年 4 月	n=170	408.6	283.6	325.0					
	平成 19 年 10 月	n=170	424.8	293.9	339.0					
	平成 20 年 4 月	n=170	435.4	286.3	365.5	117.8	113.2	84.5	27.1%	
	平成 20 年 10 月	n=170	438.4	288.8	366.0	143.0	125.0	110.0	32.6%	
	平成 21 年 4 月	n=170	433.3	287.1	359.0	144.1	122.9	118.0	33.2%	
病院	平成 19 年 4 月	n=26	835.9	952.4	650.5					
	平成 19 年 10 月	n=26	885.0	1031.3	674.0					
	平成 20 年 4 月	n=26	896.0	1046.6	702.0	185.5	112.4	155.0	20.7%	
	平成 20 年 10 月	n=26	962.4	1132.2	733.0	205.4	134.0	159.0	21.3%	
	平成 21 年 4 月	n=26	960.1	1113.7	759.5	200.8	141.5	163.0	20.9%	
歯科大学附属病院	平成 19 年 4 月	n=5	8050.6	2727.0	9688.0					
	平成 19 年 10 月	n=5	8763.4	3192.9	10041.0					
	平成 20 年 4 月	n=5	8370.4	2981.6	9779.0	782.0	553.3	915.0	9.3%	
	平成 20 年 10 月	n=5	9049.0	3306.5	10573.0	958.8	424.1	906.0	10.6%	
	平成 21 年 4 月	n=5	8713.0	2971.5	10393.0	950.0	433.6	961.0	10.9%	

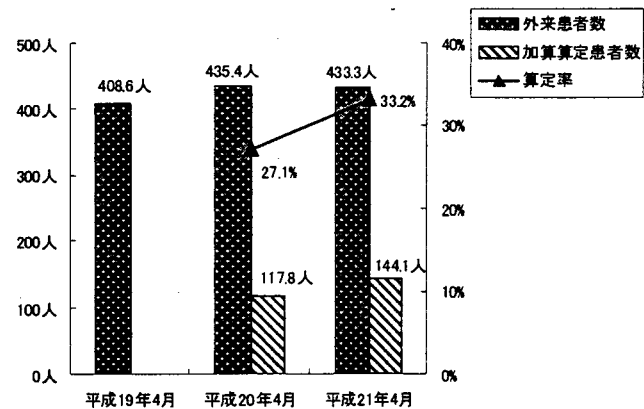
(注)・平成 20 年 4 月に届出を受理された施設で、すべての項目について回答があった施設を対象に集計した。

・算定率=加算算定患者数(平均値)÷外来患者数(平均値)×100

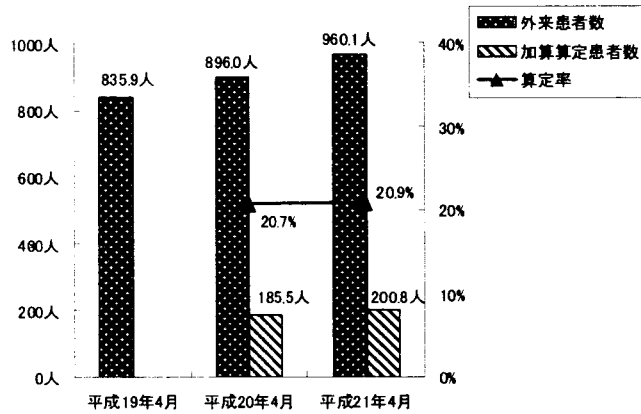
図表 16 歯科外来患者数、当該加算算定患者数、算定率(平均値)  
(平成 20 年 4 月届出施設別)～全体～



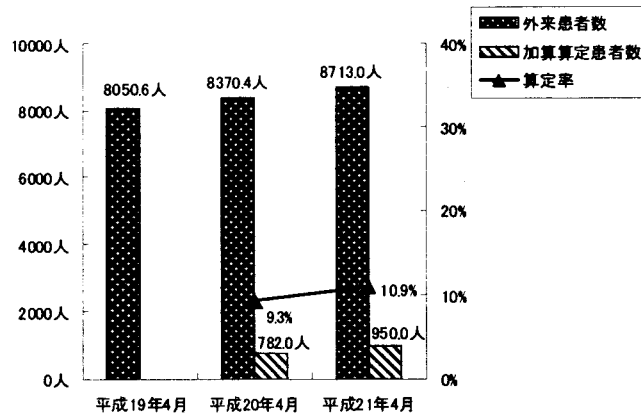
図表 17 歯科外来患者数、当該加算算定患者数、算定率(平均値)  
(平成 20 年 4 月届出施設別)～診療所～



図表 18 歯科外来患者数、当該加算算定患者数、算定率（平均値）  
（平成20年4月届出施設別）～病院～



図表 19 歯科外来患者数、当該加算算定患者数、算定率（平均値）  
（平成20年4月届出施設別）～歯科大学もしくは歯学部附属病院～



図表 20 外来患者数、加算算定患者数、算定率  
（平成20年5月から平成20年10月までの届出施設）

施設	年度	n	外来患者数			加算算定患者数			
			平均値	標準偏差	最大値	平均値	標準偏差	最大値	算定率
全体	平成19年4月	n=232	370.3	313.6	309.0	-	-	-	-
	平成19年10月	n=232	389.9	332.5	312.5	-	-	-	-
	平成20年4月	n=232	390.2	319.8	317.0	-	-	-	-
	平成20年10月	n=232	414.2	332.7	325.5	129.1	94.3	109.5	31.2%
	平成21年4月	n=232	409.8	322.3	317.0	129.3	90.3	108.5	31.6%
診療所	平成19年4月	n=221	353.9	286.4	300.0	-	-	-	-
	平成19年10月	n=221	372.9	304.1	307.0	-	-	-	-
	平成20年4月	n=221	373.3	289.8	303.0	-	-	-	-
	平成20年10月	n=221	396.4	299.5	316.0	128.5	94.8	109.0	32.4%
	平成21年4月	n=221	393.2	291.9	312.0	128.6	90.5	107.0	32.7%
病院	平成19年4月	n=11	701.0	583.3	454.0	-	-	-	-
	平成19年10月	n=11	731.5	620.4	555.0	-	-	-	-
	平成20年4月	n=11	730.4	617.0	508.0	-	-	-	-
	平成20年10月	n=11	772.5	660.0	547.0	142.0	87.3	144.0	18.4%
	平成21年4月	n=11	742.4	630.2	532.0	144.5	89.2	140.0	19.5%

（注）平成20年5月から10月までに届出を受理された施設で、すべての項目について回答があった施設を対象に集計した。また、「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設はなかった。  
・算定率＝加算算定患者数（平均値）／外来患者数（平均値）×100

図表 21 外来患者数、加算算定患者数、算定率  
(平成 20 年 11 月から平成 21 年 4 月までの届出施設)

	年月	n	外来患者数			加算算定患者数			
			平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	算定率
全体	平成 19 年 4 月	n=43	434.8	261.8	434.0	/	/	/	/
	平成 19 年 10 月	n=43	460.8	279.2	432.0	/	/	/	/
	平成 20 年 4 月	n=43	450.0	274.1	420.0	/	/	/	/
	平成 20 年 10 月	n=43	458.6	277.2	433.0	/	/	/	/
	平成 21 年 4 月	n=43	487.5	267.8	434.0	154.4	120.1	133.0	31.7%
診療所	平成 19 年 4 月	n=33	373.5	221.0	409.0	/	/	/	/
	平成 19 年 10 月	n=33	397.2	222.7	397.0	/	/	/	/
	平成 20 年 4 月	n=33	384.9	223.7	403.0	/	/	/	/
	平成 20 年 10 月	n=33	382.6	212.2	392.0	/	/	/	/
	平成 21 年 4 月	n=33	431.2	235.6	421.0	162.7	130.1	135.0	37.7%
病院	平成 19 年 4 月	n=10	636.9	294.7	650.5	/	/	/	/
	平成 19 年 10 月	n=10	670.7	351.7	648.5	/	/	/	/
	平成 20 年 4 月	n=10	664.7	325.4	668.5	/	/	/	/
	平成 20 年 10 月	n=10	709.4	327.6	763.5	/	/	/	/
	平成 21 年 4 月	n=10	673.2	295.5	675.5	127.0	78.0	112.5	18.9%

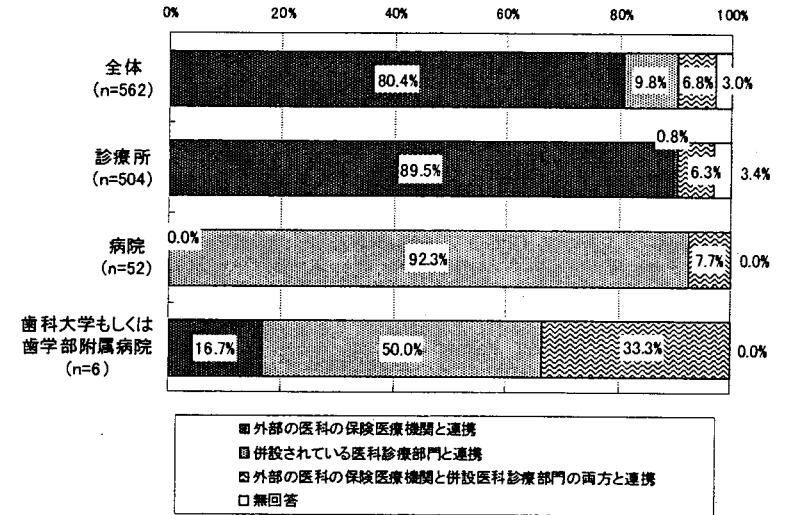
(注)・平成 20 年 11 月から平成 21 年 4 月までに届出を受理された施設で、すべての項目について回答があった施設を対象に集計した。また、「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設はなかった。

・算定率=加算算定患者数(平均値)/外来患者数(平均値)×100

③歯科外来診療時における具体的な体制

1) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に対応できる医療連携

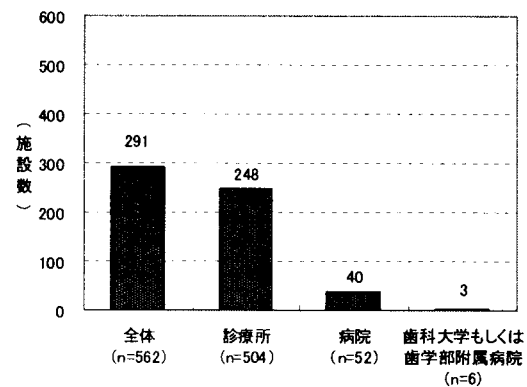
図表 22 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に対応できる医療連携



2) 医科・歯科連携体制を整えた時期

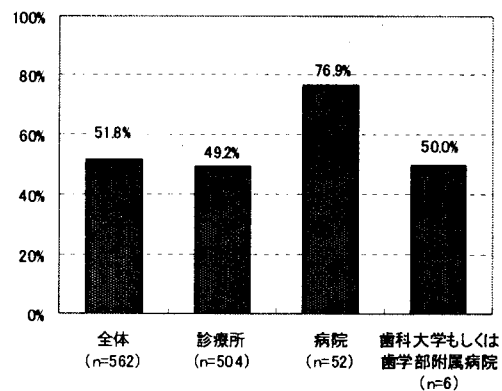
図表 23 医科・歯科連携体制を整えた時期

～平成 18 年より前に連携体制を整えた施設（施設数ベース）～



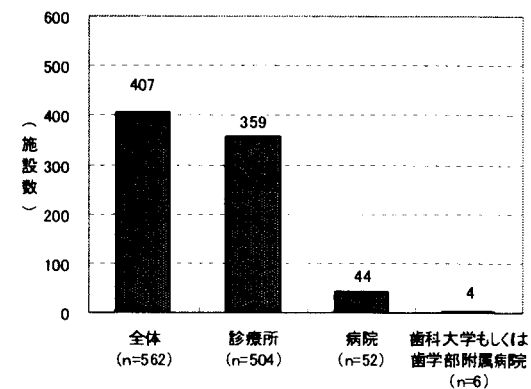
図表 24 医科・歯科連携体制を整えた時期

～平成 18 年より前に連携体制を整えた施設～



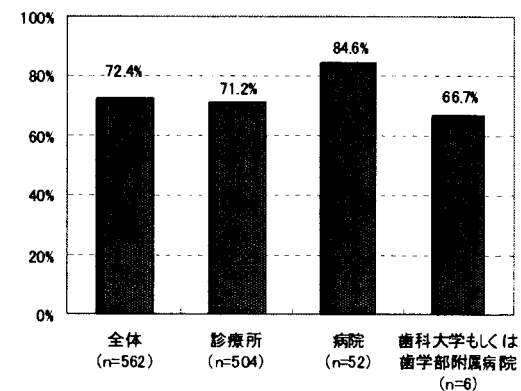
図表 25 医科・歯科連携体制を整えた時期

～平成 20 年 4 月より前に連携体制を整えた施設（施設数ベース）～

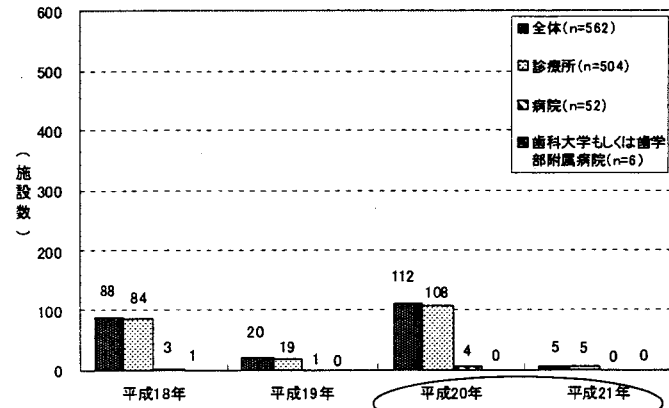


図表 26 医科・歯科連携体制を整えた時期

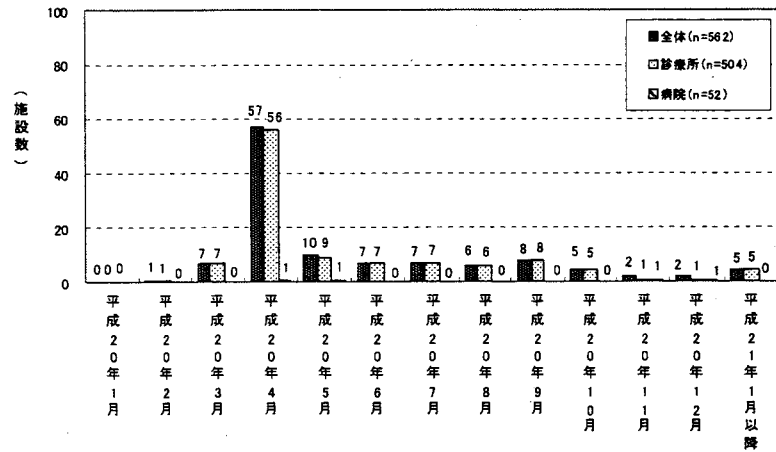
～平成 20 年 4 月より前に連携体制を整えた施設～



図表 27 医科・歯科連携体制を整えた時期  
 ～平成18年より後に連携体制を整えた施設（施設数ベース）～

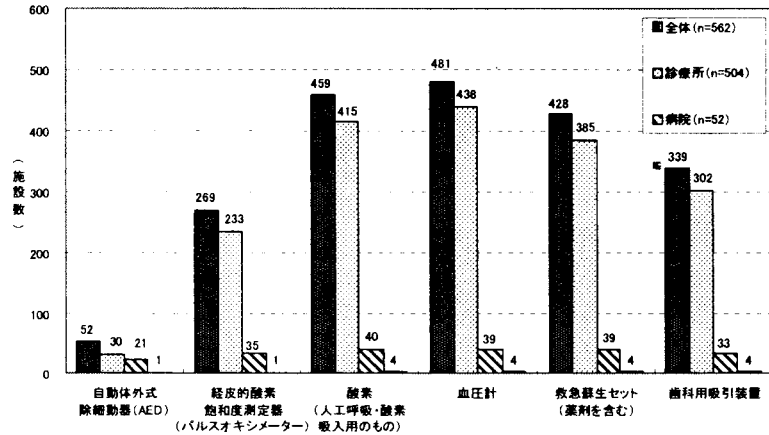


図表 28 医科・歯科連携体制を整えた時期～平成20年月別（施設数ベース）～



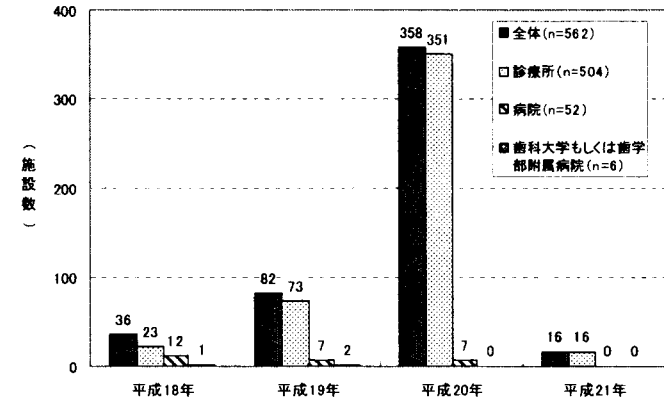
4) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期

図表 30 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
～平成18年より前に導入した施設～（施設数ベース）

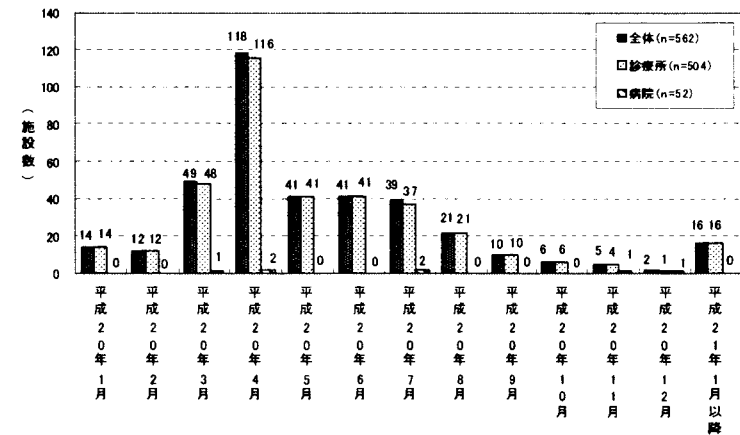


a) 自動体外式除細動器 (AED)

図表 31 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
自動体外式除細動器 (AED)  
～平成18年より後に導入した施設～（施設数ベース）



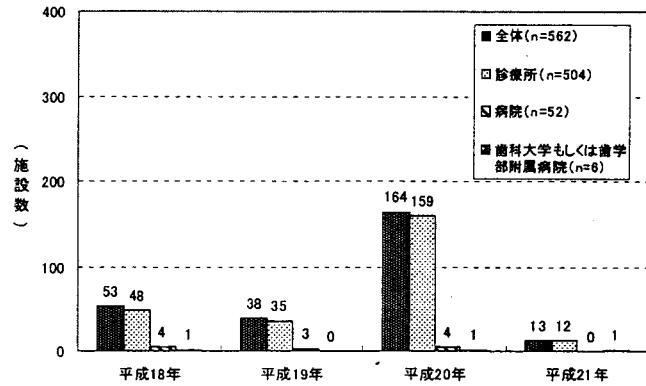
図表 32 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
自動体外式除細動器 (AED) ～平成20年別～（施設数ベース）



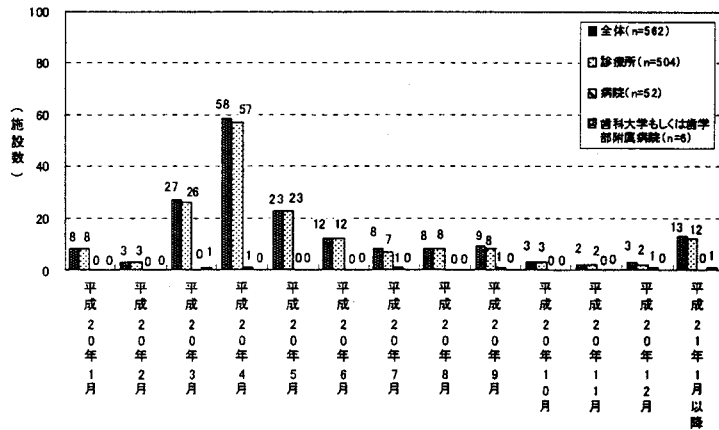
(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

b) 経皮的酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）

図表 33 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
経皮的酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～

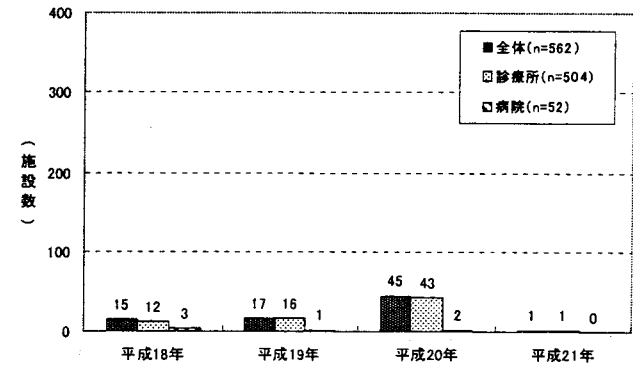


図表 34 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
経皮的酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）～平成20年別～（施設数ベース）



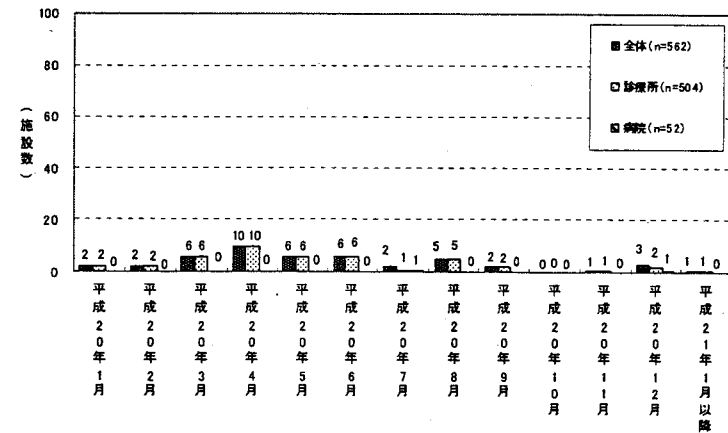
c) 酸素（人工呼吸・酸素吸入用のもの）

図表 35 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
酸素（人工呼吸・酸素吸入用のもの）  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

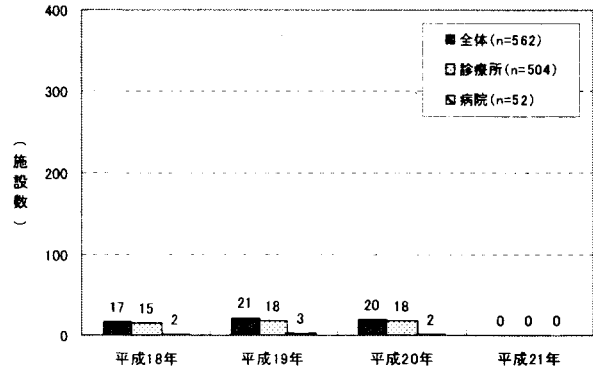
図表 36 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
酸素（人工呼吸・酸素吸入用のもの）～平成20年別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

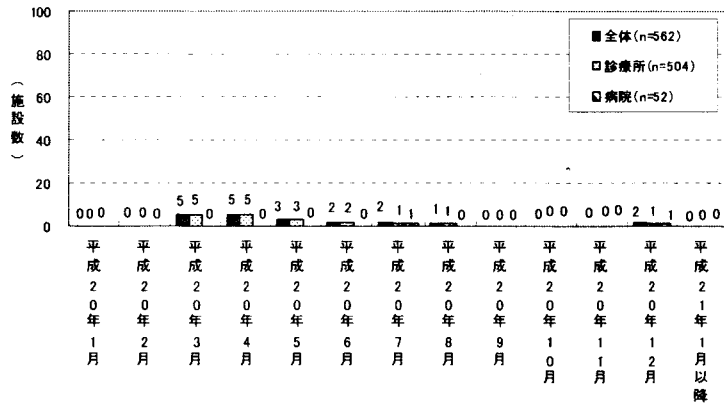
d) 血圧計

図表 37 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
血圧計  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

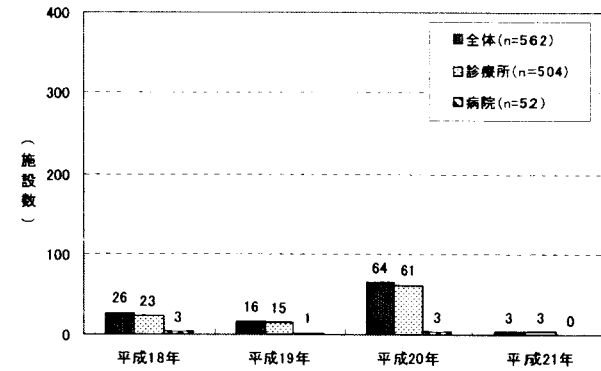
図表 38 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
血圧計～平成20年別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

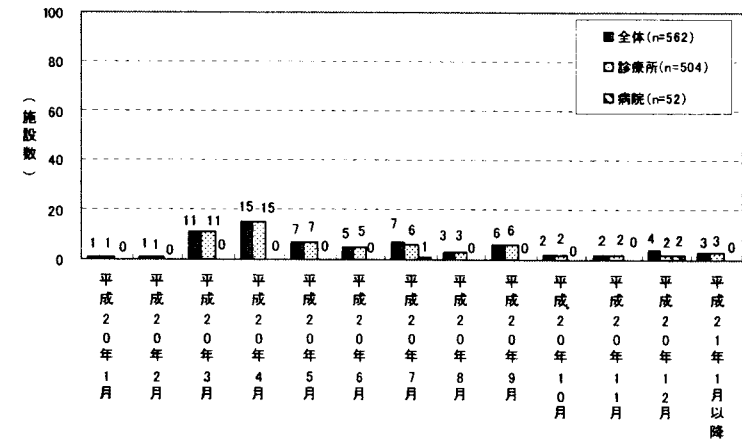
e) 救急蘇生セット（薬剤を含む）

図表 39 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
救急蘇生セット（薬剤を含む）  
～平成18年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

図表 40 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
救急蘇生セット（薬剤を含む）～平成20年別～（施設数ベース）

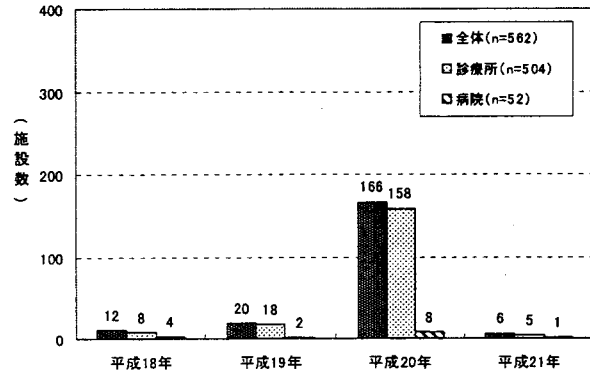


(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。



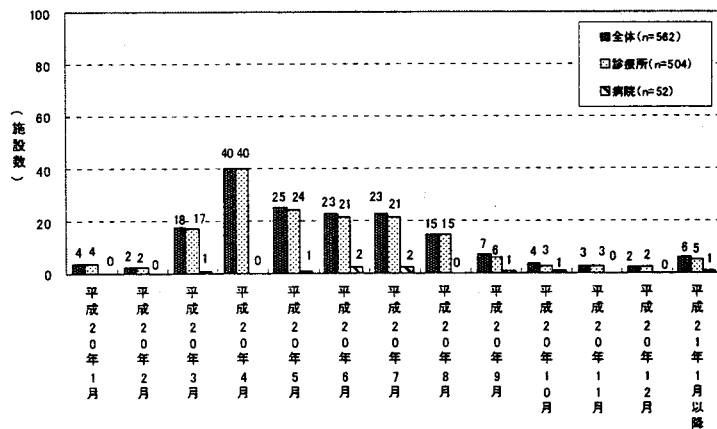
f) 歯科用吸引装置（口腔外バキューム）

図表 41 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
歯科用吸引装置（口腔外バキューム）  
～平成 18 年より後に導入した施設（施設数ベース）～



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

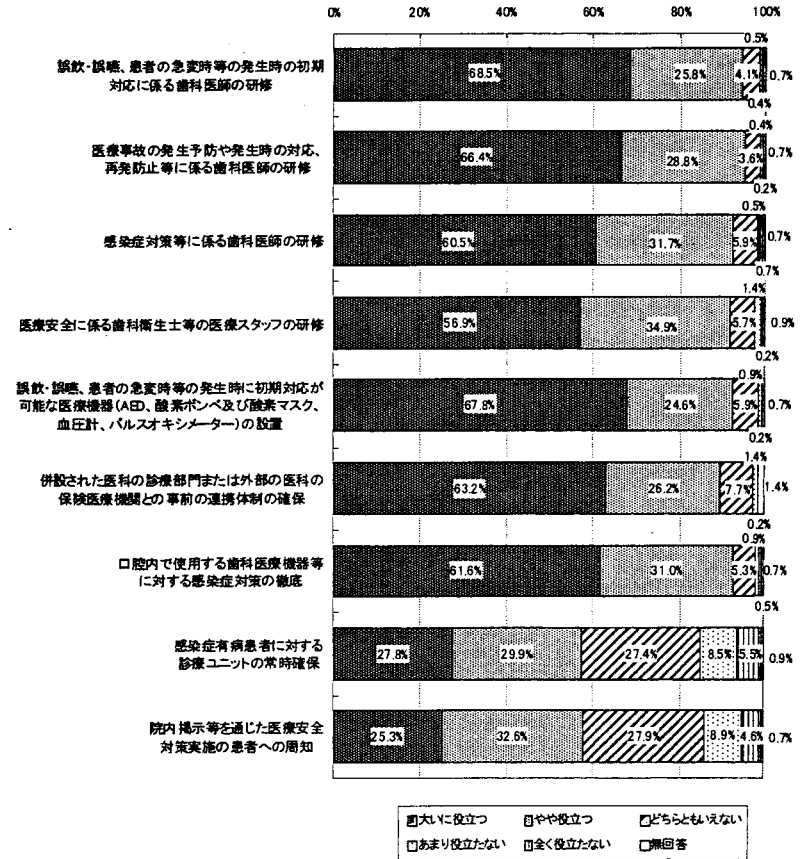
図表 42 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の対応を行うための装置・器具の導入時期  
歯科用吸引装置（口腔外バキューム）～平成 20 年 月別～（施設数ベース）



(注)「歯科大学もしくは歯学部附属病院」については、対象施設がなかった。

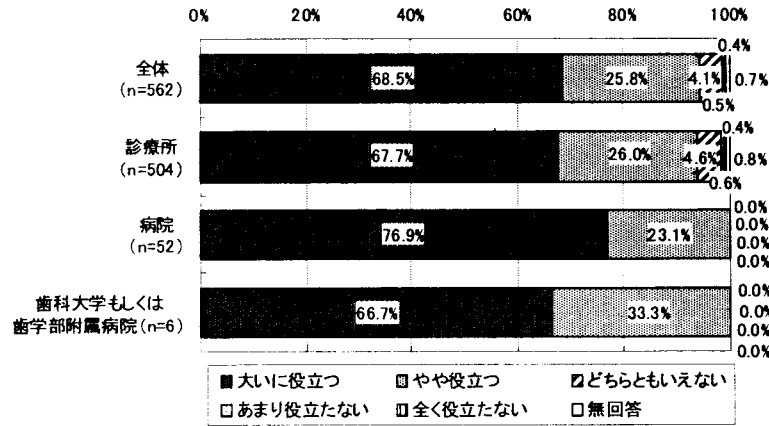
④ 歯科外来診療環境体制加算の整備に係る有効性

図表 43 歯科外来診療環境体制加算の整備に係る有効性（全体、n=562）



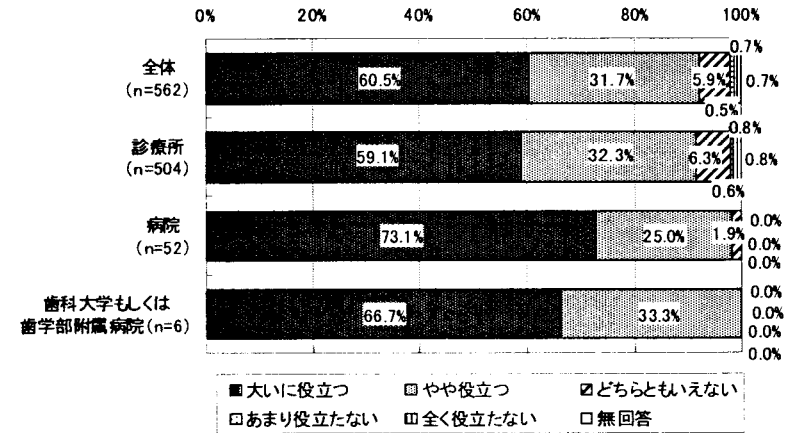
1) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の初期対応に係る歯科医師の研修

図表 44 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時の初期対応に係る歯科医師の研修



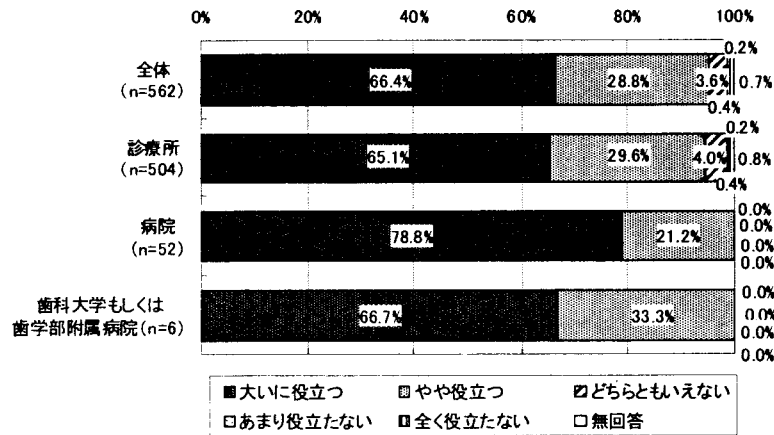
3) 感染症対策等に係る歯科医師の研修

図表 46 感染症対策等に係る歯科医師の研修



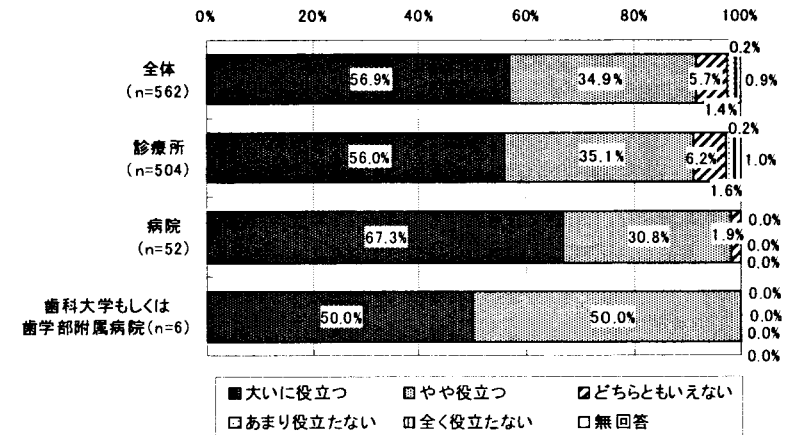
2) 医療事故の発生予防や発生時の対応、再発防止等に係る歯科医師の研修

図表 45 医療事故の発生予防や発生時の対応、再発防止等に係る歯科医師の研修



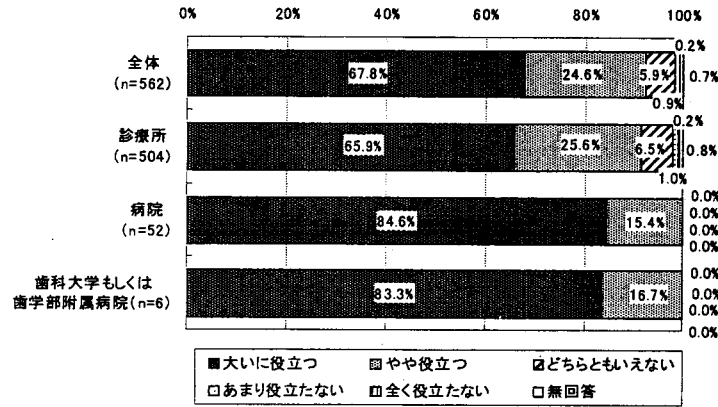
4) 医療安全に係る歯科衛生士等の医療スタッフの研修

図表 47 医療安全に係る歯科衛生士等の医療スタッフの研修



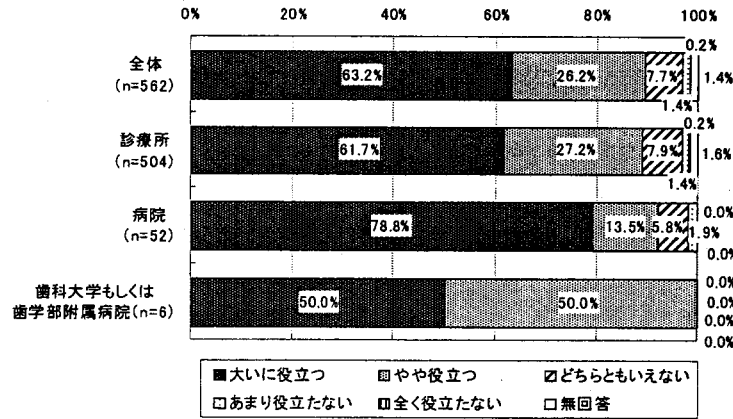
5) 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に初期対応が可能な医療機器（AED、酸素ポンプ及び酸素マスク、血圧計、パルスオキシメーター）の設置

図表 48 誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に初期対応が可能な医療機器（AED、酸素ポンプ及び酸素マスク、血圧計、パルスオキシメーター）の設置



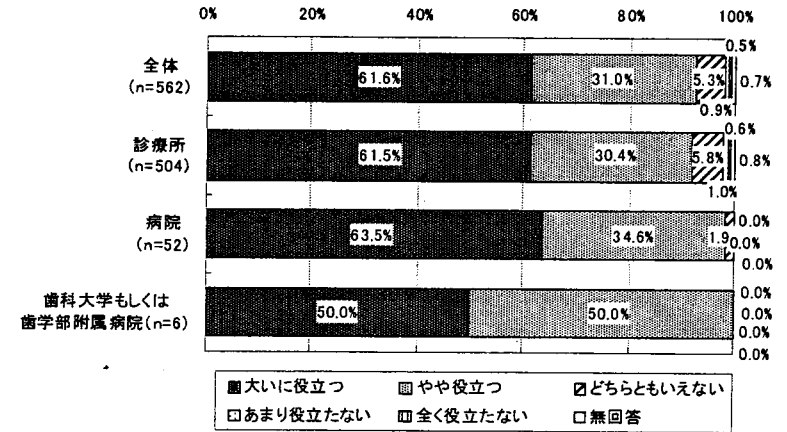
6) 併設された医科の診療部門または外部の医科の保険医療機関との事前の連携体制の確保

図表 49 併設された医科の診療部門または外部の医科の保険医療機関との事前の連携体制の確保



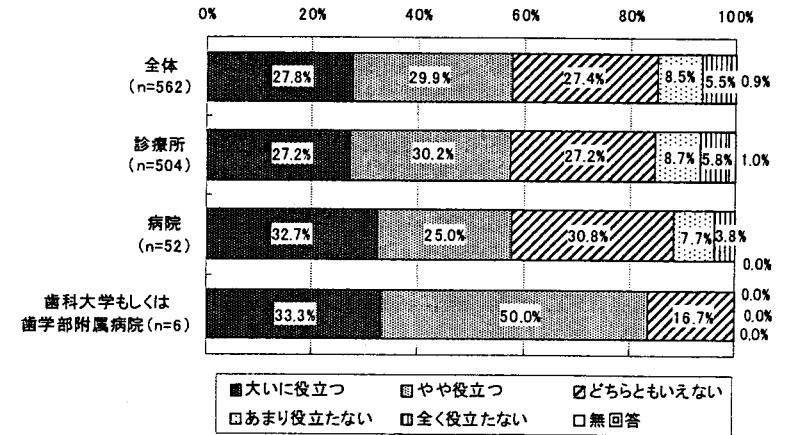
7) 口腔内で使用する歯科医療機器等に対する感染症対策の徹底

図表 50 口腔内で使用する歯科医療機器等に対する感染症対策の徹底



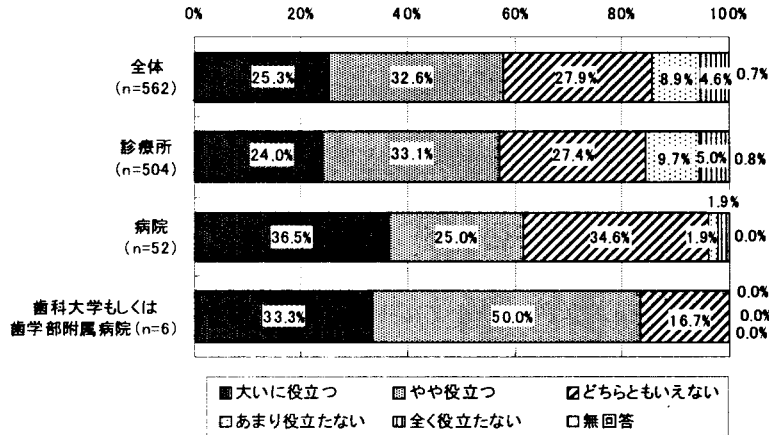
8) 感染症有病患者に対する診療ユニットの常時確保

図表 51 感染症有病患者に対する診療ユニットの常時確保



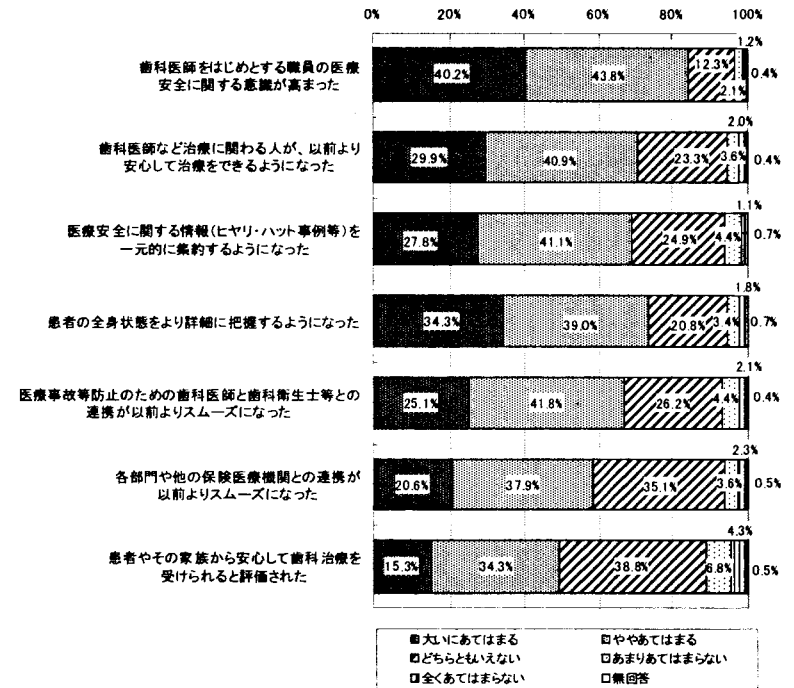
9) 院内掲示等を通じた医療安全対策実施の患者への周知

図表 52 院内掲示等を通じた医療安全対策実施の患者への周知



⑤ 歯科外来診療環境体制加算の整備による効果等

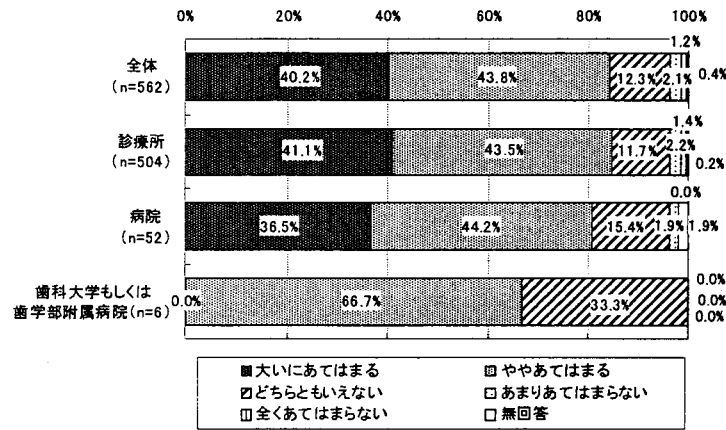
図表 53 歯科外来診療環境体制加算による、より安全・安心な歯科医療を行う上での効果 (全体、n=562)



1) 医師をはじめとする職員の医療安全に関する意識

図表 54 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

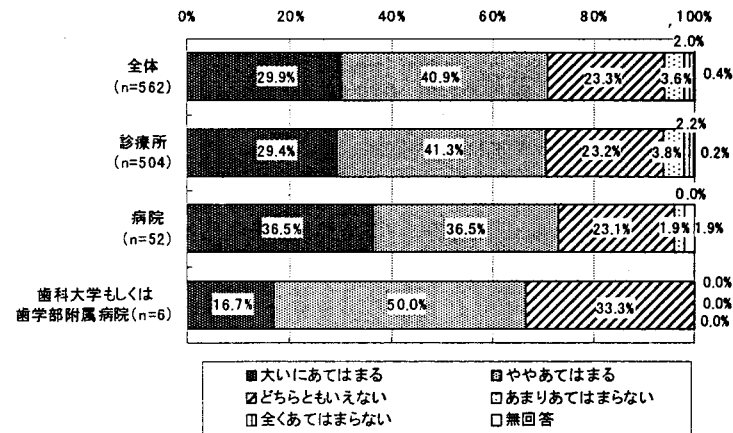
～歯科医師をはじめとする職員の医療安全に関する意識が高まった～



2) 歯科医師など治療に関わる人が治療をする際の安心感

図表 55 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

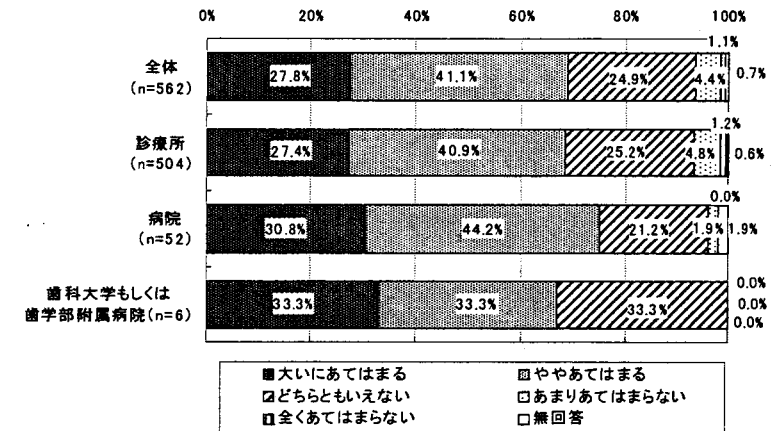
～歯科医師など治療に関わる人が、以前より安心して治療をできるようになった～



3) 医療安全に関する情報（ヒヤリ・ハット事例等）の一元的集約

図表 56 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

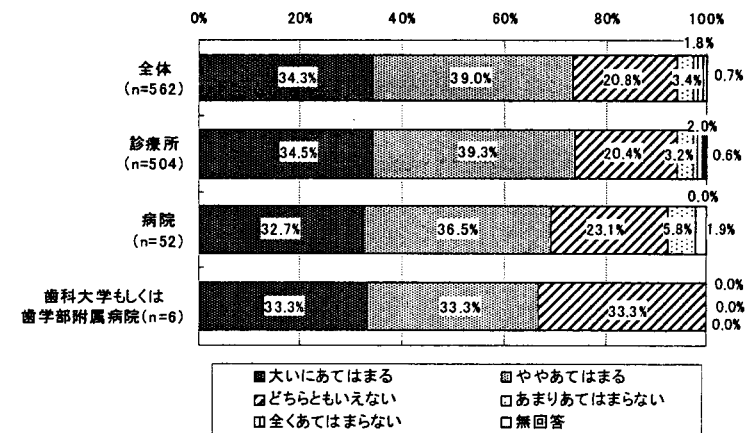
～医療安全に関する情報（ヒヤリ・ハット事例等）を一元的に集約するようになった～



4) 患者の全身状態のより詳細な把握

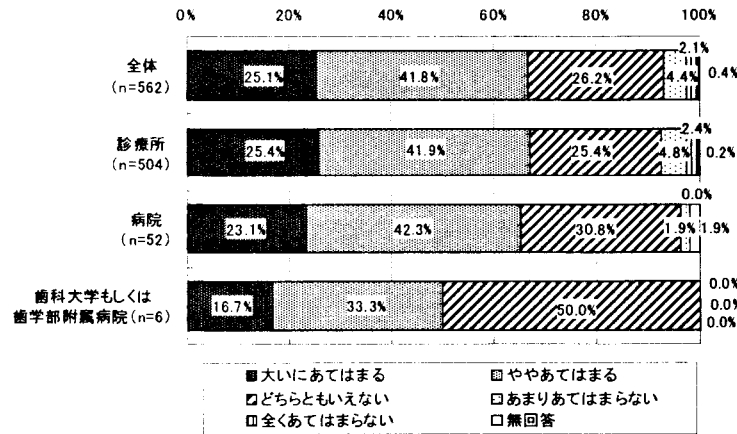
図表 57 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果

～患者の全身状態をより詳細に把握するようになった～



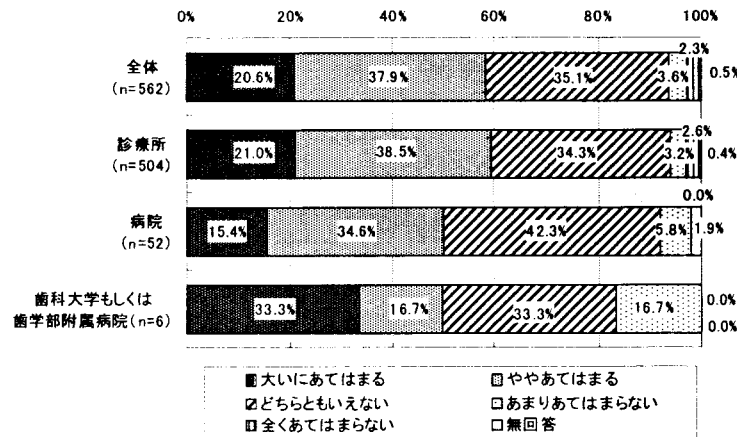
5) 医療事故等防止のための歯科医師と歯科衛生士等との連携

図表 58 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果  
～医療事故等防止のための歯科医師と歯科衛生士等との連携が以前よりスムーズになった～



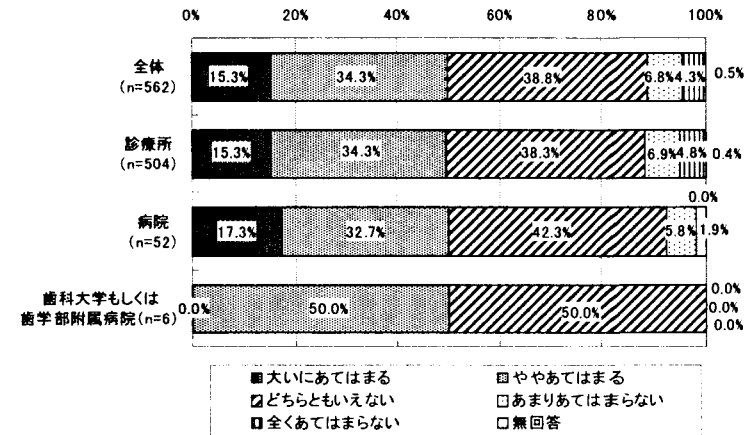
6) 各部門や他の保険医療機関との連携

図表 59 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果  
～各部門や他の保険医療機関との連携が以前よりスムーズになった～



7) 患者やその家族からの評価

図表 60 より安全・安心な歯科医療を行う上での効果  
～患者やその家族から安心して歯科治療を受けられると評価された～



8) その他の歯科外来診療環境体制加算の整備による効果（自由記述形式）

- ・ AEDを導入したことで歯科治療を安心して行えるようになった。また、患者側からも安心感が高まったという話をよく聞くようになった。
  - ・ 医療機器の点検や修理、薬剤管理について記録に残すことになった。
  - ・ 歯科外来診療環境体制加算がきっかけとなり、院内ミーティングの際にヒヤリ・ハットの報告が出やすくなった。
  - ・ 歯科医師会等が行うさまざまな講習会への職員の参加が意欲的になった。
  - ・ 感染予防にコストをかけられるようになった。
- ／等

⑥平成20年度の1年間(平成20年4月～平成21年3月末)における誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に、緊急対応が必要になった症例

1) 症例数

図表 61 症例数(施設別)

施設別	症例数	平均年齢	平均性別	平均歯周病	平均歯肉炎	平均歯槽膿漏	平均歯槽膿漏
全体	492	316	0.6	1.6	23.0	0.0	0.0
診療所	441	225	0.5	1.0	10.0	0.0	0.0
病院	45	75	1.7	4.0	23.0	0.0	0.0
歯科大学もしくは歯学部附属病院	6	16	2.7	1.9	5.0	0.0	3.0

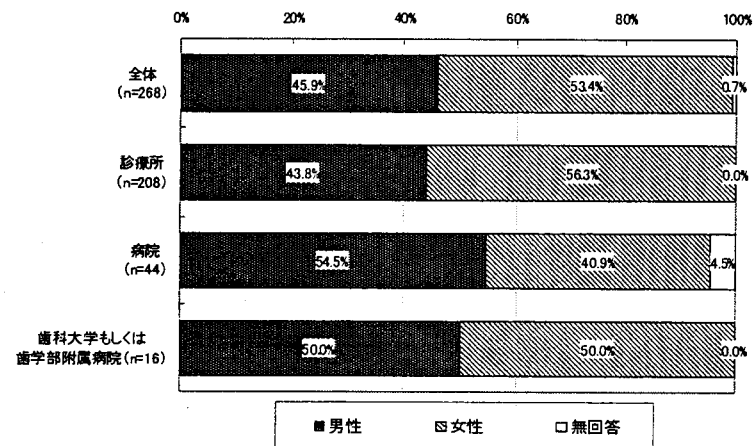
2) 患者属性

図表 62 患者属性～年齢(施設別)～

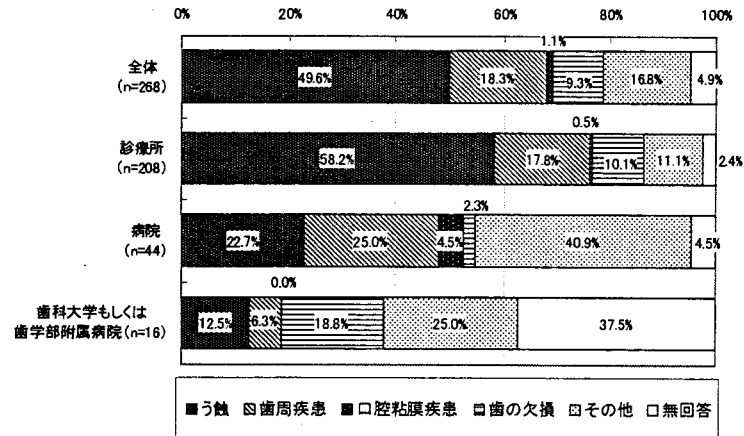
施設別	症例数	平均年齢	平均性別	平均歯周病	平均歯肉炎	平均歯槽膿漏
全体	267	44.9	21.8	90.0	2.0	40.0
診療所	208	44.8	21.2	90.0	10.0	40.0
病院	43	45.4	24.5	80.0	2.0	50.0
歯科大学もしくは歯学部附属病院	16	44.9	22.6	80.0	9.0	45.0

(注) 全体の316症例数のうち、具体的な記載のあった268症例の中から年齢の記載がなかった1症例を除いた267症例を集計対象とした。

図表 63 患者属性～性別(施設別、症例ベース)～

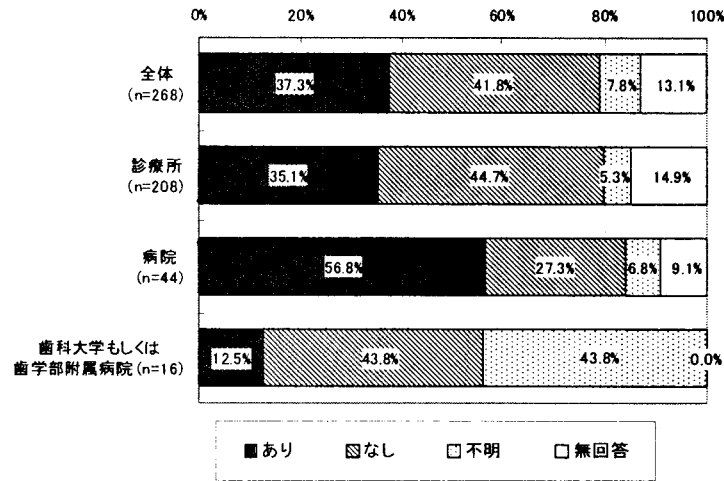


図表 64 患者属性～主たる歯科疾患名(施設別、症例ベース)～



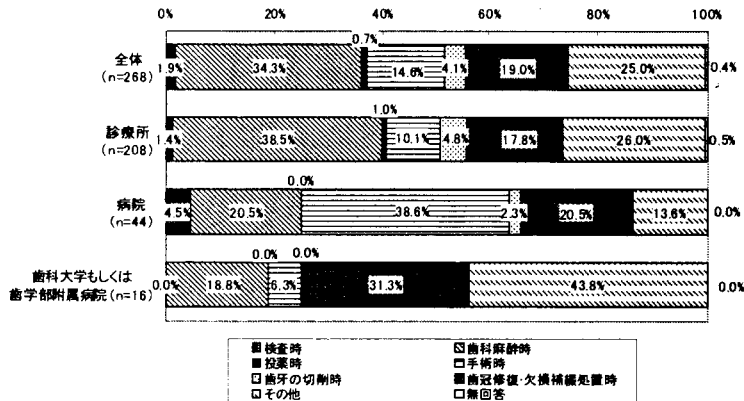
(注) 「その他」の内容として、「智歯周囲炎」「埋伏歯」等の回答があげられた。

図表 65 患者属性～歯科以外の疾患の有無（施設別、症例ベース）～



3) 急変時の状況～主に何をしている時～

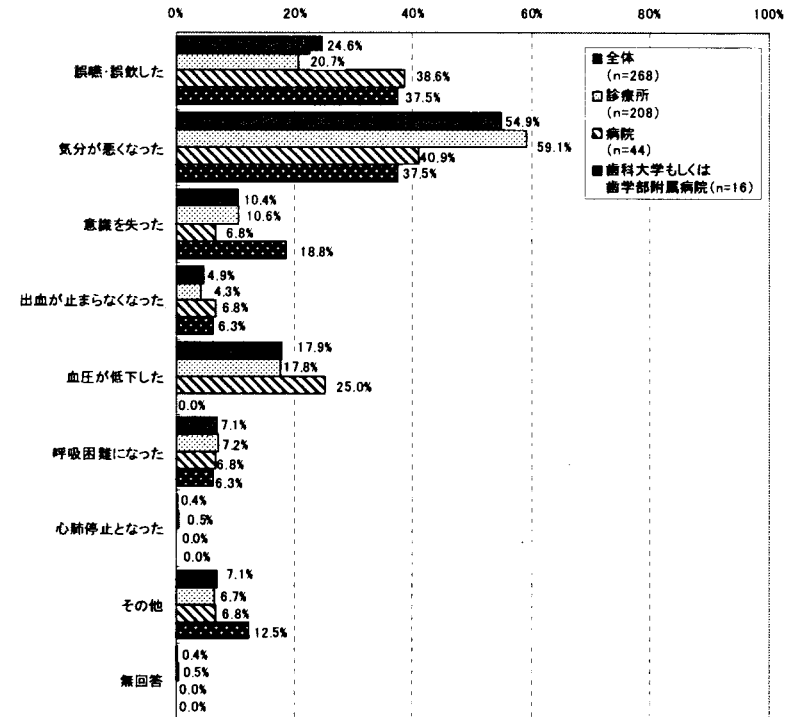
図表 66 急変時の状況～主に何をしている時（施設別、症例ベース）～



(注)「その他」の内容として、「待合室で待っている時」「抜歯時」「スケーリング時」等の回答があげられた。

4) 急変時の患者の状態

図表 67 急変時の患者の状態（施設別、症例ベース、複数回答）

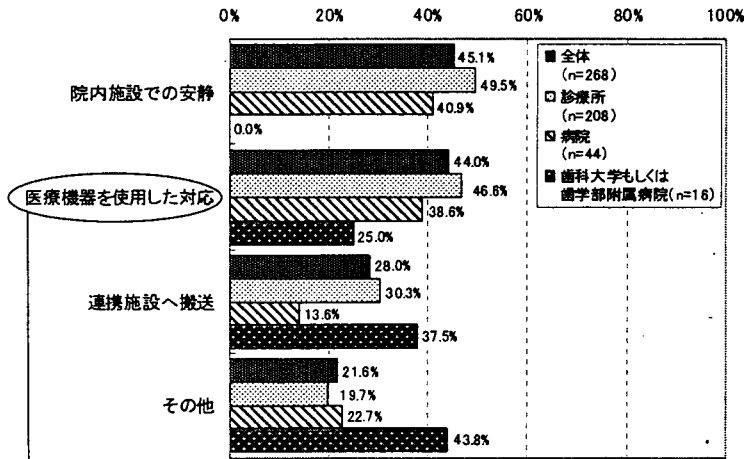


(注)「その他」の内容としては、「嘔吐した」「麻痺した」等の回答があげられた。



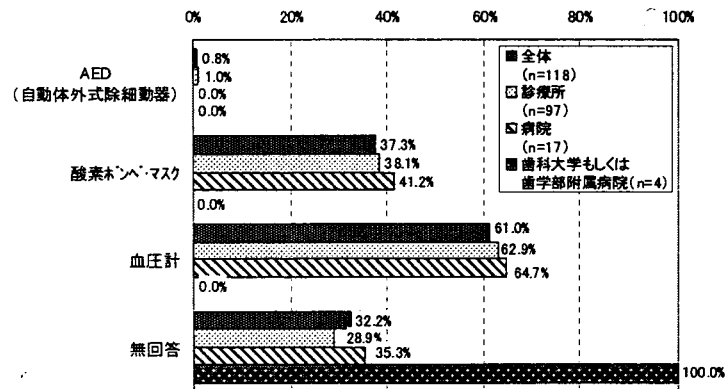
5) 具体的な対応内容

図表 68 具体的な対応内容（施設別、症例ベース、複数回答）



(注)「その他」の内容として、「レントゲン撮影」「経過観察」「かかりつけ医に搬送」等の回答があげられた。

図表 69 使用した医療機器（施設別、症例ベース、複数回答）

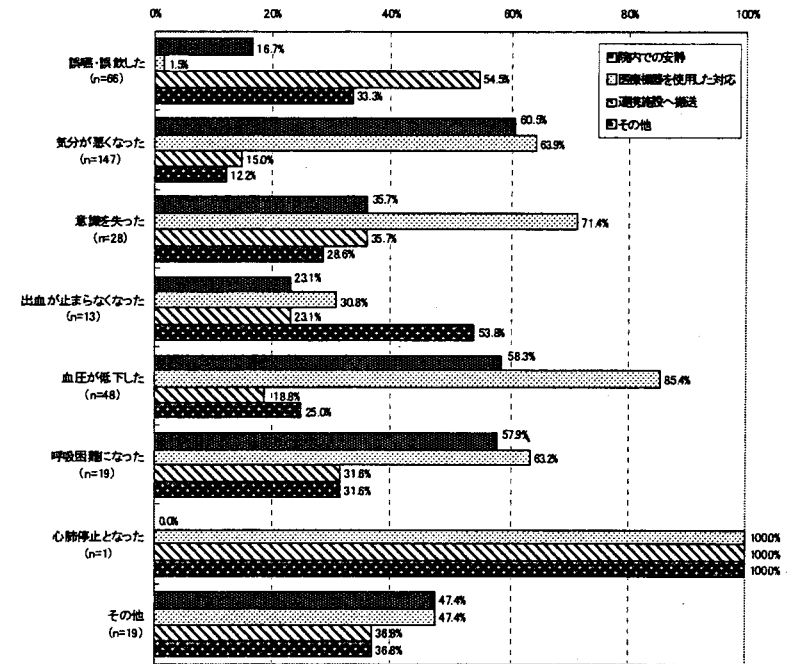


図表 70 具体的な対応内容

～「院内施設での安静」のみ回答した（単数回答）症例数～

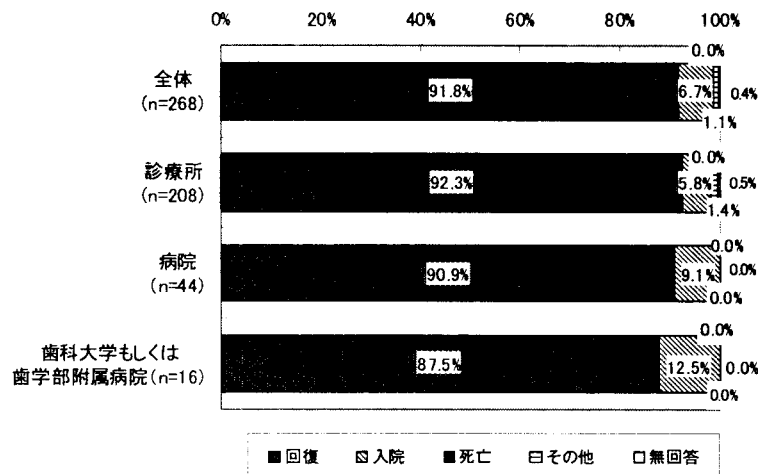
全体	n=268	62 症例 (23.1%)
診療所	n=208	49 症例 (23.6%)
病院	n=44	13 症例 (29.5%)
歯科大学もしくは歯学部附属病院	n=16	0 症例 (0.0%)

図表 71 具体的な対応内容（急変時の患者の状態別、症例ベース、複数回答）



6) 緊急時対応後の患者の状態

図表 72 緊急時対応後の患者の状態（施設別、症例ベース）



【参考】症例

<症例1>

○施設属性	診療所（歯科、小児歯科）
・その他施設基準	在宅療養支援歯科診療所
・ユニット台数	3台
○患者属性	20代・女性
・主たる歯科疾患名	歯周疾患（歯肉炎・歯周炎）
・歯科以外の疾患	あり
○何をしているとき	その他（歯石除去後）
○患者がどうなった	気分が悪くなった
○具体的な対応内容	院内施設での安静
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例2>

○施設属性	病院（歯科口腔外科）
・その他施設基準	地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科治療総合医療管理料
・ユニット台数	7台
○患者属性	30代・男性
・主たる歯科疾患名	その他（埋伏歯）
・歯科以外の疾患	あり
○何をしているとき	歯科麻酔時
○患者がどうなった	気分が悪くなった 血圧が低下した
○具体的な対応内容	医療機器を使用した対応（酸素ボンベ・マスク、血圧計）
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例3>

○施設属性	歯科大学もしくは歯学部附属病院 （歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科）
・その他施設基準	地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ユニット台数	161～180台
○患者属性	60代・男性
・主たる歯科疾患名	歯の欠損
・歯科以外の疾患	なし
○何をしているとき	歯牙の切削以外の歯冠修復・欠損補綴処置（印象、装着等）時
○患者がどうなった	誤嚥・誤飲した
○具体的な対応内容	連携施設（併設医科）へ搬送 その他（胃部レントゲン撮影）
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例 4>

○施設属性	診療所（歯科）
・その他施設基準	歯科治療総合医療管理料
・ユニット台数	4台
○患者属性	70代・女性
・主たる歯科疾患名	歯周疾患（歯肉炎・歯周炎）
・歯科以外の疾患	あり
○何をしているとき	投薬（歯科麻酔を除く）時
○患者がどうなった	気分が悪くなった 呼吸困難（過呼吸を含む）になった
○具体的な対応内容	医療機器を使用した対応（酸素ボンベ・マスク、血圧計） 連携施設へ搬送
○緊急時対応後の患者の状態	回復

<症例 5>

○施設属性	診療所（歯科、小児歯科）
・その他施設基準	歯科治療総合医療管理料
・ユニット台数	5台
○患者属性	90代・男性
・主たる歯科疾患名	歯の欠損
・歯科以外の疾患	なし
○何をしているとき	その他（待合室で待っているとき）
○患者がどうなった	意識を失った 心肺停止となった
○具体的な対応内容	医療機器を使用した対応（AED、酸素ボンベ・マスク） 連携施設へ搬送 その他（救急蘇生術の実施）
○緊急時対応後の患者の状態	入院（のち回復）

⑦ 歯科外来診療環境体制加算に関する意見等について（自由記述形式）

1) 安全・安心な歯科外来診療を提供する上で必要だと思うものや課題

- ・ 本来、歯科医療機関が歯科外来診療環境体制加算にある医療機器や設備を備えるのは当たり前のこと。
- ・ 並列する3、4台のユニットを飛び回る診療をしないと収益が確保できないため、感染症対策をするコスト・時間を確保することが難しい。
- ・ 感染症有病患者の使用するユニットや器具は、通常の滅菌消毒と異なり手間がかかる。当然、ディスポーザブルの器具も増えるため、感染症患者対象の加算があってもよいのではないか。
- ・ 診療グローブの着用とグローブのディスポーザブルの義務化。
- ・ 歯科医療の安全を確保するためのコストを理解し、歯科外来診療環境体制加算の評価の引き上げを行って欲しい。
- ・ 歯科外来診療環境体制加算の整備だけではなく、実際の緊急時に十分な対応が行えるよう歯科医師とスタッフの意識を同じレベルで保つ必要がある。
- ・ 緊急時の対応等には、医療機器や設備の整備だけでなく、歯科医師の技術や知識が必要であるが、研修を受ける場が少ない。研修をさらに充実すべき。
- ・ 安心・安全な歯科医療を行うためには、経験的に内科や外科との連携は必要である。

/等

2) 歯科外来診療環境体制加算に関する意見や課題等について

- ・ 歯科外来診療環境体制加算の評価が低い。
- ・ 現在の診療報酬上の点数では、機器や設備の維持を行う上でぎりぎりの点数であるが、点数のことよりも、高齢者の患者や合併症を有する患者が増加している中、このシステムは歯科医療の現場に必要であり、歯科治療に役立っている。
- ・ 歯科外来診療環境体制加算によって職員の安全な歯科医療に対する意識が高まり、安心感をもって歯科治療を行うことは、患者の利益にもなるのではないか。
- ・ 歯科外来診療環境体制加算の導入により、必要な医療機器を整備したが、歯科医療機関側も患者側も満足し、安全な歯科医療に対する知識が高まった。
- ・ 歯科外来診療環境体制加算の診療報酬上の評価が継続されることを望む。

/等

(3) 患者調査の結果概要

【調査対象等】

○患者調査

調査対象：「施設調査」の対象施設に調査日に来院した初診患者で、歯科外来診療環境体制加算を算定した患者。ただし、1施設につき最大4名の患者を対象とした。

回答数：1,570人

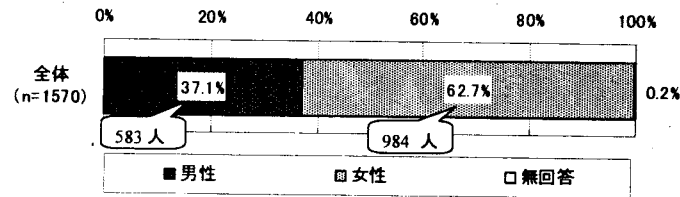
回答者：患者本人または家族

調査方法：調査対象施設を通じて配布。回収は各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収。

① 回答者の属性

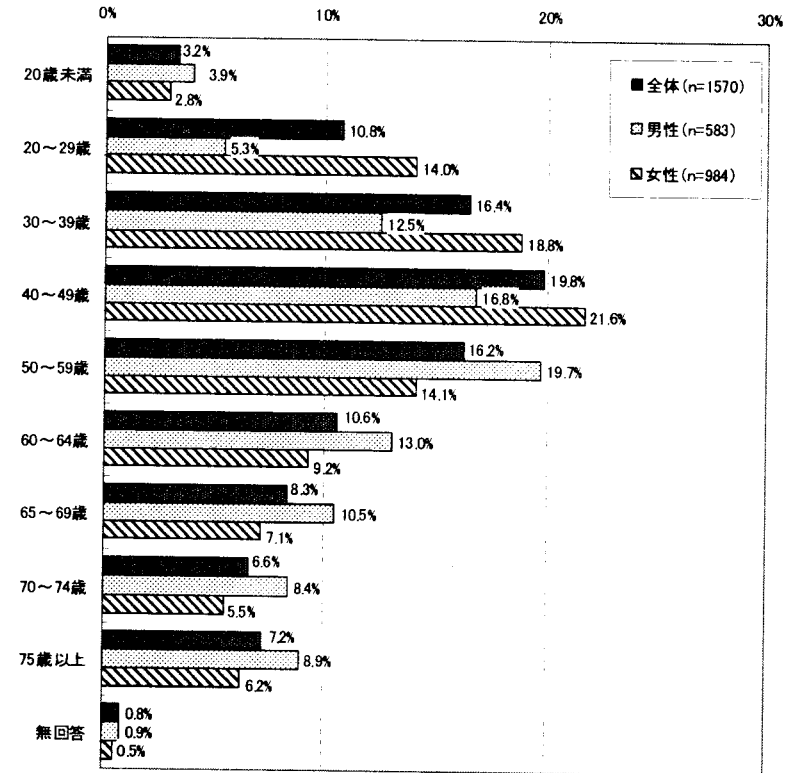
1) 性別

図表 73 性別



2) 年齢

図表 74 男女別 年齢分布



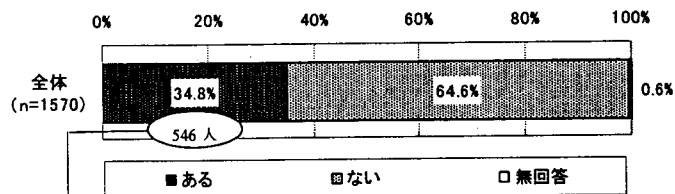
図表 75 平均年齢

(単位：歳)

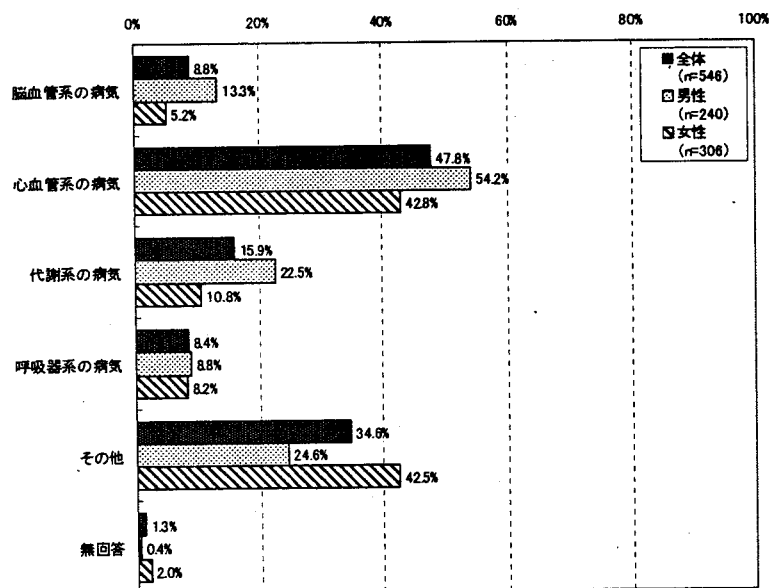
	平均年齢	標準偏差	最大値	最小値	平均年齢
全体	49.4	17.9	88.0	1.0	49.0
男性	52.9	17.2	87.0	6.0	55.0
女性	47.3	17.2	88.0	1.0	45.0

3) 歯科以外の病気の有無

図表 76 歯科以外の病気の有無

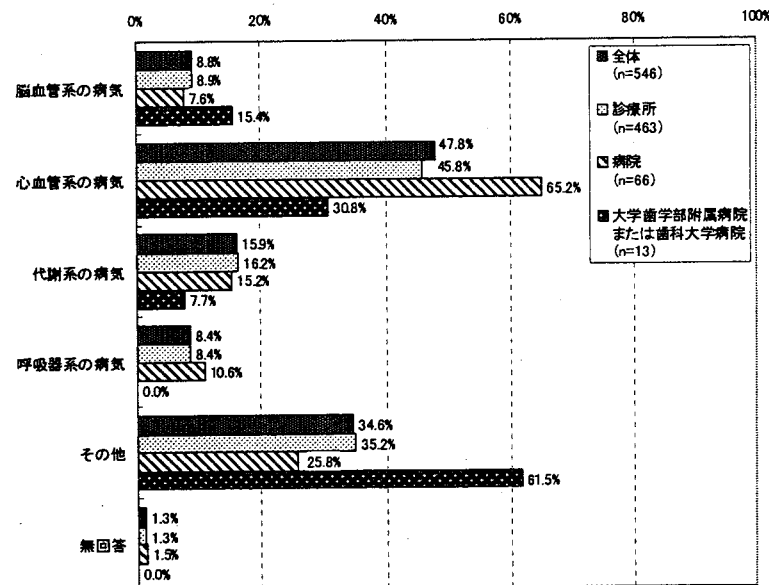


図表 77 歯科以外の病気の種類  
(歯科以外の病気のある人、男女別、複数回答)



(注)「その他」の内容として、「泌尿器系の病気」「婦人科系の病気」「眼科系の病気」「皮膚の病気」「リウマチ」等の回答があげられた。

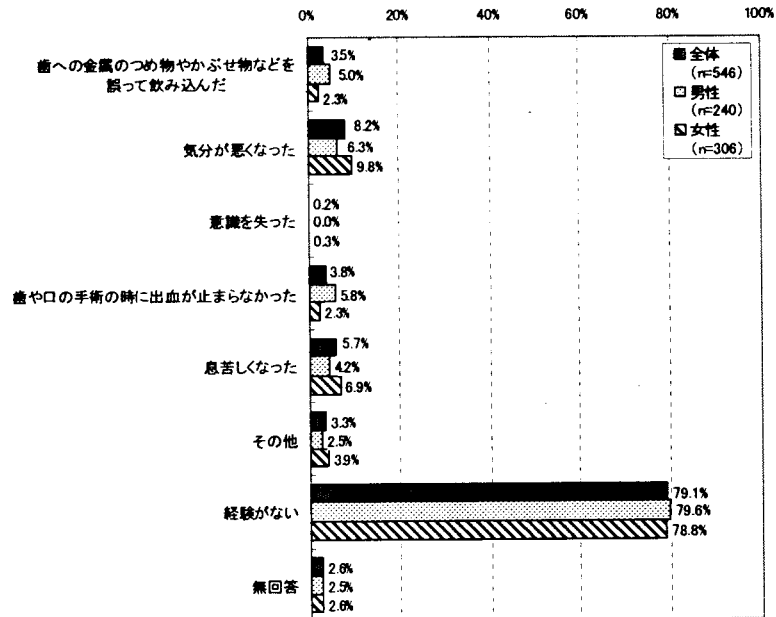
図表 78 歯科以外の病気の種類  
(歯科以外の病気のある人、受診施設別、複数回答)



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の4人を含む。  
・「その他」の内容として、「泌尿器系の病気」「婦人科系の病気」「眼科系の病気」「皮膚の病気」「リウマチ」等の回答があげられた。

4) 過去の歯科治療での誤飲・誤嚥や急変等の経験の有無

図表 79 過去の歯科治療での誤飲・誤嚥や急変等の経験の有無  
(歯科以外の病気のある人、男女別、複数回答)



(注)・「その他」の内容として、「顎がはずれた」等の回答があげられた。

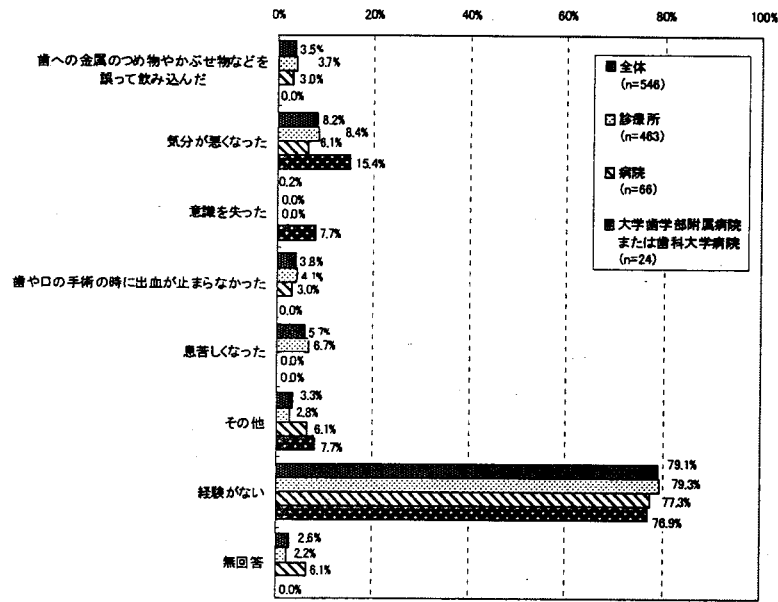
図表 80 過去の歯科治療での誤飲・誤嚥や急変等の経験  
(歯科以外の病気のある人、年齢階層別、複数回答)

(単位：上段「人」、下段「%」)

	全体	19	45	1	21	31	18	432	14
全体	546	19	45	1	21	31	18	432	14
	100.0	3.5	8.2	0.2	3.8	5.7	3.3	79.1	2.6
20歳未満	9	0	0	0	0	0	0	8	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1
20～29歳	13	1	1	0	0	0	3	8	0
	100.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	61.5	0.0
30～39歳	23	0	5	0	0	2	0	18	0
	100.0	0.0	21.7	0.0	0.0	8.7	0.0	78.3	0.0
40～49歳	73	2	7	0	2	6	1	59	2
	100.0	2.7	9.6	0.0	2.7	8.2	1.4	80.8	2.7
50～59歳	101	2	10	0	4	10	9	76	0
	100.0	2.0	9.9	0.0	4.0	9.9	8.9	75.2	0.0
60～64歳	85	4	7	0	5	3	3	65	3
	100.0	4.7	8.2	0.0	5.9	3.5	3.5	76.5	3.5
65～69歳	76	1	4	0	2	2	1	64	4
	100.0	1.3	5.3	0.0	2.6	2.6	1.3	84.2	5.3
70～74歳	71	3	6	1	4	5	1	53	2
	100.0	4.2	8.5	1.4	5.6	7.0	1.4	74.6	2.8
75歳以上	92	5	4	0	4	3	0	79	2
	100.0	5.4	4.3	0.0	4.3	3.3	0.0	85.9	2.2

(注)・「全体」には、年齢が無回答の3人を含む。  
・「その他」の内容として、「顎がはずれた」等の回答があげられた。

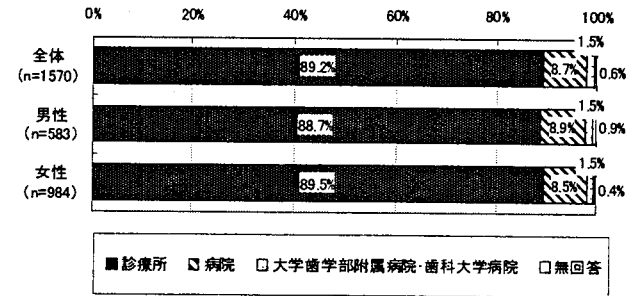
図表 81 過去の歯科治療での誤飲・誤嚥や急変等の経験  
(歯科以外の病気のある人、受診施設別、複数回答)



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の4人を含む。  
・「その他」の内容として、「顎がはずれた」等の回答があげられた。

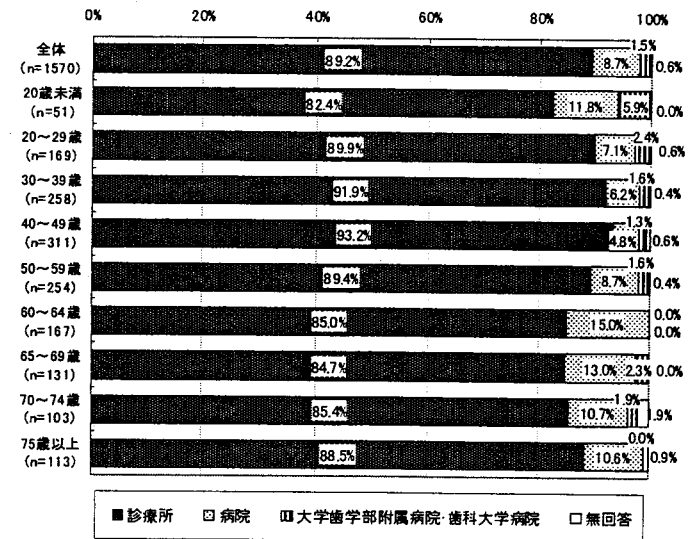
② 調査日に受けた歯科診療について  
1) 受診した施設

図表 82 受診した施設 (男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 83 受診した施設 (年齢階層別)

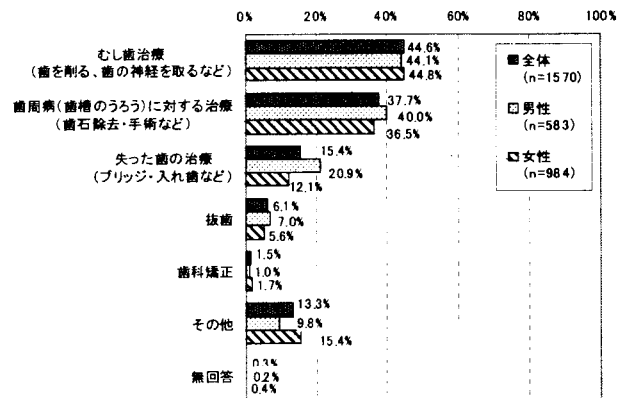


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

2) 受けた治療内容

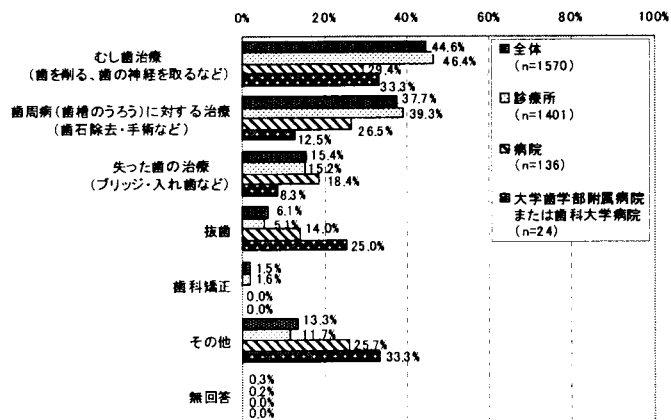
図表 86 受けた治療内容 (年齢階層別、複数回答)

図表 84 受けた治療内容 (男女別、複数回答)



(注)・「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。  
・「その他」の内容として、「歯のクリーニング」「定期検診」等の回答があげられた。

図表 85 受けた治療内容 (受診施設別、複数回答)



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。  
・「その他」の内容として、「歯のクリーニング」「定期検診」等の回答があげられた。

(単位: 上段「人」、下段「%」)

年齢階層	治療内容							
	むし歯治療 (歯を削る、歯の神経を取るなど)	歯周病(歯槽のうろち)に対する治療 (歯石除去・手術など)	失った歯の治療 (ブリッジ・入れ歯など)	抜歯	歯科矯正	その他	無回答	合計
全体	1570	701	592	241	96	23	209	5
	100.0	44.6	37.7	15.4	6.1	1.5	13.3	0.3
20歳未満	51	26	4	0	5	4	16	0
	100.0	51.0	7.8	0.0	9.8	7.8	31.4	0.0
20～29歳	169	116	48	0	14	7	14	0
	100.0	68.6	28.4	0.0	8.3	4.1	8.3	0.0
30～39歳	258	144	89	12	12	2	36	0
	100.0	55.8	34.5	4.7	4.7	0.8	14.0	0.0
40～49歳	311	168	118	25	14	3	34	1
	100.0	54.0	37.9	8.0	4.5	1.0	10.9	0.3
50～59歳	254	108	113	48	11	1	31	2
	100.0	42.5	44.5	18.9	4.3	0.4	12.2	0.8
60～64歳	167	48	72	39	14	0	31	0
	100.0	28.7	43.1	23.4	8.4	0.0	18.6	0.0
65～69歳	131	31	57	34	11	1	24	0
	100.0	23.7	43.5	26.0	8.4	0.8	18.3	0.0
70～74歳	103	24	51	34	6	2	8	1
	100.0	23.3	49.5	33.0	5.8	1.9	7.8	1.0
75歳以上	113	29	36	46	9	3	15	1
	100.0	25.7	31.9	40.7	8.0	2.7	13.3	0.9

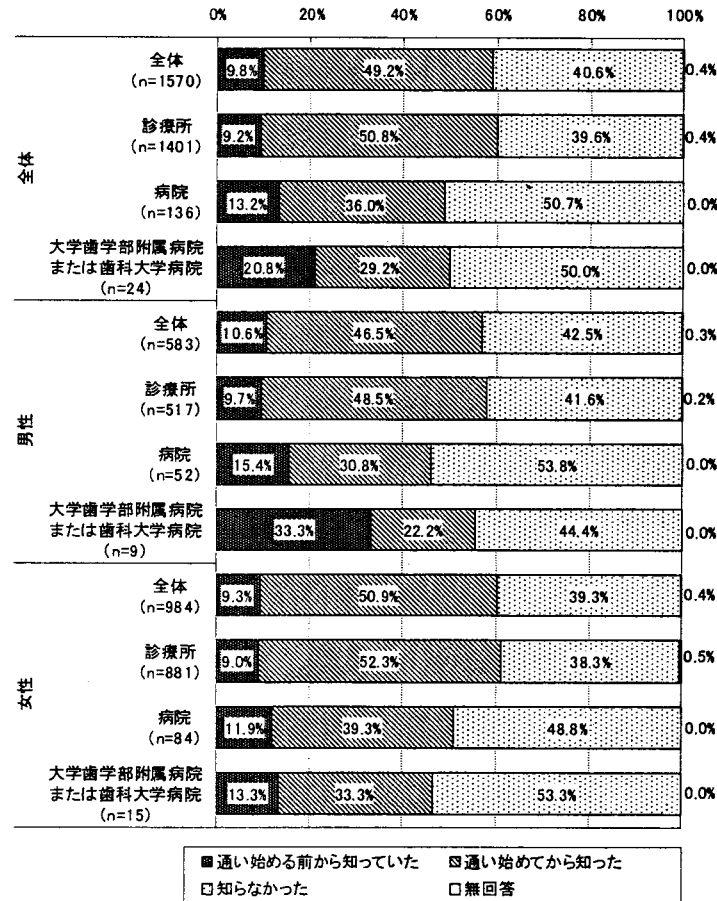
(注)・「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。  
・「その他」の内容として、「歯のクリーニング」「定期検診」等の回答があげられた。



③ 歯科外来診療環境体制加算について

1) 受診した歯科医療機関が「歯科外来診療環境体制加算」の施設であることの認知度

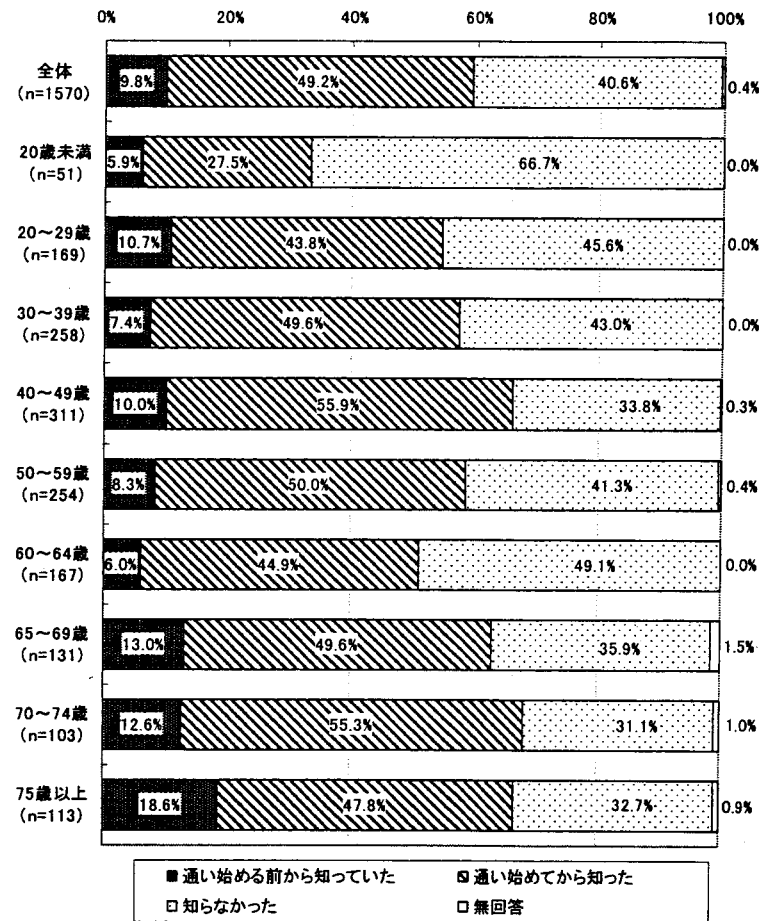
図表 87 受診した歯科医療機関が「歯科外来診療環境体制加算」の施設であることの認知度（男女別・受診施設別）



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

・「男性全体」には、「受診施設」について無回答の5人を含む。「女性全体」には、「受診施設」について無回答の4人を含む。

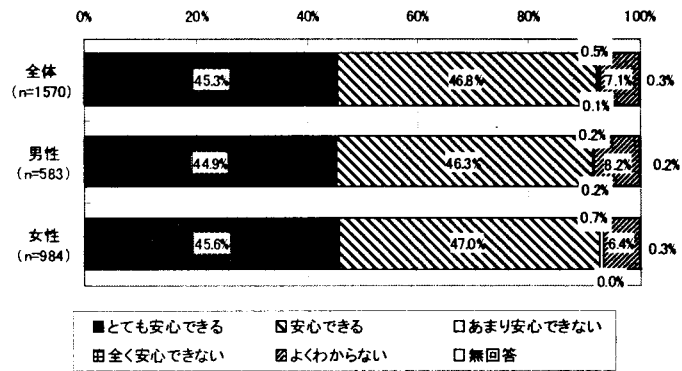
図表 88 「歯科外来診療環境体制加算」の施設であることの認知度（年齢階層別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

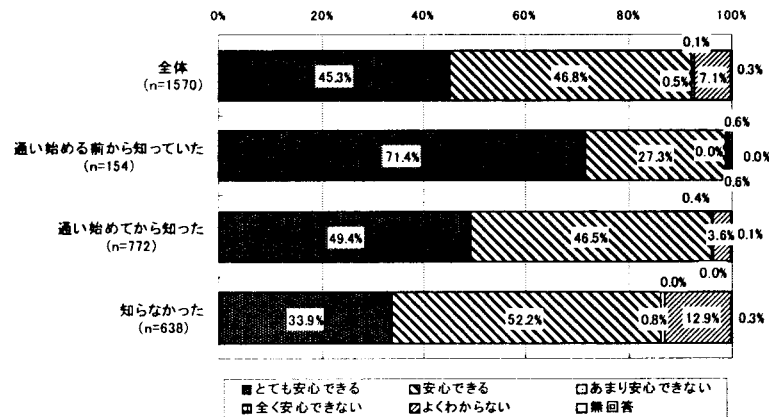
2) 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしている施設で歯科治療を受けることの安心感

図表 89 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしている施設で歯科治療を受けることの安心感（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

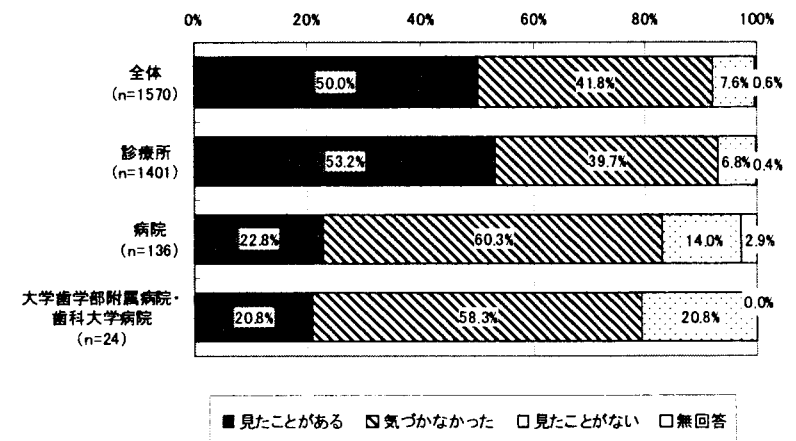
図表 90 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしている施設で歯科治療を受けることの安心（認知度別）



(注)「全体」には、認知度について無回答であった6人が含まれる。

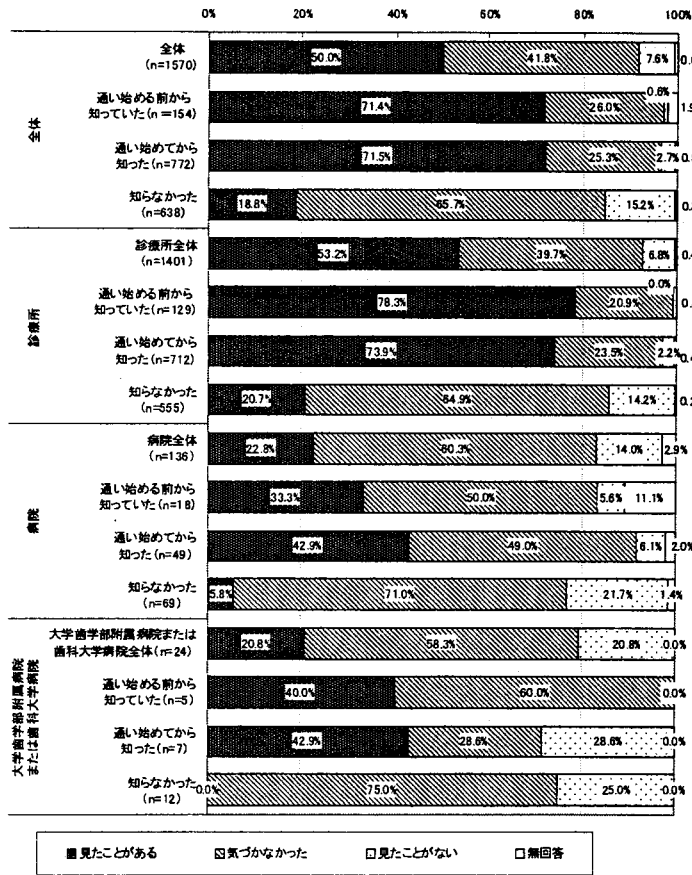
3) 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たす院内掲示の認知度

図表 91 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たす院内掲示の認知度（受施設別）



(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

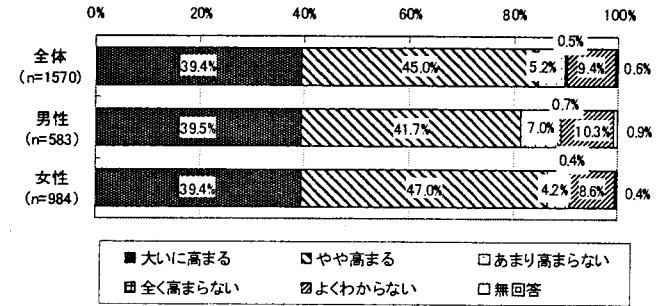
図表 92 「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たす院内掲示の認知度  
 (受診施設別・受診施設が歯科外来診療環境体制加算の施設であることの認知度別)



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の6人を含む。  
 ・「診療所全体」には、「当該加算の施設である認知度」について無回答の5人を含む。

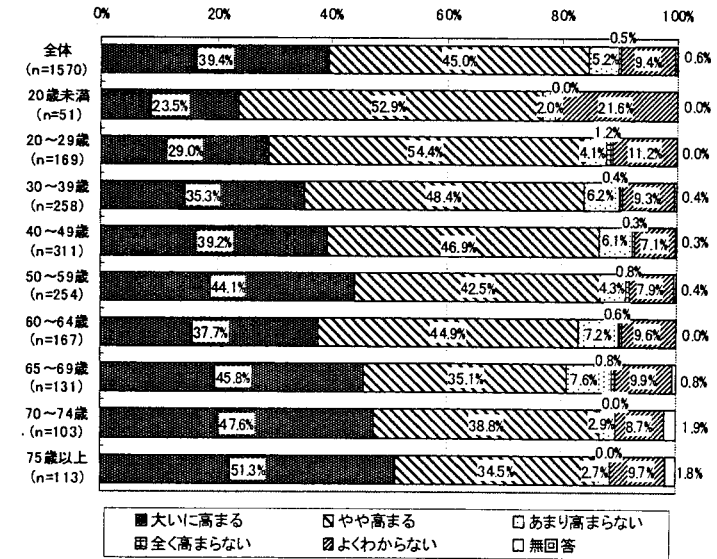
4) 施設基準を満たす院内掲示による安心感

図表 93 施設基準を満たす院内掲示による安心感 (男女別)



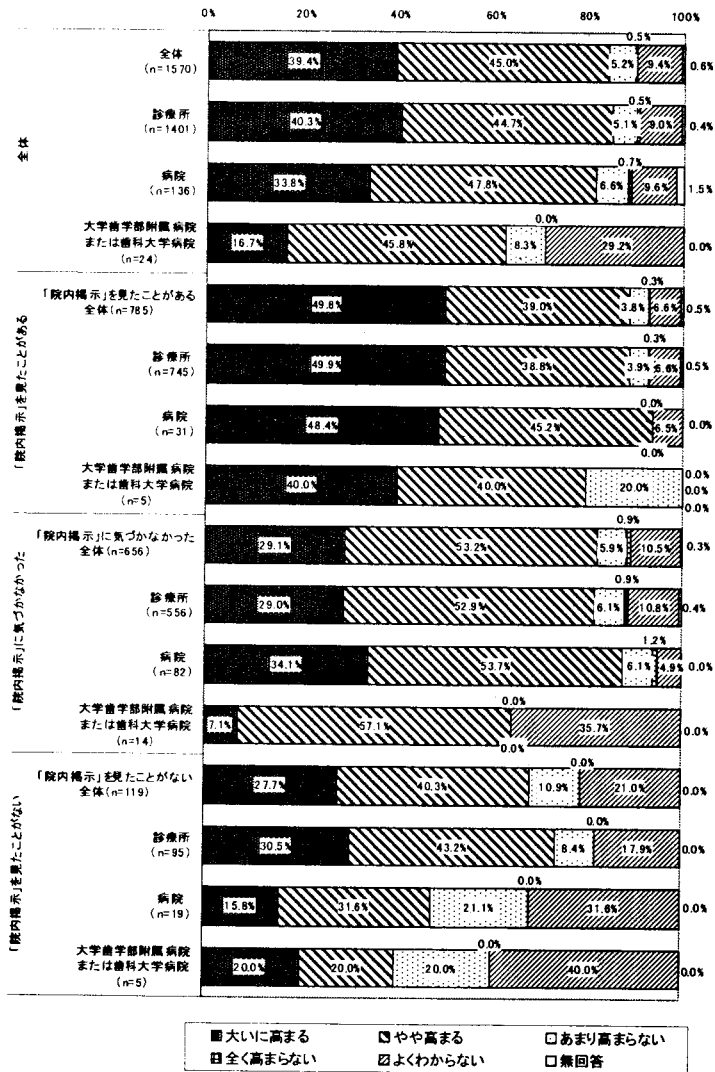
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 94 施設基準を満たす院内掲示による安心感 (年齢階層別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 95 施設基準を満たす院内掲示による安心感（院内掲示を見た経験別・受診施設別）

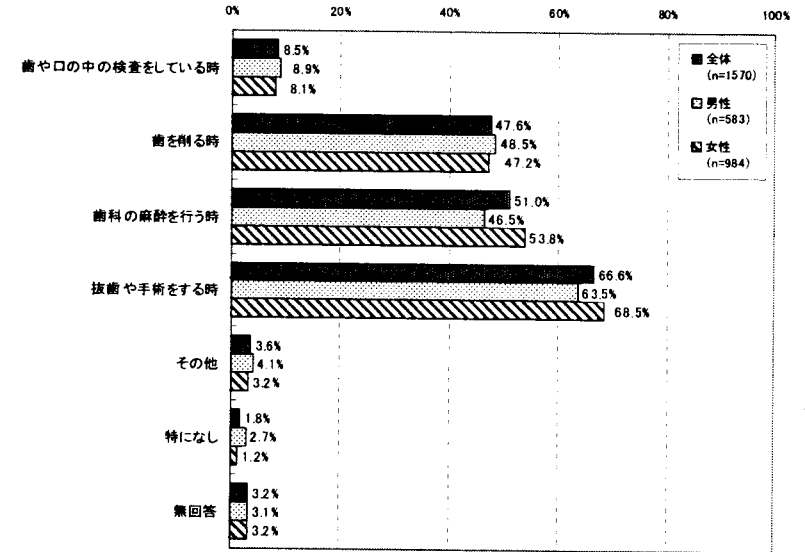


(注) ・「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。  
 ・「院内掲示を見たことがある全体」には、「受診施設」について無回答の4人を含む。「院内掲示に気づかなかった全体」には、「受診施設」について無回答の4人を含む。

④ 「安全・安心」な歯科診療に関する意識

1) 歯科診療において不安になる時

図表 96 歯科診療において不安になる時（男女別、複数回答）



(注) ・「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。  
 ・「その他」の内容として、「何をされているか分からない時」等の回答があげられた。

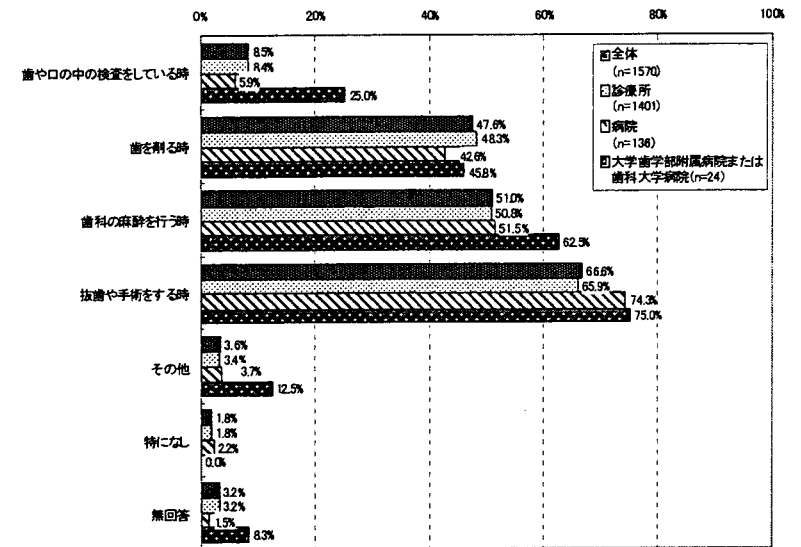
図表 97 歯科診療において不安になる時（年齢階層別、複数回答）

(単位：上段「人」、下段「%」)

	歯や口の中の検査をしている時	歯を削る時	歯科の麻酔を行う時	抜歯や手術をする時	その他	物になし	無回答	
全体	1570 100.0	133 8.5	748 47.6	801 51.0	1045 66.6	56 3.6	28 1.8	50 3.2
20歳未満	51 100.0	10 19.6	28 54.9	26 51.0	34 66.7	1 2.0	2 3.9	0 0.0
20～29歳	169 100.0	12 7.1	93 55.0	83 49.1	115 68.0	5 3.0	0 0.0	4 2.4
30～39歳	258 100.0	23 8.9	137 53.1	130 50.4	177 68.6	9 3.5	4 1.6	4 1.6
40～49歳	311 100.0	19 6.1	166 53.4	188 60.5	214 68.8	11 3.5	1 0.3	6 1.9
50～59歳	254 100.0	22 8.7	136 53.5	127 50.0	165 65.0	14 5.5	7 2.8	4 1.6
60～64歳	167 100.0	11 6.6	66 39.5	81 48.5	119 71.3	3 1.8	4 2.4	5 3.0
65～69歳	131 100.0	14 10.7	50 38.2	66 50.4	83 63.4	4 3.1	4 3.1	7 5.3
70～74歳	103 100.0	7 6.8	33 32.0	46 44.7	69 67.0	2 1.9	2 1.9	7 6.8
75歳以上	113 100.0	13 11.5	33 29.2	49 43.4	63 55.8	6 5.3	4 3.5	11 9.7

(注)・「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。  
・「その他」の内容として、「何をされているか分からない時」等の回答があげられた。

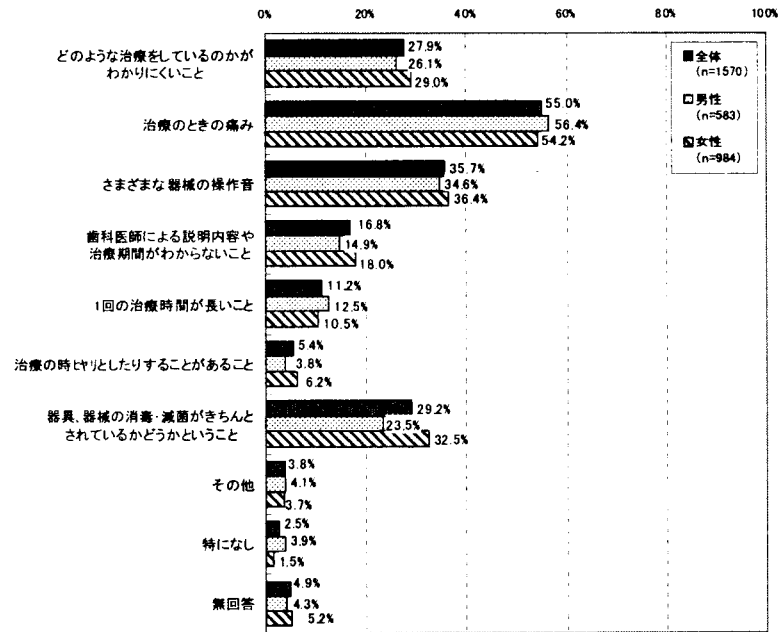
図表 98 歯科診療において不安になる時（受診施設別、複数回答）



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。  
・「その他」の内容として、「何をされているか分からない時」等の回答があげられた。

2) 歯科診療を受ける際に不安になること

図表 99 歯科診療を受ける際に不安になること (男女別、複数回答)



(注)・「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。  
 ・「その他」の内容として、「最適な治療かどうか」「治療費用」「医師の衛生面」等の回答があげられた。

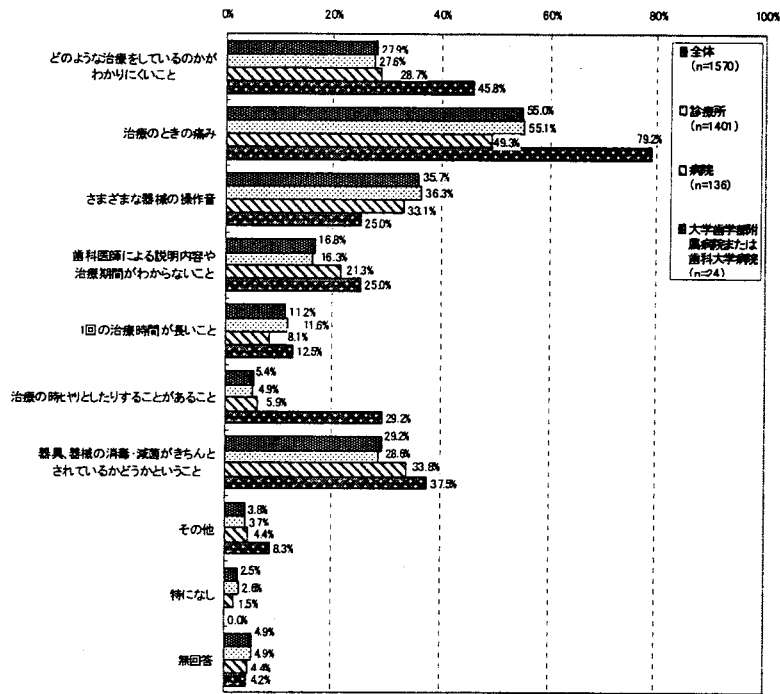
図表 100 歯科診療を受ける際に不安になること (年齢階層別、複数回答)

(単位: 上段「人」、下段「%」)

	全体	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
全体	1570	438	863	561	264	176	84	458	60	39	77
	100.0	27.9	55.0	35.7	16.8	11.2	5.4	29.2	3.8	2.5	4.9
20歳未満	51	18	31	20	10	1	3	14	2	1	2
	100.0	35.3	60.8	39.2	19.6	2.0	5.9	27.5	3.9	2.0	3.9
20～29歳	169	50	110	59	33	21	13	56	1	0	4
	100.0	29.6	65.1	34.9	19.5	12.4	7.7	33.1	0.6	0.0	2.4
30～39歳	258	88	150	98	56	27	15	94	4	3	3
	100.0	34.1	58.1	38.0	21.7	10.5	5.8	36.4	1.6	1.2	1.2
40～49歳	311	97	191	127	60	43	17	104	16	1	6
	100.0	31.2	61.4	40.8	19.3	13.8	5.5	33.4	5.1	0.3	1.9
50～59歳	254	74	137	92	39	29	16	74	12	6	13
	100.0	29.1	53.9	36.2	15.4	11.4	6.3	29.1	4.7	2.4	5.1
60～64歳	167	36	87	53	23	20	7	32	8	7	10
	100.0	21.6	52.1	31.7	13.8	12.0	4.2	19.2	4.8	4.2	6.0
65～69歳	131	28	57	43	24	12	3	29	6	9	13
	100.0	21.4	43.5	32.8	18.3	9.2	2.3	22.1	4.6	6.9	9.9
70～74歳	103	21	46	34	7	9	5	23	4	6	9
	100.0	20.4	44.7	33.0	6.8	8.7	4.9	22.3	3.9	5.8	8.7
75歳以上	113	20	47	31	10	12	3	28	6	5	16
	100.0	17.7	41.6	27.4	8.8	10.6	2.7	24.8	5.3	4.4	14.2

(注)・「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。  
 ・「その他」の内容として、「最適な治療かどうか」「治療費用」「医師の衛生面」等の回答があげられた。

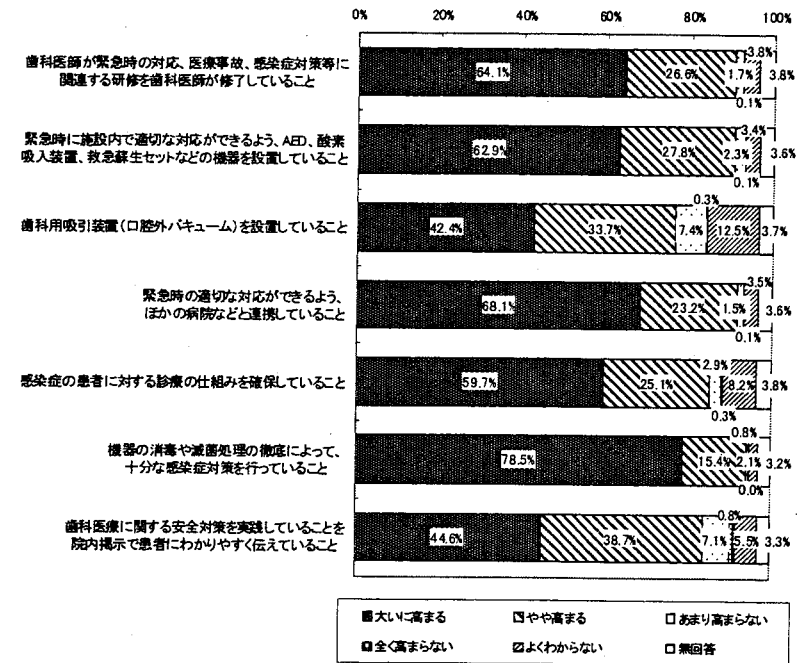
図表 101 歯科診療を受ける際に不安になること（受診施設別、複数回答）



(注)・「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。  
 ・「その他」の内容として、「最適な治療かどうか」「治療費用」「医師の衛生面」等の回答があげられた。

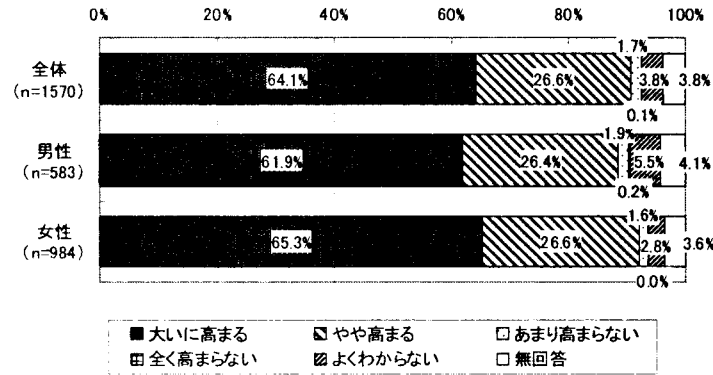
3) 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

図表 102 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化（全体、n=1570）



図表 103 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

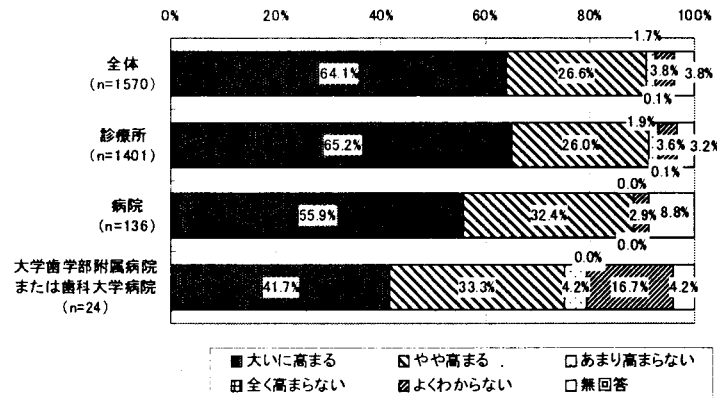
～①歯科医師が緊急時の対応、医療事故、感染症対策等に関連する研修を歯科医師が修了していること（男女別）～



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 104 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

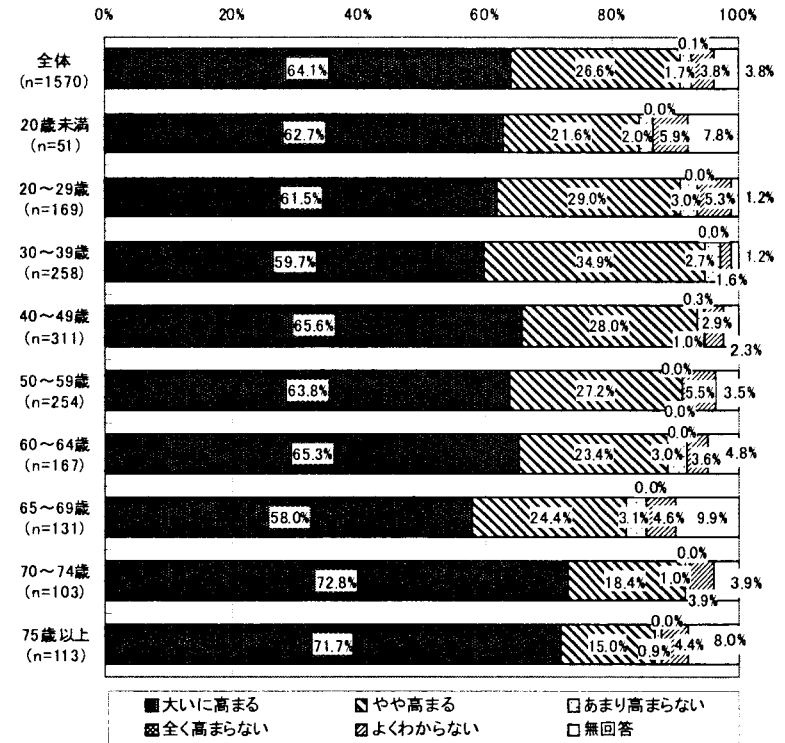
～①歯科医師が緊急時の対応、医療事故、感染症対策等に関連する研修を歯科医師が修了していること（受診施設別）～



(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 105 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

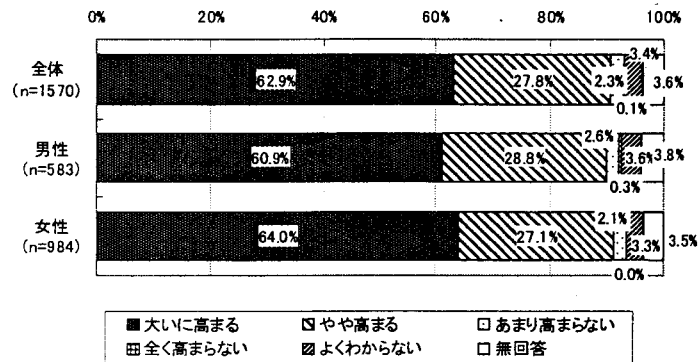
～①歯科医師が緊急時の対応、医療事故、感染症対策等に関連する研修を歯科医師が修了していること（年齢階層別）～



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

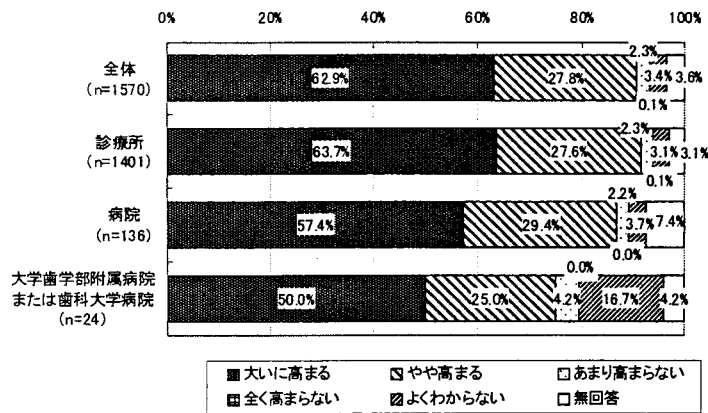


図表 106 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～②緊急時に施設内で適切な対応ができるよう、AED、酸素吸入装置、救急蘇生セットなどの機器を設置していること（男女別）～



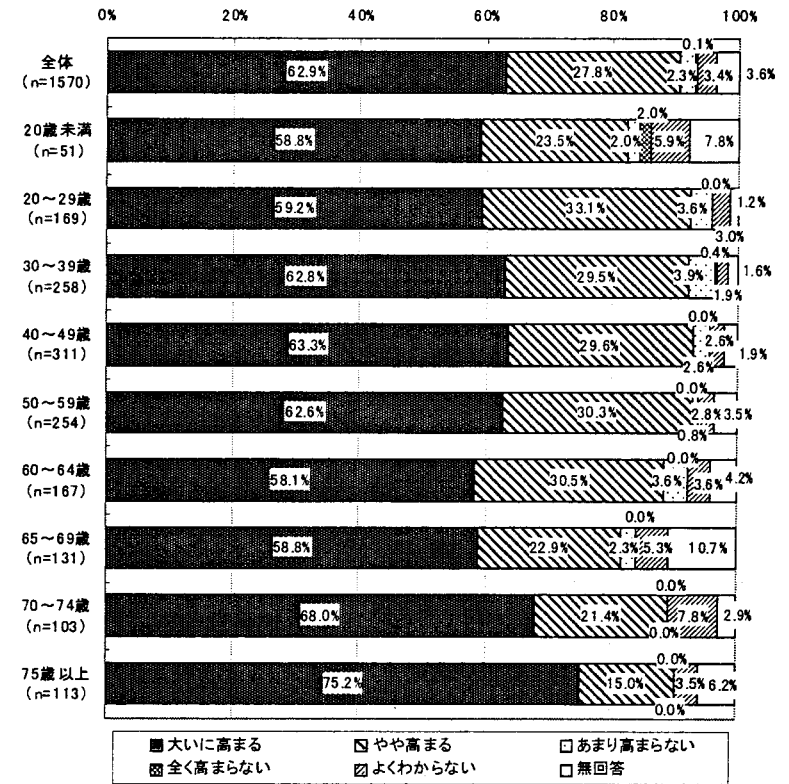
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 107 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～②緊急時に施設内で適切な対応ができるよう、AED、酸素吸入装置、救急蘇生セットなどの機器を設置していること（受診施設別）～



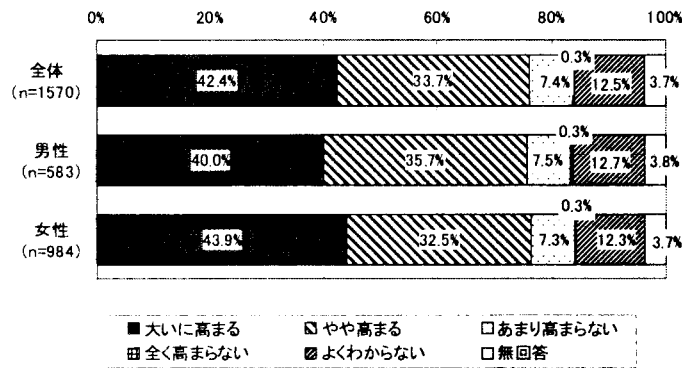
(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 108 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～②緊急時に施設内で適切な対応ができるよう、AED、酸素吸入装置、救急蘇生セットなどの機器を設置していること（年齢階層別）～



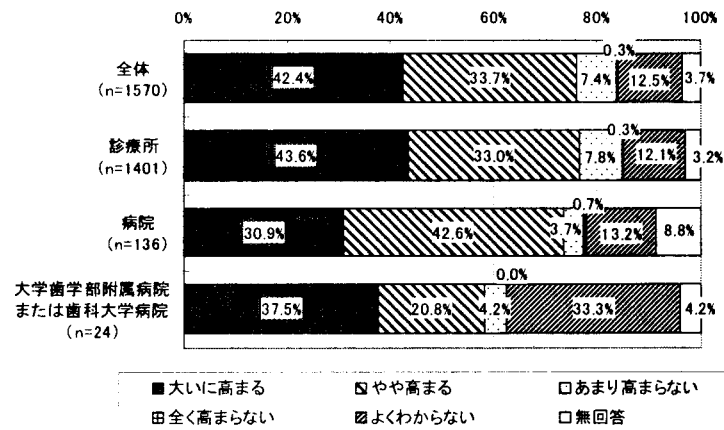
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 109 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～③歯科用吸引装置（口腔外バキューム）を設置していること（男女別）～



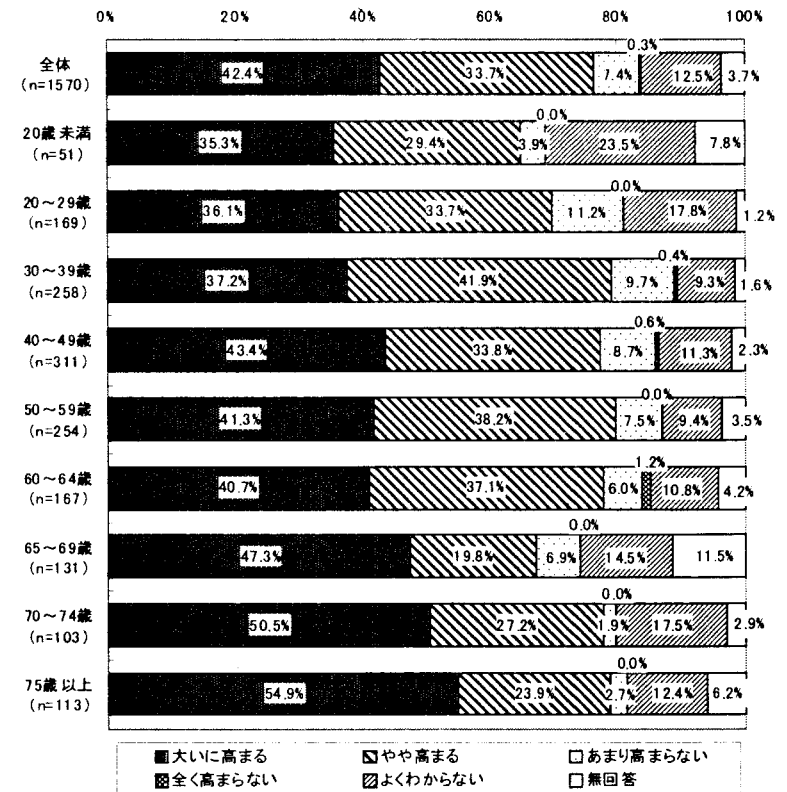
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 110 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～③歯科用吸引装置（口腔外バキューム）を設置していること（受施設別）～



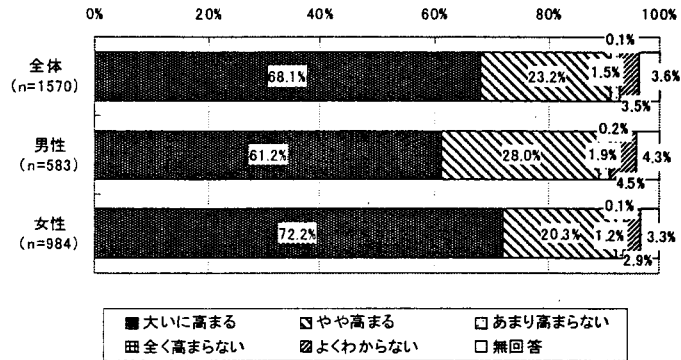
(注)「全体」には、「受施設」について無回答の9人を含む。

図表 111 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～③歯科用吸引装置（口腔外バキューム）を設置していること（年齢階層別）～



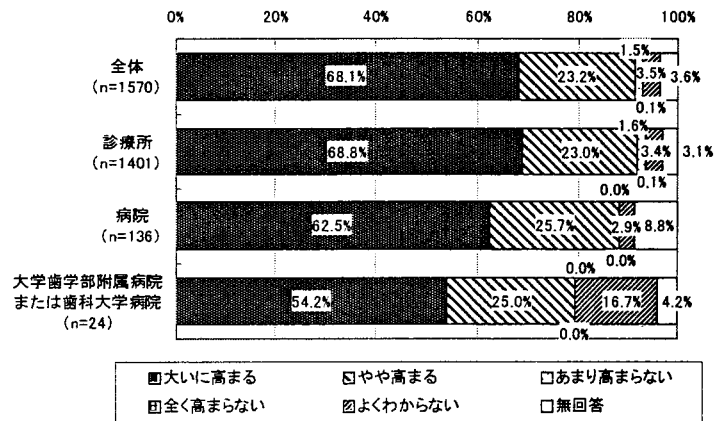
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 112 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～④緊急時の適切な対応ができるよう、ほかの病院などと連携していること（男女別）～



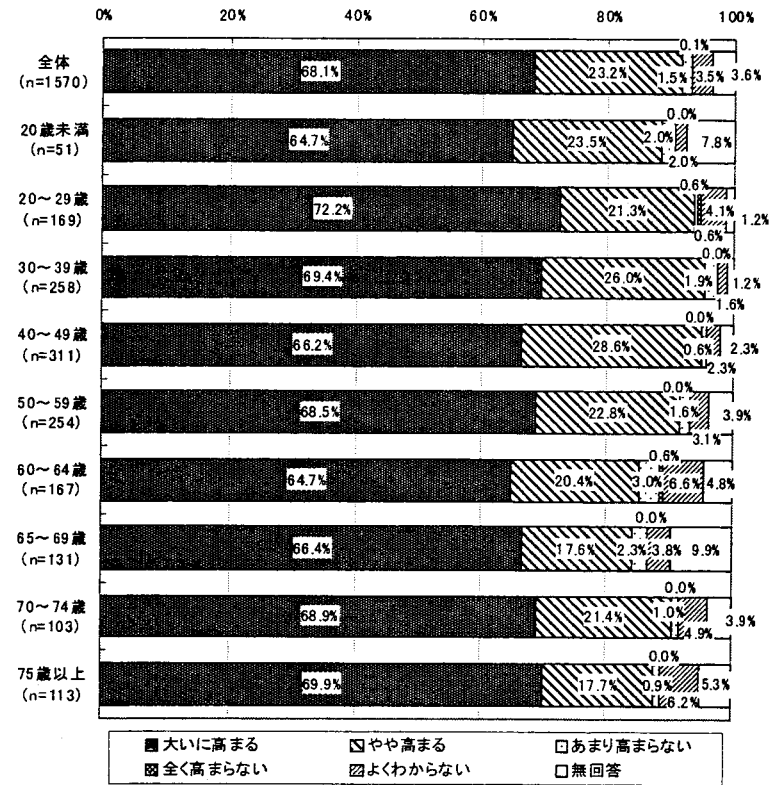
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 113 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～④緊急時の適切な対応ができるよう、ほかの病院などと連携していること（受診施設別）～



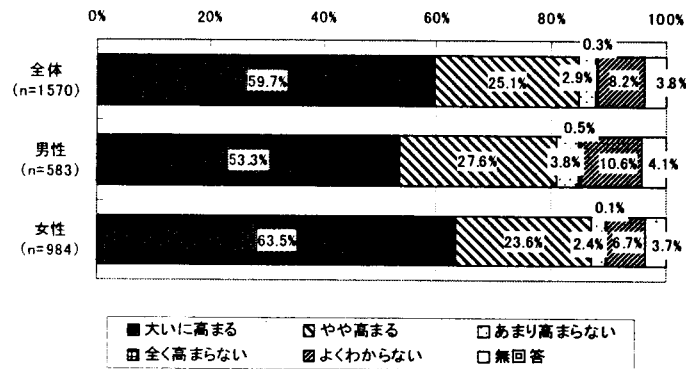
(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 114 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～④緊急時の適切な対応ができるよう、ほかの病院などと連携していること（年齢階層別）～



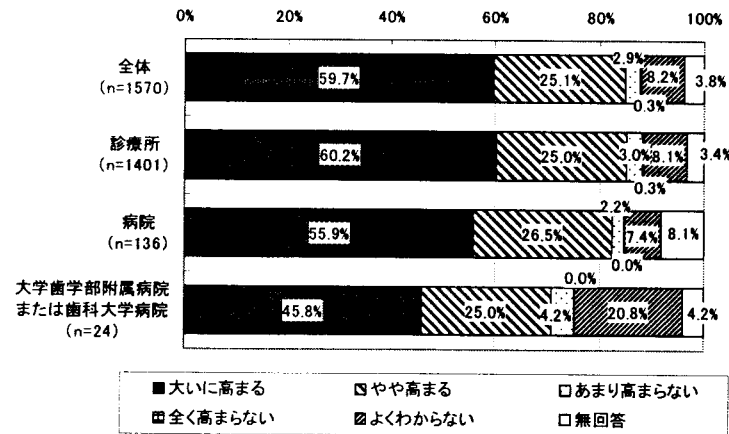
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 115 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～⑤感染症の患者に対する診療の仕組みを確保していること（男女別）～



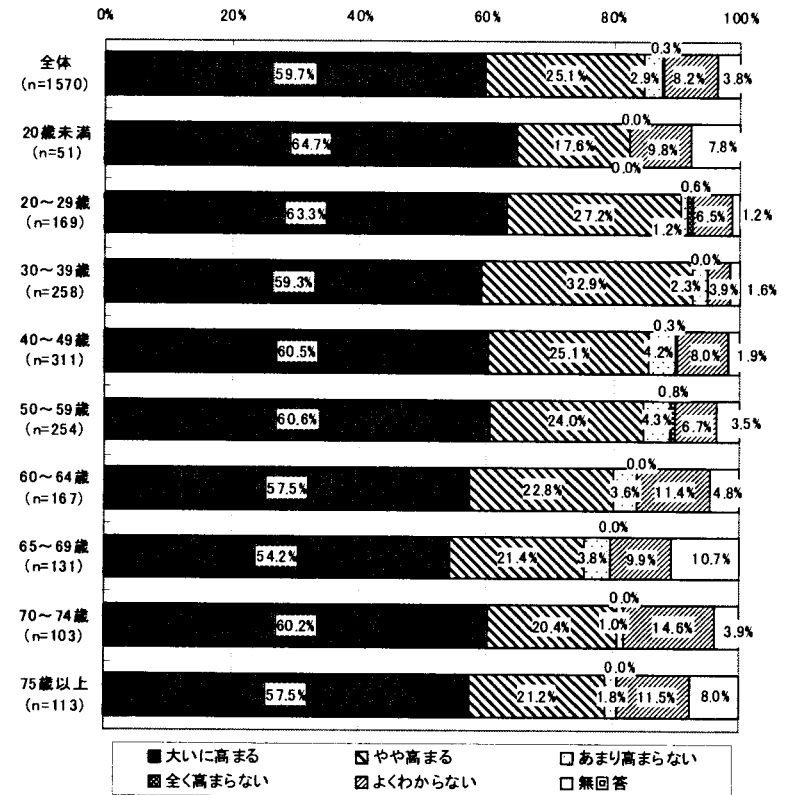
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 116 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～⑤感染症の患者に対する診療の仕組みを確保していること（受診施設別）～



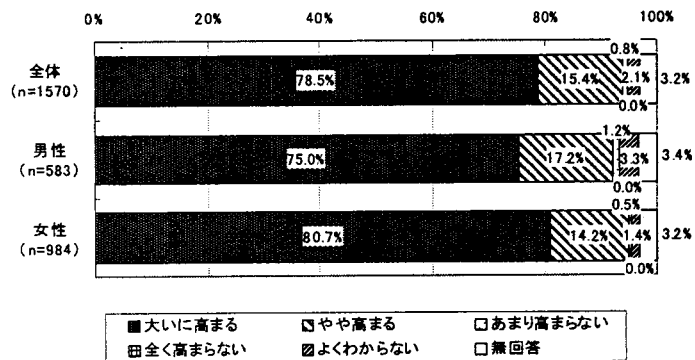
(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 117 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
～⑤感染症の患者に対する診療の仕組みを確保していること（年齢階層別）～



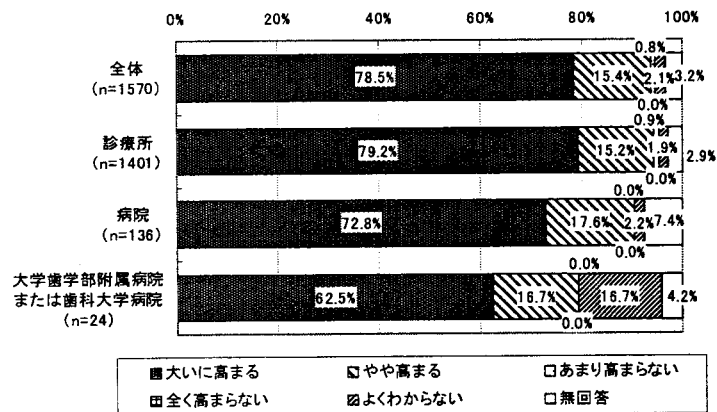
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 118 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～⑥機器の消毒や滅菌処理の徹底によって、十分な感染症対策を行っていること（男女別）～



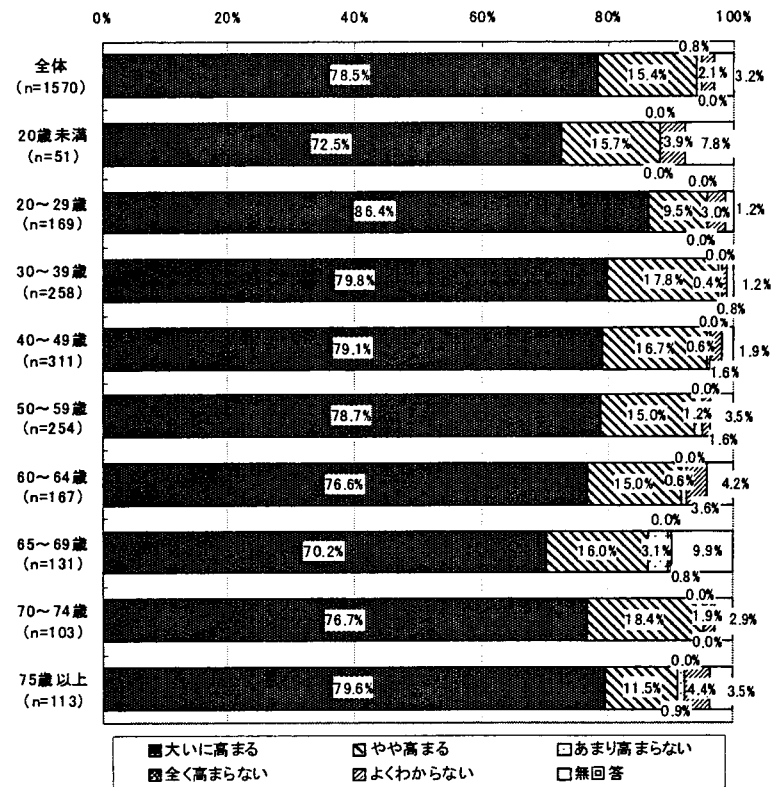
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 119 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～⑥機器の消毒や滅菌処理の徹底によって、十分な感染症対策を行っていること（受診施設別）～



(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

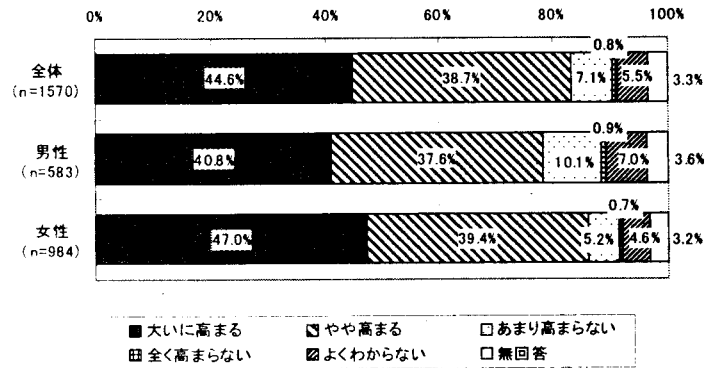
図表 120 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化  
 ～⑥機器の消毒や滅菌処理の徹底によって、十分な感染症対策を行っていること（年齢階層別）～



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

図表 121 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

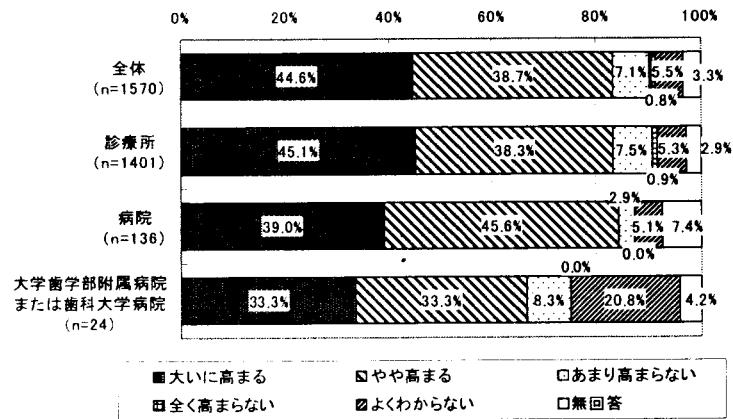
～⑦歯科医療に関する安全対策を実践していることを院内掲示で患者にわかりやすく伝えていること（男女別）～



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 122 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

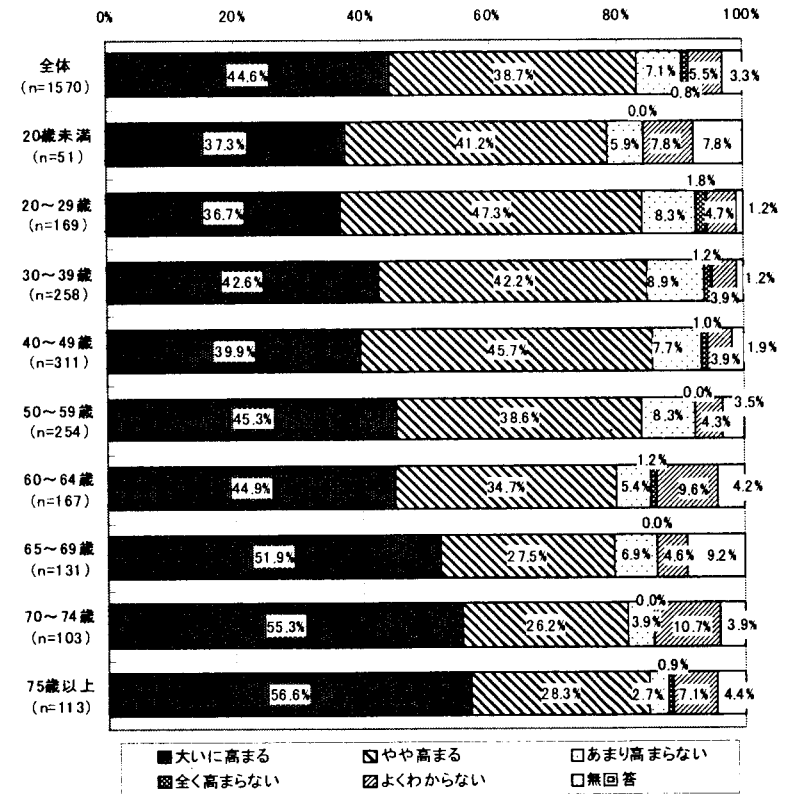
～⑦歯科医療に関する安全対策を実践していることを院内掲示で患者にわかりやすく伝えていること（受診施設別）～



(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 123 医療機関の「安全・安心」な対策による歯科医療に対する安心感の変化

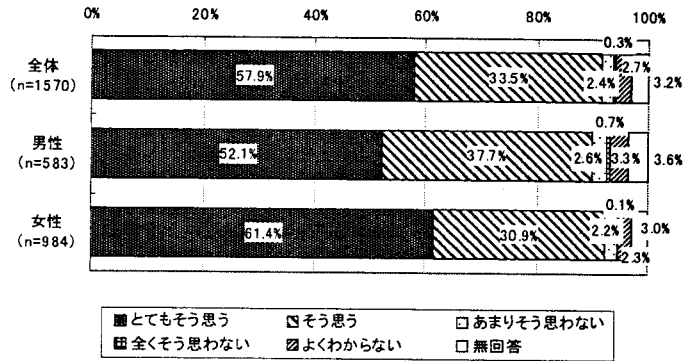
～⑦歯科医療に関する安全対策を実践していることを院内掲示で患者にわかりやすく伝えていること（年齢階層別）～



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

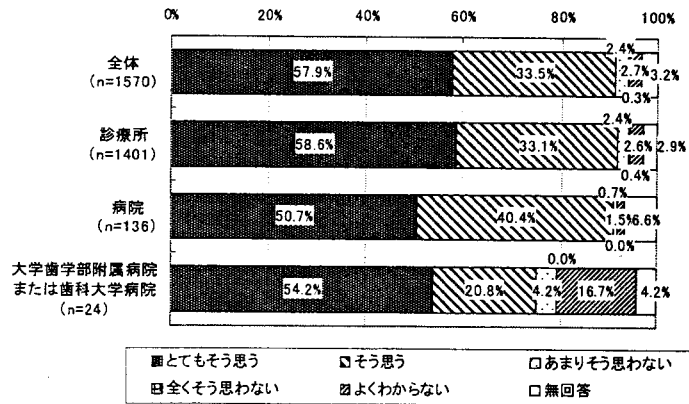
4) 今後、歯科治療を受ける際には、より「安全・安心」な歯科医療の環境が整っている施設への受診意向

図表 124 今後、歯科治療を受ける際に、より「安全・安心」な歯科医療の環境が整っている施設への受診意向（男女別）



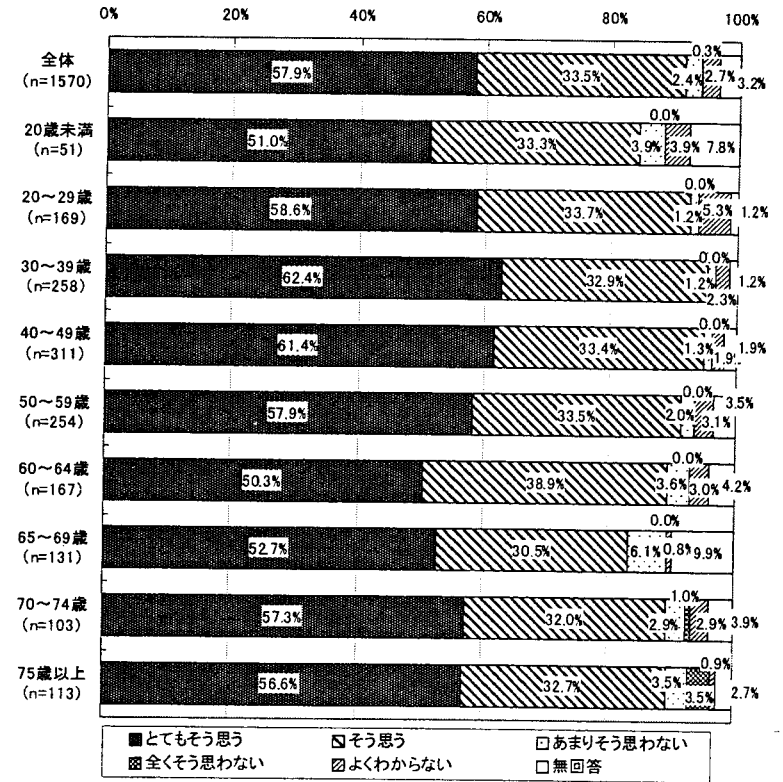
(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人を含む。

図表 125 今後、歯科治療を受ける際に、より「安全・安心」な歯科医療の環境が整っている施設への受診意向（受診施設別）



(注)「全体」には、「受診施設」について無回答の9人を含む。

図表 126 今後、歯科治療を受ける際に、より「安全・安心」な歯科医療の環境が整っている施設への受診意向（年齢階層別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の13人を含む。

⑤ 歯科医療の安全・安心についての意見（自由記述形式）

1) 歯科外来診療環境体制加算があることの効果

- ・ 急変時の対応等の歯科外来診療環境体制加算のような取り組みをしている施設であることを知り、安心して歯科治療を受けられた。

／等

2) 歯科医療への安心感を向上させるために必要な事項等

- ・ 歯科治療を受ける前にきちんと説明（治療内容やむし歯や歯周病の状態を説明）されると安心する。
- ・ 麻酔を使用することに不安があるので、その際の説明をよくして欲しい。
- ・ 処置をしているとき、今から何をするのか、今何をしているのか、その時々で説明しながらやって頂くと安心する。
- ・ インフォームドコンセントの重要性は言うまでもなく、治療がどの程度続くのか、見通しの説明もあれば、より安心だ。
- ・ 医師と患者との間に十分なコミュニケーションがとれ、信頼関係が十分に結べると安心する。
- ・ AED ポスター掲示等のみでは、本当に緊急時に使用可能か不安になるときがあるが、掲示がまったく無い医院よりも信頼感が高まる。
- ・ 院内感染などに対し、力を入れている医療機関が増えると安心できる。一般人は知識も少なく、まだまだ感染症に対し危機感も足りないので、アピールをして欲しい。
- ・ 緊急時の対応なども重要だが、診療室内がいつもきれいで清潔にされていると、自然と、安心して治療を受けられる。

／等

3) 安全・安心な歯科医療に関する課題

- ・ 説明不足で戸惑ったことがある。患者は無知なものとしてもっとわかりやすく説明することを義務づけて欲しい。
- ・ 医師も多忙で、丁寧な説明が為されないことによる不安がある。患者を2~3人掛け持ちで、流れ作業のように治療している。
- ・ 歯科治療に対して、治療方針や状態などの詳しい説明が欲しい。その他、支払金額や通院回数などのあらまし教えて欲しい。案外分かりにくい治療内容と、領収書で見る点数は、なかなか聞いたりできないのが実状だ。
- ・ 開業医の場合、どの程度技術向上への取り組みをされているのか患者からはわからないので不安なところがある。

- ・ AED が設置されてあることもポスター等で知っていたが、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしていることは、このアンケートをするまで知らなかった。もう少し、誰にでも分かるようなポスターにすればよいのではないかと思う。
- ・ 危険性について知らなければ、安全であることが当たり前であり、歯科外来診療環境体制加算など必要ないと思われるも仕方ないと思う。加算の必要性をもっとアピールすべきだと思う。
- ・ 良い制度だと思うが、医院へ行ってみないとその医院がそうだと分からないのは、残念だ。

／等

4) 安全・安心な歯科治療に関する要望

- ・ 安全対策は体制加算 300 円を請求するまでもなく、治療中の緊急対応は万全を期すべきだ。安全対策を実践していることの院内・院外の明示は、患者としては選択する指針として大変良いことなので要望する。
- ・ 掲示があることは分かるが、内容が分かりにくく、このアンケートで「そういうことだったのか」と気が付いた。分かりやすいポスター等を希望したい。良いことなので、もう少しコマercialをして欲しい。
- ・ 歯科治療の安全・安心を今後とも高めていって欲しい。いろいろな感染症（エイズなど）の病気もあるので、感染対策にもどんだん力を入れて、患者側からも、よくわかるようにして欲しい。
- ・ 感染症防止のため、消毒の徹底をお願いしたい。見えるところに消毒実施のポスターや日々のデータを表にして掲示してもらいたい。
- ・ 器具類を本当に滅菌しているかどうかは患者には分からないので、トレーの上におくような器具は滅菌パックに入れるようにして欲しい。
- ・ 消毒や安全対策がしっかりできるなら多少今より加算が高くなってもよい。
- ・ 治療代に対しての説明がなされていないので、患者の納得のいくような説明を必ず行うよう、義務づけて欲しい。

／等